



がんセンター



精神医療センター



循環器呼吸器病センター



こども医療センター



Kanagawa Prefectural Government

第3回 県立病院機能の あり方検討会

足柄上病院



令和7年9月
健康医療局保健医療部
県立病院課

本日の流れ

- 1 これまでの振り返りと本日の議論
- 2 こども医療センターについて
- 3 精神医療センターについて
- 4 がんセンターについて

1 これまでの振り返りと本日の議論

1 これまでの振り返り①_県立病院の役割

<県立病院の役割とは>

第四期中期目標

■これまでの役割

こども医療センター
精神医療センター
がんセンター
循環器呼吸器病センター

高度・専門医療を取り扱う県内の拠点病院として
地域の医療機関では対応が困難な患者への医療を提供

足柄上病院

県西地域の中核的な総合病院として
地域の二一ズを踏まえた総合診療などの医療を提供

■これからの役割

県内の医療機関のフロントランナーとしての役割も果たす必要

社会状況の変化に対応し、引き続き県立病院としての役割を担うとともに、
医療DXを推進し、病院間の連携による広域医療提供や大規模災害・感染症パンデミック等
におけるフラッグシップ機能などを担う

1 これまでの振り返り①_県立病院の役割

<参考>

「地方独立行政法人神奈川県立病院機構定款」より

(目的)

第1条 この地方独立行政法人は、神奈川県における保健医療施策として求められる高度・専門医療等の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

「第8次神奈川県保健医療計画（令和6年度～令和11年度）」より

第3節 公的病院等の役割

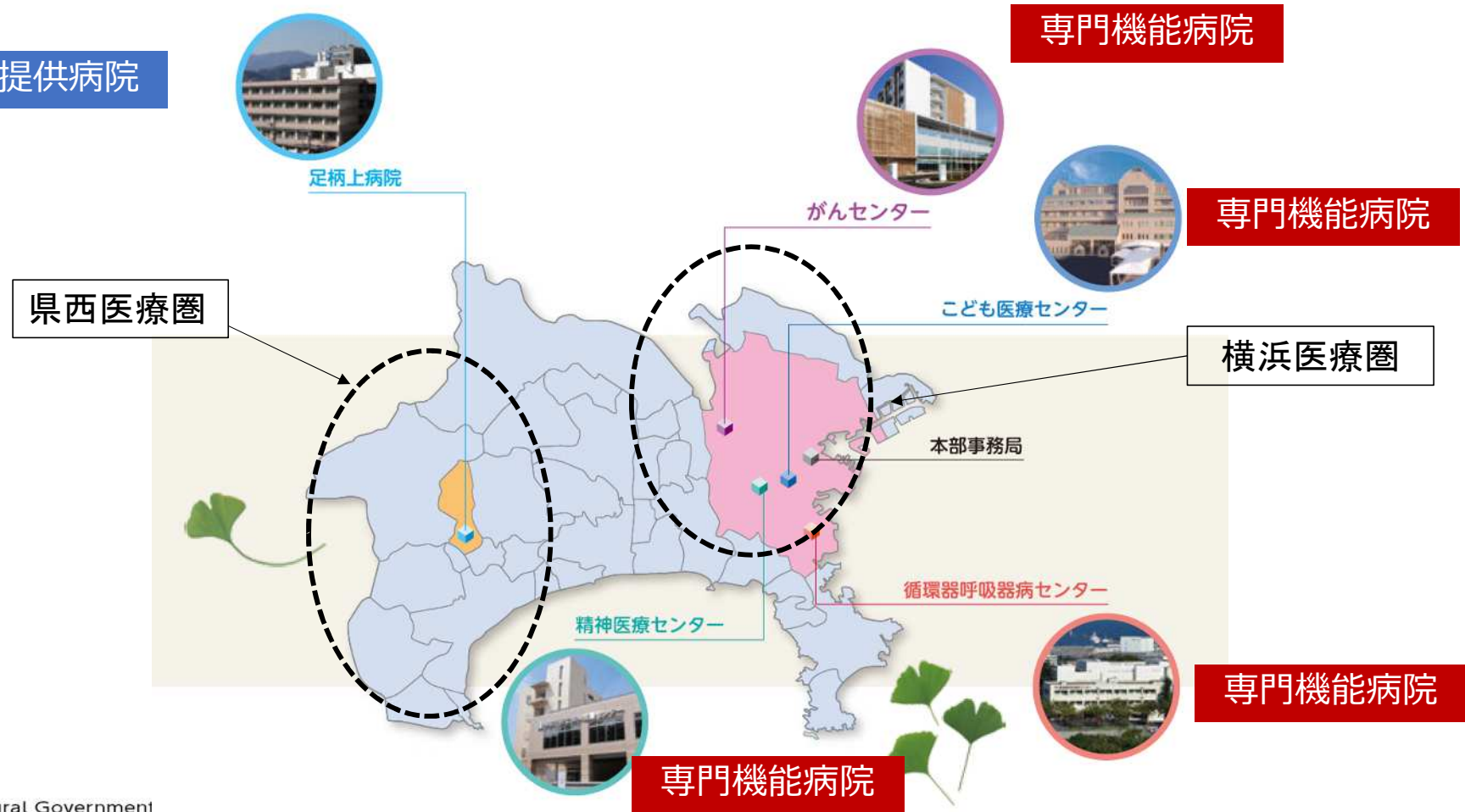
1 現状・課題

(2) 県立病院

- 県立病院は、それぞれの病院の特性に応じて ①高度・専門医療の提供、研究開発、②広域的な対応が必要な救急医療、災害時医療、感染症医療、③地域の特殊性などから地域だけでは実施が困難な医療、④医師・看護師等医療従事者の人材育成などの基本的な役割・機能を担っています。
- その上で、地域包括ケアシステムの構築や地域医療構想を踏まえた対応などの医療を取り巻く状況に機敏に対応することが求められています。
- 地域の限られた資源を有効に活用し、効率的で質の高い医療提供体制を構築するためにも、それらを支える人材の確保・養成を図っていく必要があります。

1 これまでの振り返り①_県立病院の役割

参考 各病院の配置



1 これまでの振り返り②_検討を進める上での視点について

①

各病院の担うべき役割と機能

→ 「政策医療」の担い手としての現在の役割や機能は適切か

②

県立5病院間の役割分担と連携

→ 県立病院がどのように役割を分担し、連携していくか

③

地域の医療機関との役割分担と連携

→ 地域とどのように役割を分担し、連携していくか

④

県内のフロントランナーとしての役割

→ 県立病院にどのような取組が求められるか

1 本日の議論

	内容		日程
第1回	県立病院の現状と課題、検討を進める上での視点	終了	令和7年6月30日
第2回	県立5病院の機能及び機能に応じた体制 ① (循環器呼吸器病センター)	終了	令和7年8月1日
第3回	県立5病院の機能及び機能に応じた体制 ② (こども医療センター、精神医療センター、がんセンター)		令和7年9月1日
第4回	県立5病院の機能及び機能に応じた体制 ③ (足柄上病院)		令和7年10月20日
第5回	全体の最適化と連携 (適正な機能や体制の実現に向けた病院経営) ①		令和7年11月21日
第6回	全体の最適化と連携 (適正な機能や体制の実現に向けた病院経営) ②		令和7年12月
第7回	検討会報告書まとめ		令和8年2月

第3回の対象である3病院が担う高度専門分野については、今後の社会状況の変化に伴い、中長期的には求められる機能が大きく変わってくることが予想される

⇒ 検討会では、現在の病院に当面必要とされる機能について議論いただきたい

2 こども医療センターについて

2-1 こども医療センターの概要

2-2 こども医療センターの現状と課題

- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

2-3 お諮りしたいこと

2-1 こども医療センターの概要

【沿革】

県立こども医療センターは、医療と福祉を連携したこどものための総合医療施設として、昭和41年度から県衛生部と県福祉部の協力で計画が進められ、全国自治体に先がけて昭和45年4月1日に設置、同年5月26日から診療業務を開始した。

昭和45年度	県立こども医療センター設置
昭和51年度	循環器・精神療育棟（現管理棟・こころの診療病棟）開設 県立横浜南支援学校発足
平成4年度	周産期棟開設
平成8年度	肢体不自由児施設・言語治療棟完成 厚生労働省より総合周産期母子医療センターに認定
平成16年度	横浜市より地域医療支援病院に認定
平成18年度	本館竣工（免震構造）
平成23年度	臨床研究所開設
平成24年度	厚生労働省より小児がん拠点病院に指定。文部科学省研究施設に指定
平成25年度	新しい命のためのサポートセンター開設
平成27年度	小児がんセンター設置。メディカルゲノムセンター設置
平成30年度	神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院選定
令和元年度	成人移行期支援センター開設。周産期棟リニューアルオープン（耐震構造） 成人移行期支援外来「みらい支援外来」開設
令和3年度	入退院支援センター開設

2-1 こども医療センターの概要

【主な機能等】

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期目標	3 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 (4) 各病院の主な機能と今後の方向性 イ こども医療センター 県内唯一の小児専門総合病院として、救急医療を含め、小児の高度・専門医療を担うこと。 福祉施設を併設した小児専門総合病院として、障害児入所施設を運営すること。 医療的ケア児への支援、児童虐待対応への支援、こどものこころのケアの取組等の充実を図ること。 成人移行期医療について、県立病院、他の医療機関及び関係機関と連携し、成人期を迎える患者の成長や発達に応じた移行期支援に努めること。
中期計画	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 4 各病院の主な機能と今後の取組 (2) こども医療センター 福祉施設を併設した小児専門総合病院、小児がん拠点病院、小児三次救急を担う医療機関、総合周産期母子医療センター及びアレルギー疾患医療拠点病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。 ア 主な機能 小児の心疾患や先天性異常 等 に対する手術や 、 難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療 児童・思春期に特化した精神科診療 小児の総合的な緩和ケアの推進 小児がんの 先進的な集学的治療 とAYA世代 20のがん患者に対する適切な治療・支援 小児三次救急及び周産期救急体制による重症患者の積極的な受入れ 医療的ケア児等の在宅移行の支援

2-1 こども医療センターの概要

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期計画	アレルギー疾患における地域の医療機関等への情報提供、人材育成、研究、学校への助言と、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対する最適な治療 患者・家族滞在施設リラのいえ（認定NPO 法人スマイルオブキッズ運営）等との連携による、患児だけでなく親ときょうだい児など家族一体とした支援 イ 福祉施設の取組 福祉施設によるレスパイトケア等、医療的ケアの必要な患者の積極的な受入れ患者ニーズに応じた肢体不自由児施設と重症心身障害児施設の運営 ウ 地域連携の取組 地域の医療、行政、福祉、教育機関等と連携した児童虐待の早期発見や対応並びにこどものこころのケアの質の向上 医療的ケアが必要な患者の入退院支援体制の整備 研修の実施等を通じた地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上支援 成人移行期外来における自立支援や成人期の医療機関との連携 小児の難治性疾患や希少疾患等に係る、地域の医療機関等への情報提供や人材育成 エ 医療安全の取組 神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会による、こども医療センターへの19の提言の着実な履行
------	---

2-1 こども医療センターの概要

【病院の概要】

開設年月	昭和45年4月1日
所在地	〒232-8555 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4 (電車)京浜急行「弘明寺駅」よりバスにて約10分
診療科目	小児科(総合診療科、救急・集中治療科、血液・腫瘍科、内分泌代謝科、感染免疫科、遺伝科、新生児科)、アレルギー科、腎臓内科、神経内科、循環器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、児童思春期精神科、内科(母性)、産婦人科
許可病床数	430床
その他	総合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、小児がん拠点病院、エイズ診療拠点病院

2-1 こども医療センターの概要

【配置図】



2-1 こども医療センターの概要

【施設の概要】

名称	管理棟	こころの診療病棟	肢体不自由児施設・ 言語治療棟	本館	周産期棟
建設年度	昭和51年度	昭和51年度	平成8年	平成17年度	平成4年度 (令和元年度改築)
面積	地下2階地上4階 11,711.99m ²		2階 2,239.62m ²	地下1階地上6階 22,464.63m ²	地下2階地上4階 10,524.09m ²
機能	事務室、食堂、 臨床研究所、 病理検査室、 医局、感染制御室、 医療安全推進室、 治験管理室、 医療情報管理室	こころの診療病棟、 児童思春期精神科 外来、 横浜南支援学校、 臨床心理科	理学療法科、 作業療法科、 言語聴覚科、 横浜南支援学校、 肢体不自由児施設	各病棟(乳幼児内 科・外科、幼児、学 童内科・外科、学童 思春期科)、 ICU、ハイケア、 救急病棟、一般検 査室、生理検査室、 内科系・外科系外来、 会計、薬局、 事務室	母性病棟、 MFICU、 母性外来、 新生児病棟、 NICU、 重症心身障害児施 設

2-1 こども医療センターの概要

【職員数（常勤）】（令和7年3月31日時点）

（単位：人）

医師	看護師	薬剤師	事務職員	管理栄養士	調理職
108	609	23	30	6	6
研究職	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	視能訓練士	診療放射線技師
1	6	4	6	3	15
臨床検査技師	福祉職	保育士	保健師	臨床工学技士	
24	18	5	3	8	

2-1 こども医療センターの概要

【医師数（常勤）の推移（こども医療センター）】 （各年度3月31日時点）

（単位：人）

診療科名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
総長・病院長等	3	3	3	4	4	4	4	4
医療局アレルギー科	2	3	3	3	3	2	2	2
医療局リハビリテーション科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局遺伝科	1	2	2	2	2	1	1	2
医療局外科	6	6	6	6	6	5	5	5
医療局感染免疫科	2	2	2	3	3	2	2	2
医療局眼科	3	3	3	3	3	3	3	3
医療局救急・集中治療科	1	3	2	3	3	3	4	4
医療局形成外科	3	3	3	3	3	3	3	3
医療局血液・再生医療科	6							
医療局血液・腫瘍科		6	5	6	6	5	5	5
医療局産婦人科	6	6	5	6	5	6	6	6
医療局歯科	2	2	2	1	2	2	2	2
医療局児童思春期精神科	5	5	5	5	5	5	5	5
医療局耳鼻いんこう科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局循環器内科	5	5	6	5	5	5	5	5
医療局心臓血管外科	5	3	3	3	2	2	2	3
医療局新生児科	8	10	11	15	16	15	14	14
医療局神経内科	3	3	3	3	3	3	3	2
医療局腎臓内科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局整形外科	5	5	5	5	5	5	3	3

2-1 こども医療センターの概要

【医師数（常勤）の推移（こども医療センター）】（続き）

（単位：人）

診療科名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
医療局総合診療科	2	1	1	1	2	2	1	2
医療局内科（母性）	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局内分泌代謝科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局脳神経外科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局泌尿器科	3	3	3	3	3	3	2	2
医療局皮膚科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局病理診断科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局放射線科	3	4	4	4	4	4	4	4
医療局麻酔科	10	10	10	10	10	10	10	10
緩和ケア普及室	1	1	1	1	1	1	1	
障害児入所施設局	1	1	1	1	1	1	1	1
障害児入所施設局重症心身障害児施設医務課	1	1	1	1	1	1		1
障害児入所施設局肢体不自由児施設医務課							1	1
障害児入所施設局重症心身障害児施設							1	1
地域連携・家族支援局	1	1	1	1	1	1	1	1
地域連携・家族支援局患者家族支援部	1	1	1	1	1	1	1	1
地域連携・家族支援局地域保健推進部	1	1	1	1	1	1	1	1
臨床研究所	1	1	1	1	1	1	1	
臨床研究所治験管理室	1	1	1					
医療技術・発達支援局医療技術部検査科						1	1	1
合計	104	108	107	113	114	110	107	108

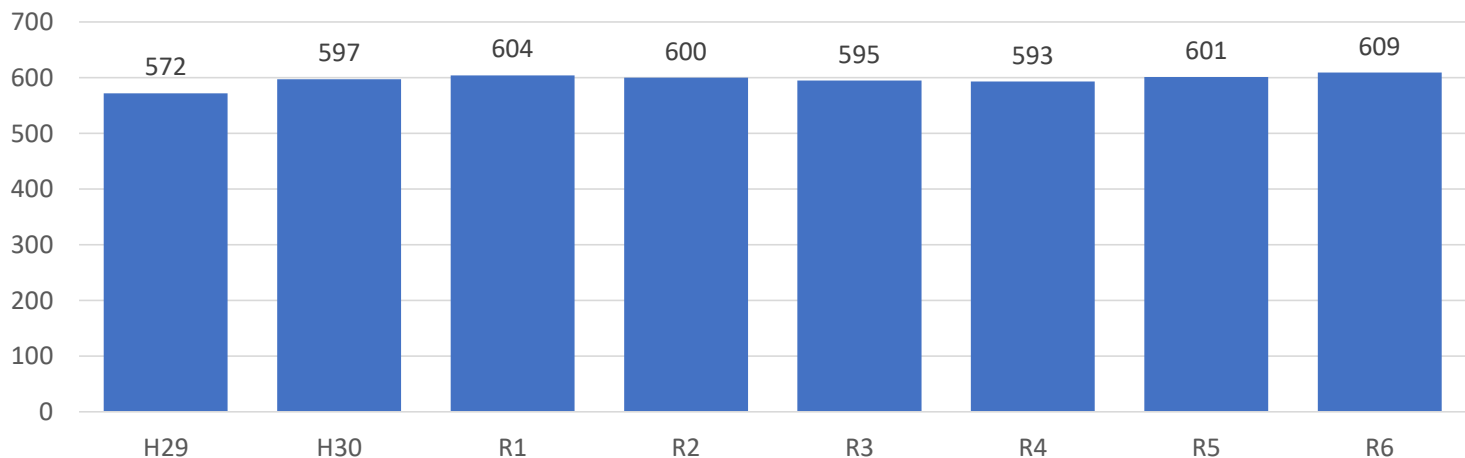
2-1 こども医療センターの概要

【看護師数（常勤）の推移（こども医療センター）】（各年度3月31日時点）

（単位：人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
572	597	604	600	595	593	601	609

看護師数の推移

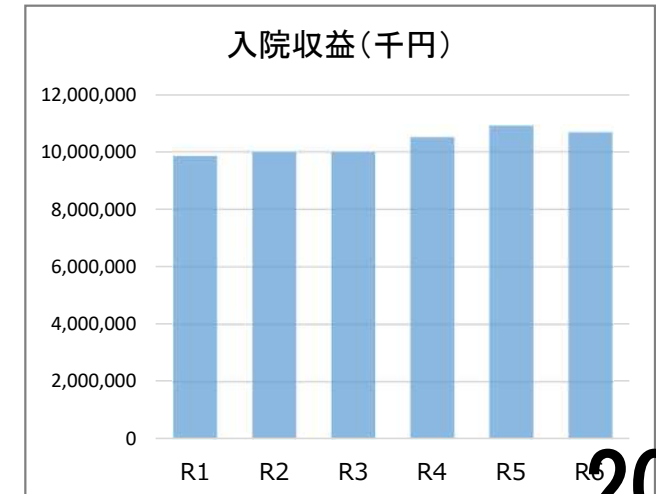
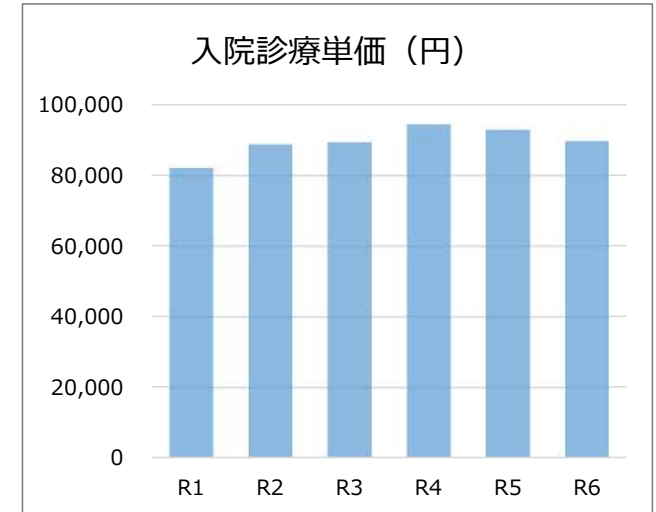
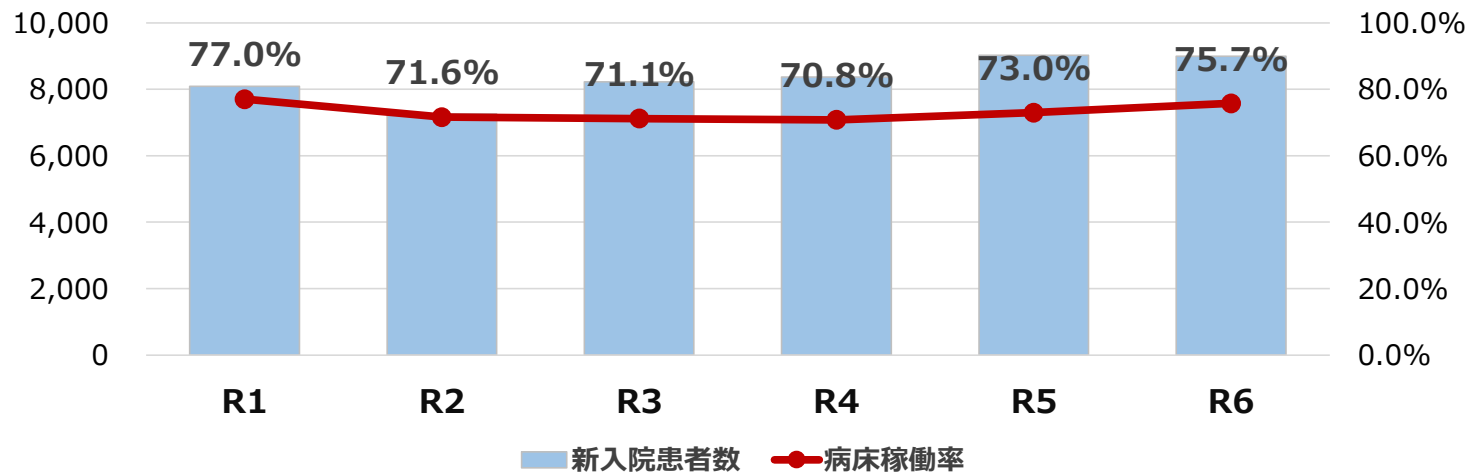


2-2 こども医療センターの現状と課題

- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

2-2 ① 患者動向・経営状況

【入院患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新入院患者数	8,083	7,254	8,220	8,361	9,022	8,992
入院延患者数	119,817	112,386	111,668	111,157	114,818	118,821
病床稼働率 (施設含む)	77.0%	71.6%	71.1%	70.8%	73.0%	75.7%
平均在院日数	14.8	15.5	13.6	13.3	12.7	13.2
入院診療単価 (円)	82,240	88,878	89,537	94,560	93,024	89,890
入院収益 (千円)	9,853,755	9,988,616	9,998,435	10,510,974	10,914,000	10,680,792

【病床稼働率（病棟別）】

病棟	病床数 承認	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1との差	入院基本料等
PICU	10床	84.5%	68.1%	68.4%	77.2%	84.5%	85.2%	+0.7%	小児特定集中治療室管理料
HCU1 (夜間救急)	14床	78.1%	48.0%	48.6%	56.7%	70.6%	76.2%	▲1.9%	ハイケアユニット 入院医療管理料1
HCU2 (循環器・夜間救急)	30床	87.3%	75.5%	67.6%	83.2%	83.8%	85.7%	▲1.6%	小児入院医療管理料1
4東棟 (整形・形成)	30床	80.0%	65.9%	69.1%	75.9%	77.7%	88.3%	+8.3%	小児入院医療管理料1
4南棟 (外科・泌尿器・耳鼻)	30床	78.4%	69.5%	72.3%	73.7%	73.5%	75.9%	▲2.5%	小児入院医療管理料1
4西棟 (循環器・脳外・皮膚・眼・ 歯・自立支援)	30床	84.6%	72.2%	73.3%	73.1%	74.5%	74.5%	▲10.1%	小児入院医療管理料1
5南棟 (乳幼児内科)	30床	80.7%	76.8%	76.7%	68.6%	71.7%	78.7%	▲2.0%	小児入院医療管理料1
5西棟 (幼児・学童、思春期内科)	30床	84.8%	72.9%	77.6%	70.6%	73.8%	80.7%	▲4.1%	小児入院医療管理料1

(4階病棟はR6年10月に年齢別混合病棟から診療科別に再編)

【病床稼働率（病棟別）（続き）】

病棟	病床数 承認	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1との差	入院基本料等
クリーン(血液・腫瘍科、造血細胞移植)	15床	83.1%	74.7%	64.0%	72.0%	71.7%	76.5%	▲6.6%	小児入院医療管理料1
母性棟 ※1	24床	66.7%	73.5%	78.8%	71.2%	76.9%	70.5%	+3.8%	一般病棟 7:1 入院基本料
MFICU ※2	6床	86.3%	76.3%	76.3%	73.6%	80.9%	80.7%	▲5.6%	総合周産期特定集中室管理料 (母体・胎児集中治療室管理料)
NICU	27床	92.4%	91.9%	93.2%	92.3%	94.6%	98.2%	+5.8%	総合周産期特定集中室管理料 (新生児集中治療室管理料)
新生児 ※3 (GCU)	24床	61.7%	52.3%	54.4%	53.2%	59.3%	62.6%	+0.9%	小児入院医療管理料1
こころ	40床	80.1%	73.6%	77.9%	74.5%	79.0%	78.8%	▲1.3%	児童・思春期精神科入院医療管理料
合計 (施設除く)	340床	78.0%	71.5%	72.5%	73.1%	76.4%	79.4%	+1.4%	
肢体棟	50床	56.3%	58.7%	47.5%	41.3%	36.1%	38.4%	▲17.9%	小児入院医療管理料4
重心棟	40床	94.7%	88.9%	88.9%	88.8%	90.1%	91.2%	▲3.5%	小児入院医療管理料4
合計 (施設含む)	430床	77.0%	71.6%	71.1%	70.8%	73.0%	75.7%	▲1.3%	

2-2 ① 患者動向・経営状況

【入院延患者数】

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
総合診療科	5,836	3,809	3,355	2,721	4,272	4,840	82.9%
救急・集中治療科	15	6	0	3	3	317	2113.3%
血液・腫瘍科	15,512	15,033	15,049	14,019	12,686	12,487	80.5%
内分泌代謝科	1,119	877	961	1,416	1,670	1,573	140.6%
感染免疫科	1,321	1,839	1,885	1,932	2,388	2,518	190.6%
腎臓内科	426	368	532	230	215	802	188.3%
遺伝科	78	78	33	146	121	13	16.7%
アレルギー科	463	274	430	291	529	669	144.5%
神経内科	4,829	4,115	4,692	4,193	4,938	4,804	99.5%
循環器内科	9,624	8,035	6,727	8,612	9,510	10,584	110.0%
一般内科	438	216	325	429	483	592	135.2%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【入院延患者数】（続き）

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
外科	8,094	5,255	6,339	7,165	6,488	6,930	85.6%
整形外科	4,555	3,738	3,267	4,287	5,484	7,429	163.1%
形成外科	3,377	2,796	2,765	2,568	2,050	2,238	66.3%
脳神経外科	2,664	2,641	3,156	3,428	3,454	1,999	75.0%
心臓血管外科	3,605	4,065	3,099	3,282	2,434	2,537	70.4%
皮膚科	553	467	492	305	358	422	76.3%
泌尿器科	1,196	1,266	1,313	1,105	1,196	1,182	98.8%
眼科	433	261	304	263	262	309	71.4%
耳鼻いんこう科	1,577	719	1,042	1,173	1,405	1,148	72.8%
歯科	333	215	274	289	308	361	108.4%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【入院延患者数】（続き）

単位：（人）

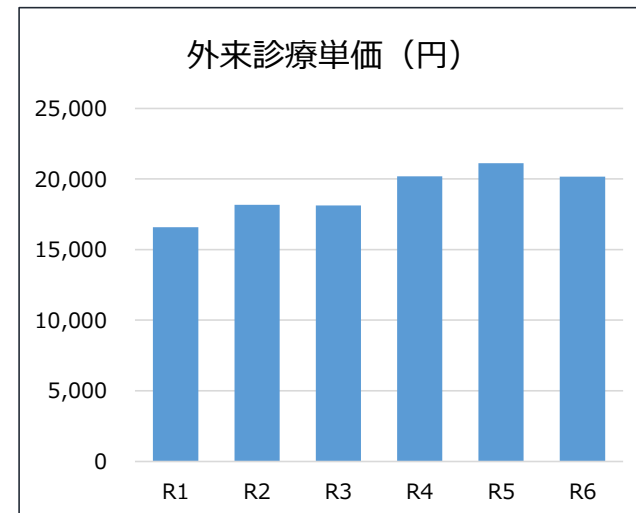
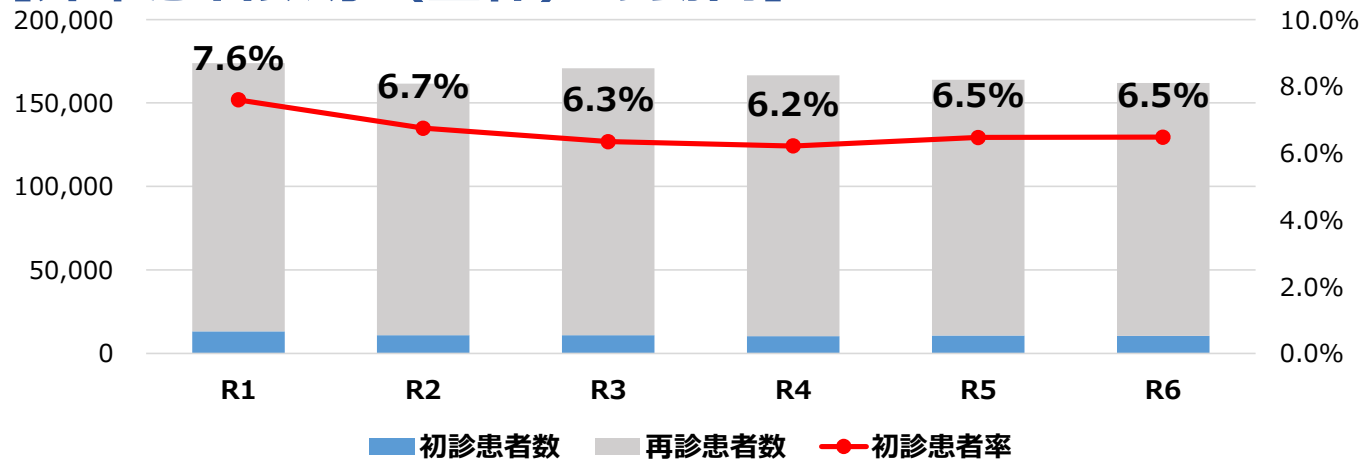
診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
児童思春期精神科	11,691	10,745	11,376	10,882	11,563	11,502	98.4%
新生児科	12,049	14,796	15,231	15,308	15,977	16,646	138.2%
内科（母性）	107	173	172	102	160	161	150.5%
胎児診療・産婦人科	6,887	7,364	7,729	7,177	7,600	6,989	101.5%
肢体不自由児施設	9,625	10,409	8,299	7,038	6,188	6,851	71.2%
重症心身障害児施設	13,410	12,826	12,821	12,793	13,076	12,918	96.3%
合計	119,817	112,386	111,668	111,157	114,818	118,821	99.2%

（合計の推移）

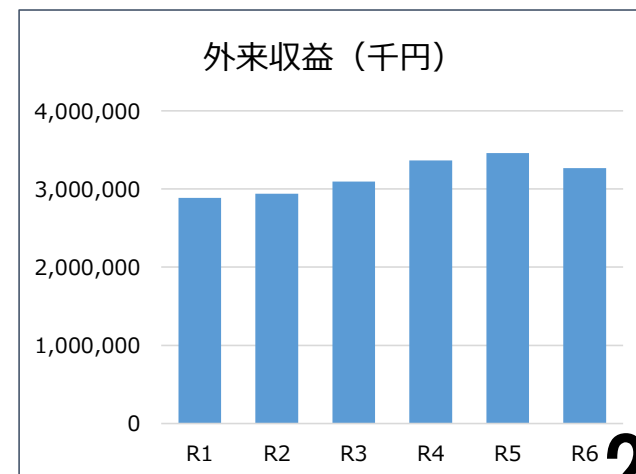


2-2 ① 患者動向・経営状況

【外来患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
初診患者数	13,198	10,906	10,832	10,349	10,599	10,485
再来患者数	160,596	150,801	159,921	156,185	153,261	151,471
外来延患者数	173,794	161,707	170,753	166,534	163,860	161,956
外来診療単価（円）	16,593	18,162	18,118	20,191	21,113	20,160
外来収益（千円）	2,883,761	2,936,529	3,093,709	3,362,198	3,459,581	3,265,044
初診患者率	7.6%	6.7%	6.3%	6.2%	6.5%	6.5%



2-2 ① 患者動向・経営状況

【初診患者数】

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
総合診療科 (R5～含む言語科)	397	313	336	278	530	581	146.3%
救急・集中治療科	74	59	65	42	60	56	75.7%
血液・腫瘍科	127	121	125	123	113	130	102.4%
内分泌代謝科	369	332	362	329	339	352	95.4%
感染免疫科	80	74	72	70	79	68	85.0%
腎臓内科	35	26	41	15	28	99	282.9%
遺伝科	549	304	398	351	347	316	57.6%
アレルギー科	256	200	201	208	194	231	90.2%
神経内科 (～R4含む言語科)	517	441	517	501	277	199	39.5%
循環器内科	340	327	326	325	310	285	83.8%
一般内科	12	6	14	16	24	22	183.3%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【初診患者数】（続き）

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
外科	583	489	508	526	536	457	78.4%
整形外科	880	861	905	966	900	926	105.2%
リハビリテーション科	5	4	8	5	1	5	100.0%
形成外科	346	343	342	393	272	344	99.4%
脳神経外科	239	216	317	266	259	279	116.7%
心臓血管外科	4	4	8	8	5	2	50.0%
皮膚科	1253	1155	1318	1328	1272	1176	93.9%
泌尿器科	683	720	713	525	684	612	89.6%
眼科	820	928	942	926	917	905	110.4%
耳鼻いんこう科	581	400	406	428	418	420	72.3%
放射線科	0	0	0	0	0	0	-
歯科	2618	1062	510	398	452	492	18.8%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【初診患者数】（続き）

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
麻酔科	2	0	1	1	4	2	100.0%
児童思春期精神科	470	466	429	379	322	304	64.7%
新生児科	633	729	728	727	853	831	131.3%
胎児診療・産婦人科	1,165	1,187	1,131	1,166	1,340	1,326	113.8%
内科（母性）	160	139	108	45	60	64	40.0%
肢体不自由児施設	0	0	1	4	3	0	-
重症心身障害児施設	0	0	0	0	0	1	-
合計	13,198	10,906	10,832	10,349	10,599	10,485	79.4%

（合計の推移）



2-2 ① 患者動向・経営状況

【再来患者数】

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
総合診療科 (R5～含む言語科)	6,517	5,984	5,939	4,969	7,984	8,385	128.7%
救急・集中治療科	971	565	688	704	705	560	57.7%
血液・腫瘍科	5,653	5,131	6,039	6,412	6,473	6,554	115.9%
内分泌代謝科	10,153	9,062	10,205	10,861	10,811	10,850	106.9%
感染免疫科	2,671	2,431	2,775	2,740	2,645	2,534	94.9%
腎臓内科	1,444	1,442	1,646	1,634	1,556	1,655	114.6%
遺伝科	5,150	4,618	5,135	4,931	4,901	4,532	88.0%
アレルギー科	6,657	5,212	4,608	3,731	3,129	3,040	45.7%
神経内科 (～R4含む言語科)	16,673	15,148	16,020	15,673	11,814	10,172	61.0%
循環器内科	10,880	10,049	11,237	11,151	10,731	10,500	96.5%
一般内科	1,516	1,209	1,309	1,344	1,324	1,438	94.9%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【再来患者数】（続き）

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
外科	7,249	6,544	7,006	6,820	6,803	6,630	91.5%
整形外科	11,294	10,711	11,487	11,667	11,712	12,209	108.1%
リハビリテーション科	1,917	1,655	1,499	1,584	1,282	1,308	68.2%
形成外科	4,946	4,604	4,870	5,047	4,466	4,840	97.9%
脳神経外科	3,573	3,446	3,971	3,770	3,726	3,839	107.4%
心臓血管外科	283	313	211	180	113	94	33.2%
皮膚科	8,887	8,368	8,052	7,589	7,345	7,377	83.0%
泌尿器科	6,148	6,565	6,817	6,582	6,278	6,582	107.1%
眼科	11,091	10,727	11,119	11,229	12,062	12,105	109.1%
耳鼻いんこう科	6,110	4,976	4,987	5,400	5,778	5,594	91.6%
放射線科	1	0	4	2	3	3	300.0%
歯科	3,855	4,258	5,329	4,794	4,526	4,243	110.1%

2-2 ① 患者動向・経営状況

【再来患者数】（続き）

単位：（人）

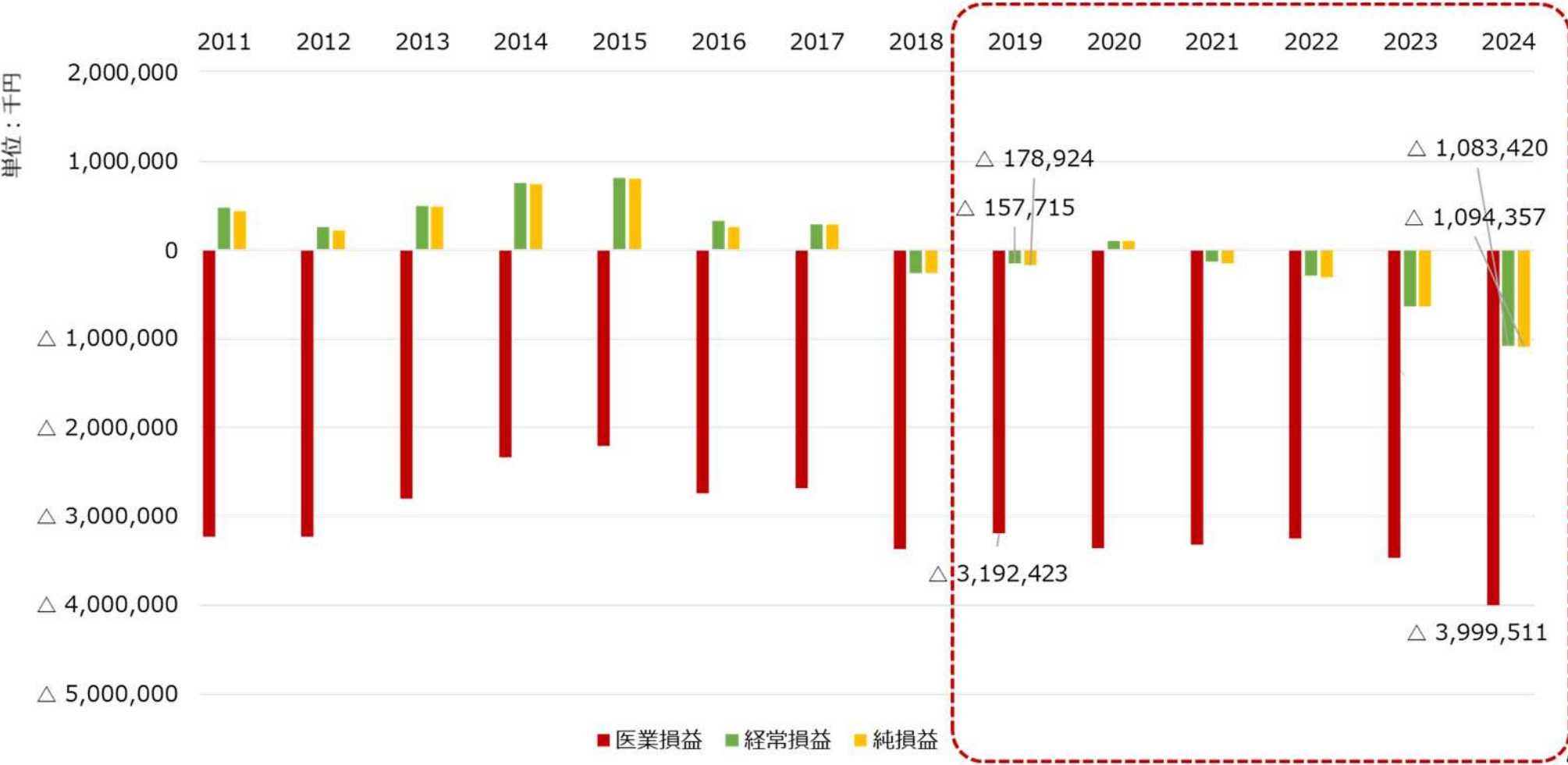
診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
麻酔科	602	449	423	459	558	411	68.3%
児童思春期精神科	12,453	11,977	12,787	11,351	10,214	9,842	79.0%
新生児科	4,952	5,074	5,537	5,486	5,811	5,246	105.9%
胎児診療・産婦人科	6,164	7,360	7,024	7,067	7,448	7,915	128.4%
内科（母性）	2,786	2,923	3,197	3,008	3,063	3,013	108.1%
肢体不自由児施設	0	0	0	0	0	0	-
重症心身障害児施設	0	0	0	0	0	0	-
合計	160,596	150,801	159,921	156,185	153,261	151,471	94.3%

（合計の推移）



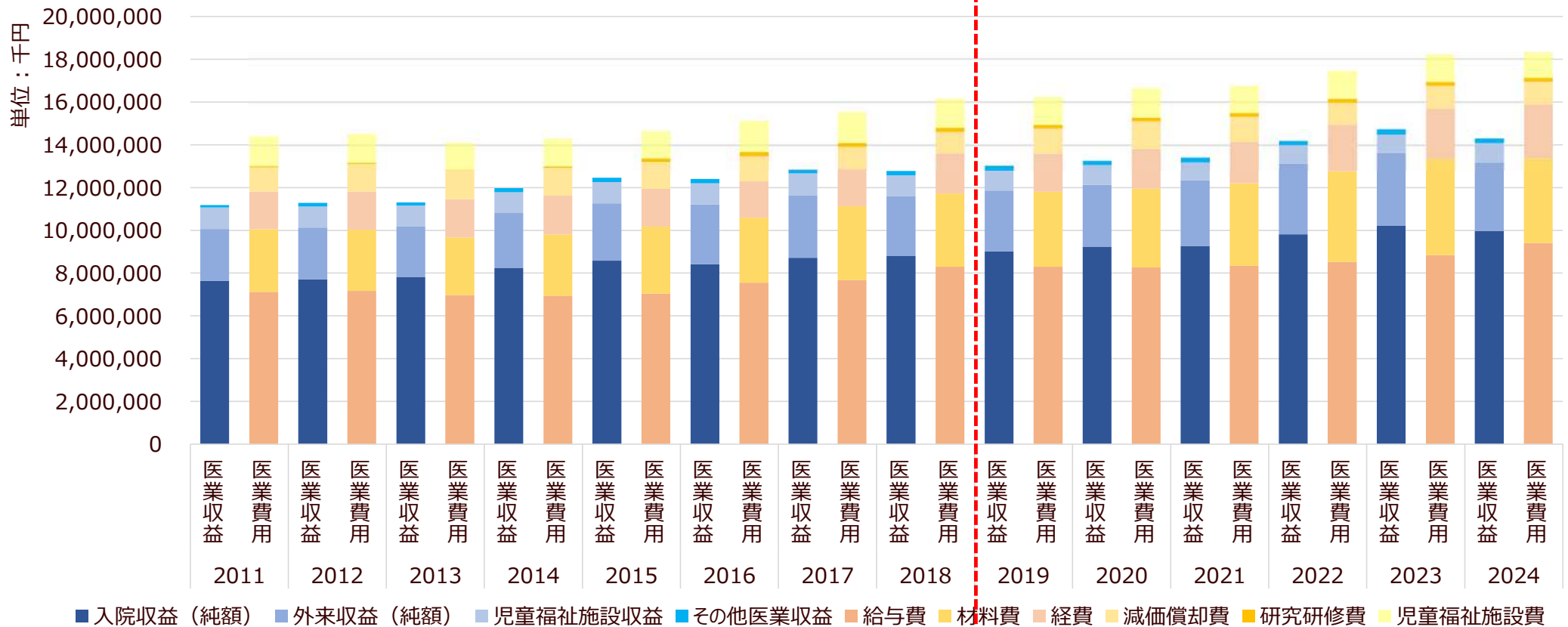
2-2 ① 患者動向・経営状況

【医業損益・経常損益・純損益の推移】



2-2 ① 患者動向・経営状況

【医業収益・医業費用の推移】



2-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向・経営状況のポイント

① 入院

- ・新規入院患者数はコロナ前のR1比較で1割程度増えているが、平均在院日数の短縮等により、入院延患者数は伸びていない
- ・R6の病床稼働率は、医療型障害児入所施設を含めた全体で75.7%（コロナ前と同水準）
- ・医療型障害児入所施設を除いた稼働状況は79.4%と、R1年比で2.5ポイント増
- ・病棟別では、NICUの稼働率が98.2%であるのに対し、GCUが62.6%にとどまる
- ・入院診療単価は、R1年度と比べて増加しているが、2年連続で減少

② 外来

- ・外来患者数は年々減少傾向にあり、初診患者、再来患者ともにR1の水準に戻っていない
- ・診療科別では、初診患者では腎臓内科が182.9ポイントと大幅に増えているほか、一般内科も83.3ポイント増えている一方、神経内科や内科（母性）は半減しており、再来患者ではアレルギー科が半減している
- ・外来診療単価は上昇傾向にあったが、R6は若干減少

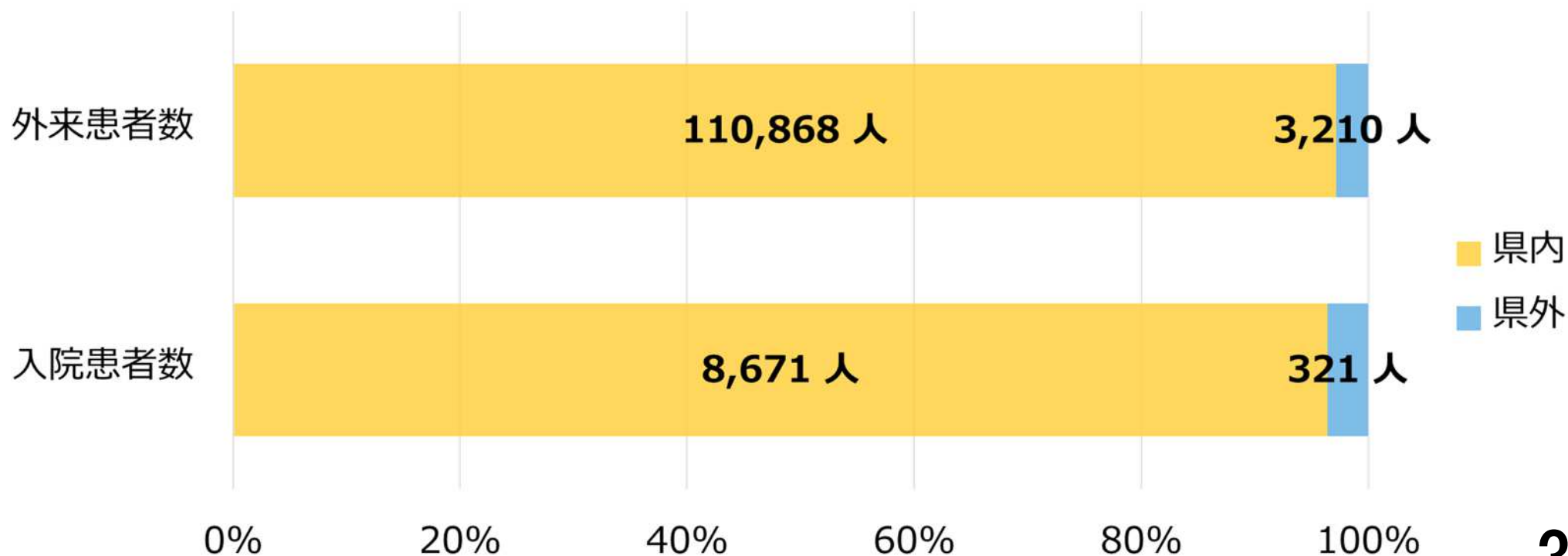
③ 経営状況

- ・給与費や薬品費等の医業費用も増加しており、平成30年度以降、R2年度を除いて経常損益は赤字で推移

2-2 ① 患者動向・経営状況

【令和6年度 患者動向（患者住所別）】

県内外の患者住所シェア（令和6年度実績）



2-2 ① 患者動向・経営状況

【患者動向（患者住所別：都道府県別）】

○ 診療科別外来患者住所（令和6年度実績①）

単位：人

診療科	総計	神奈川県	東京都	千葉県	埼玉県	静岡県	茨城県	栃木県	山梨県	愛知県	青森県	福島県	岐阜県	鹿児島県	山形県	兵庫県	長野県	群馬県	宮城県	石川県	秋田県	北海道	沖縄県	大阪府	香川県	富山県	熊本県	福岡県	新潟県	鳥取県	滋賀県	三重県	徳島県	長崎県	大分県	広島県	京都府	宮崎県	愛媛県	奈良県	福井県	岩手県	高知県	和歌山県	岡山県	
総計	114,078	110,868	1,858	379	260	141	70	56	56	52	37	29	25	21	19	18	18	17	16	16	13	12	10	10	7	6	6	6	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1
眼科	11,374	11,074	161	69	24	5		4	11		14	1	1						3	2										1	2								2							
整形外科	10,432	10,141	179	12	18	34	3	2	11	2		2	5	2	3			3			1	5	3	1		1							1			1	1				1					
内分泌代謝科	8,533	8,427	73	9	5	4	3	1			1										2			3		3											2									
精神科	8,255	8,121	102	4	9	7		1				2	4				3			2																										
循環器内科	7,700	7,327	221	49	27	12	21	7	10	5	1	1	1	1	1			2	2	4	5	1		1				1																		
皮膚科	7,229	7,120	63	12	8	7	3		4			1				1	4	4				1																								1
神経内科	6,818	6,770	31	8	3									3									1				1					1														
泌尿器科	6,057	5,868	111	20	11	4	5		1	2		1		3		2		1	9	4	2	2		1		2			2						1			3		1				1		
外科	5,418	5,173	115	26	29	12	8	1	3	14	1	4		5	8	6	3					1	2			1				2					2		2									
総合診療科 ※含む言語科	5,102	5,001	67	14	12	2									1					1					1			1						1												

2-2 ① 患者動向・経営状況

【患者動向（患者住所別：都道府県別）】（続き）

○ 診療科別外来患者住所（令和6年度実績②）

単位：人

診療科	総計	神奈川県	東京都	千葉県	埼玉県	静岡県	茨城県	栃木県	山梨県	愛知県	青森県	福島県	岐阜県	鹿児島県	山形県	兵庫県	長野県	群馬県	宮城県	石川県	秋田県	北海道	沖縄県	大阪府	香川県	富山県	熊本県	福岡県	新潟県	鳥取県	滋賀県	三重県	徳島県	長崎県	大分県	広島県	京都府	宮崎県	愛媛県	奈良県	福井県	岩手県	高知県	和歌山県	岡山県			
耳鼻いんこう科	4,311	4,219	52	3	17	4	3		1	4		1			1			1			1					1				1					1			1										
歯科	4,151	4,032	71	14	7	5	2	2			2	2	4			3				1					2					2		1												1				
形成外科	3,791	3,537	86	50	35	12	6	3	4	5	4	9	3	3	2	3	2	1	2	2	2		3	2	4	1	1	2		2	1	1		2											1			
新生児科	3,747	3,548	121	19	29	6	3	1	3	7				1	1	1	2													2		1	1										1					
血液・腫瘍科	3,474	3,363	85	6	3	4		5			1				1			4				1		1																								
胎児診療・産婦人科	3,298	3,180	78	19	5	2		2	1	6				3			1													1																		
遺伝科	3,071	2,982	57	13	7	2	2	1	1					1		2							1												1							1						
脳神経外科	2,743	2,683	30	11	4	2		2	2	2			3				1											1					2															
アレルギー科	2,436	2,390	17	12	2		11			3							1																															
感染免疫科	1,886	1,761	68			11		24	4		12	5			1																																	

2-2 ① 患者動向・経営状況

【患者動向（患者住所別：都道府県別）】（続き）

○ 診療科別外来患者住所（令和6年度実績③）

単位：人

診療科	総計	神奈川県	東京都	千葉県	埼玉県	静岡県	茨城県	栃木県	山梨県	愛知県	青森県	福島県	岐阜県	鹿児島県	山形県	兵庫県	長野県	群馬県	宮城県	石川県	秋田県	北海道	沖縄県	大阪府	香川県	富山県	熊本県	福岡県	新潟県	鳥取県	滋賀県	三重県	徳島県	長崎県	大分県	広島県	京都府	宮崎県	愛媛県	奈良県	福井県	岩手県	高知県	和歌山県	岡山県					
内科（母性）	1,659	1,591	43	6	4	6				2			1	2			1	1						1				1																						
腎臓内科	1,345	1,329	15	1																																														
救急・集中治療科	587	574	8	2	1						1																1																							
リハビリテーション科	562	560	2																																															
心臓血管外科	74	73	1																																															
一般内科	22	22																																																
重症心身障害児施設	1	1																																																
放射線科	1		1																																															
麻酔科	1	1																																																

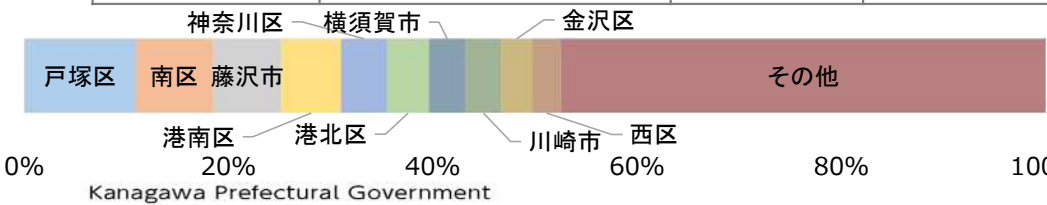
DPC分析ソフト(ヒラソル)

2-2 ① 患者動向・経営状況

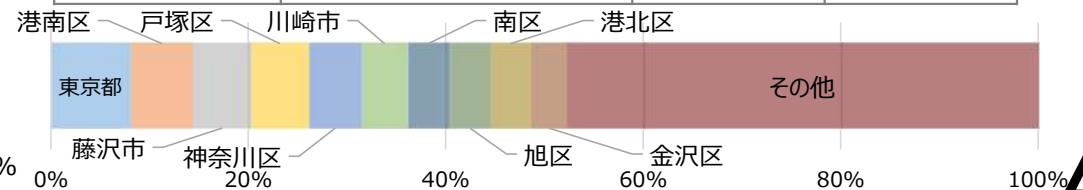
【紹介元・紹介先医療機関の動向（診療科別）】

【全体】

紹介元	令和6年度		
降順	地域	件数	割合
全体	—	10,290	—
1	戸塚区	1,124	10.9%
2	南区	776	7.5%
3	藤沢市	687	6.7%
4	港南区	603	5.9%
5	神奈川区	467	4.5%
6	港北区	421	4.1%
7	横須賀市	365	3.5%
8	川崎市	361	3.5%
9	金沢区	312	3.0%
10	西区	290	2.8%



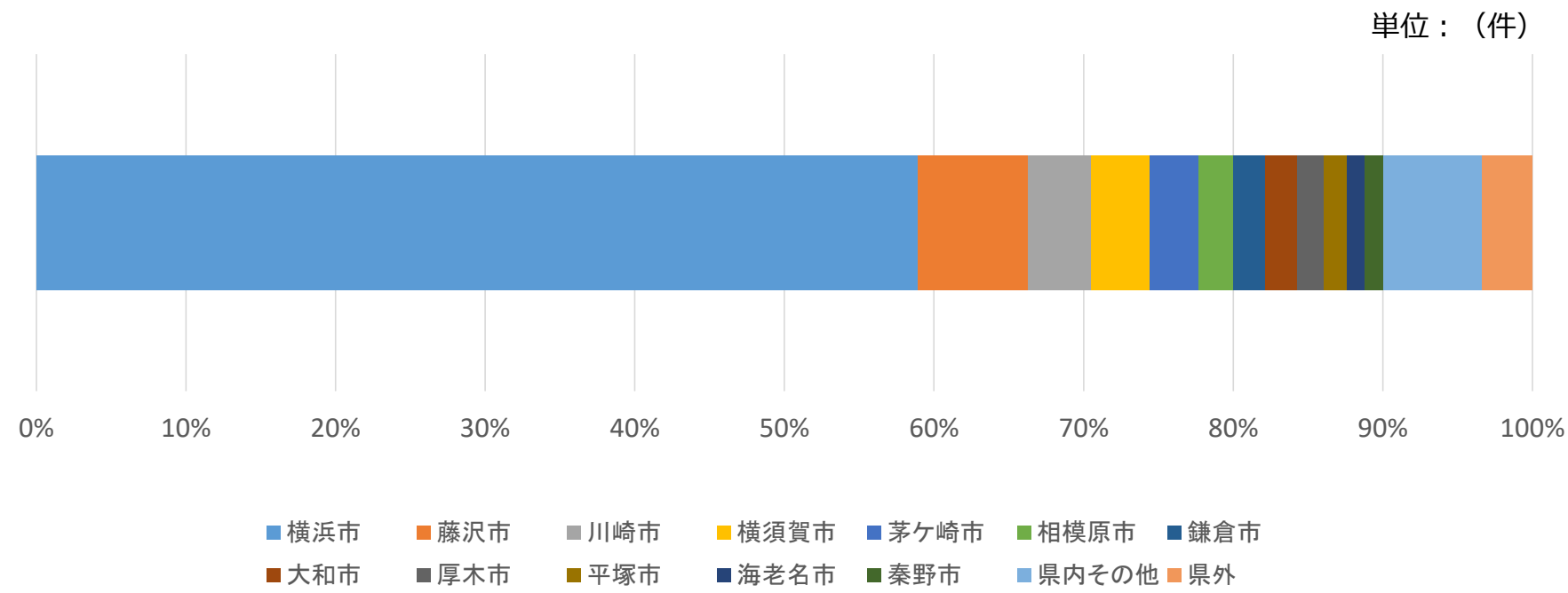
紹介先	令和6年度		
降順	地域	件数	割合
全体	—	6858	—
1	東京都	555	8%
2	港南区	434	6%
3	藤沢市	402	6%
4	戸塚区	400	6%
5	神奈川区	370	5%
6	川崎市	314	5%
7	南区	296	4%
8	旭区	283	4%
9	港北区	280	4%
10	金沢区	250	4%



HumanBridge（地域医療ネットワークシステム）統計

2-2 ① 患者動向・経営状況

【住所別・退院件数（R5年度）】



2-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向・経営状況のポイント

④ 住所地

- ・ 外来患者、入院患者ともに9割以上は県内在住者であるが、県外患者も一定数を占め、北海道から沖縄までの全国各地にわたる
- ・ 県内在住者についても、横浜市以外からの患者が4割強となっており、県内の広い範囲から患者が受診している

2-2 ② 提供する医療内容

【診療科別手術件数】

単位：（件）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
内科	18	1	5	5	5	1	5.6%
循環器内科	444	401	376	365	342	356	80.2%
外科	778	683	779	766	756	793	101.9%
整形外科	263	224	233	267	290	315	119.8%
形成外科	361	322	340	312	228	346	95.8%
脳神経外科	157	141	167	175	145	94	59.9%
心臓血管外科	255	255	202	246	256	204	80.0%
皮膚科	59	50	46	39	44	46	78.0%
泌尿器科	384	412	434	395	393	412	107.3%
産科	213	208	239	205	237	224	105.2%
眼科	183	104	129	113	121	116	63.4%
耳鼻咽喉科	408	191	255	274	332	260	63.7%
歯科	140	109	127	133	156	165	117.9%
その他	14	12	14	16	7	7	50.0%
合計	3,677	3,113	3,346	3,311	3,312	3,339	90.8%

Kanagawa Prefectural Government

2-2 ② 提供する医療内容

【新生児疾患・先天性奇形の患者数比較】

MDC14	名称	こども医療センター		横浜市立大学附属病院		北里大学病院		東海大学医学部付属病院		聖マリアンナ医科大学病院 国立成育医療研究センター			
		(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計		
	140010 低出産体重に係る障害等	73	217	15	99	110	288	0	120	62	376	182	1,228
	140070 頭蓋、顔面骨の先天異常	10	21	0	0	0	20	0	0	0	0	18	75
	140080 脳、脊髄の先天異常	14	33	0	0	0	38	0	0	0	0	89	356
	140190 小耳症・耳介異常・外耳道閉鎖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
	140210 先天性耳瘻孔、副耳	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25
	140245 舌・口腔・咽頭の先天異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
	140270 肺の先天性異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	140280 気道の先天異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	32
	14029x 動脈管開存症、心房中隔欠損症	57	77	22	35	10	27	42	55	23	38	24	24
	14031x 先天性心疾患	211	432	22	83	26	103	0	0	16	36	84	177
	140410 先天性肥厚性幽門狭窄症	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2-2 ② 提供する医療内容

【新生児疾患・先天性奇形の患者数比較】（続き）

MDC14	名称	こども医療センター		横浜市立大学附属病院		北里大学病院		東海大学医学部付属病院		聖マリアンナ医科大学病院 国立成育医療研究センター			
		(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計	(再掲) 手術あり	計
	140420 腸重積	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	17	17
	140430 腸管の先天異常	23	23	0	0	13	13	0	0	0	0	0	0
	14044x 直腸肛門奇形、ヒルシュプルング病	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	140460 胆道の先天異常（閉鎖症）	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
	140490 手足先天性疾患	88	88	0	0	33	33	0	0	18	18	233	246
	140500 骨軟骨先天性形成異常	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	39	98
	140510 股関節先天性疾患、大腿骨先天性疾患	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14056x 先天性水腎症、先天性上部尿路疾患	20	20	0	0	25	37	0	0	0	0	19	30
	140580 先天性下部尿路疾患	64	64	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34
	140590 停留精巣	81	81	0	0	73	73	11	11	20	20	108	108
	140620 その他の先天異常	14	26	0	0	0	26	0	0	0	0	19	37

（補足）

こども医療センターでは、日帰り手術を進めている診療科があり、
「140590 停留精巣」は、日帰り入院の件数を含めると143件となる

※ DPC公開データのため日帰り入院の患者数は含まれない

2-2 ② 提供する医療内容

【その他の治療件数等】

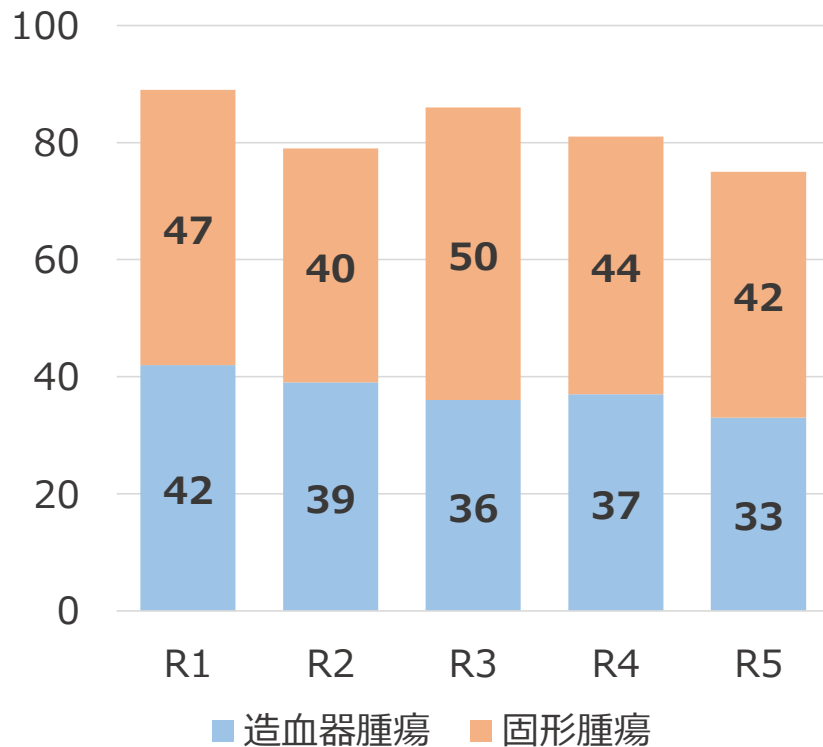
区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
救急車による救急受入件数（件）	531	363	470	525	594	516	97.2%
周産期救急入院患者数（件）	227	333	305	332	416	399	175.8%
NICU新規入院患者数（人）	306	383	335	337	459	352	115.0%
MFICU新規入院患者数（人）	80	234	196	205	352	205	256.3%
GCU新規入院患者数（人）	223	310	281	274	407	358	160.5%
小児がん患者新規入院患者数（人）	88	75	84	75	90	63	71.6%
リハビリテーション件数（件）	24,042	22,424	22,298	20,226	22,369	22,979	95.6%
緩和ケア実施件数（件）	141	48	46	76	85	90	63.8%

2-2 ② 提供する医療内容

【小児がん患者数の推移】

神奈川県立こども医療センター

単位：件数

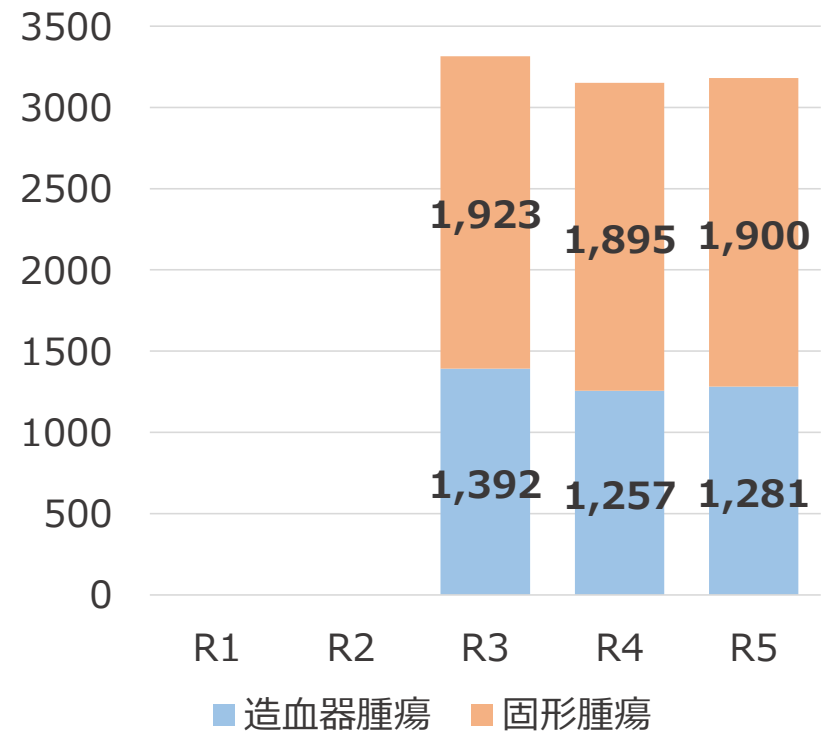


出典：神奈川県立こども医療センター年報

Kanagawa Prefectural Government

小児がん拠点病院

単位：件数



出典：国立成育医療研究センター

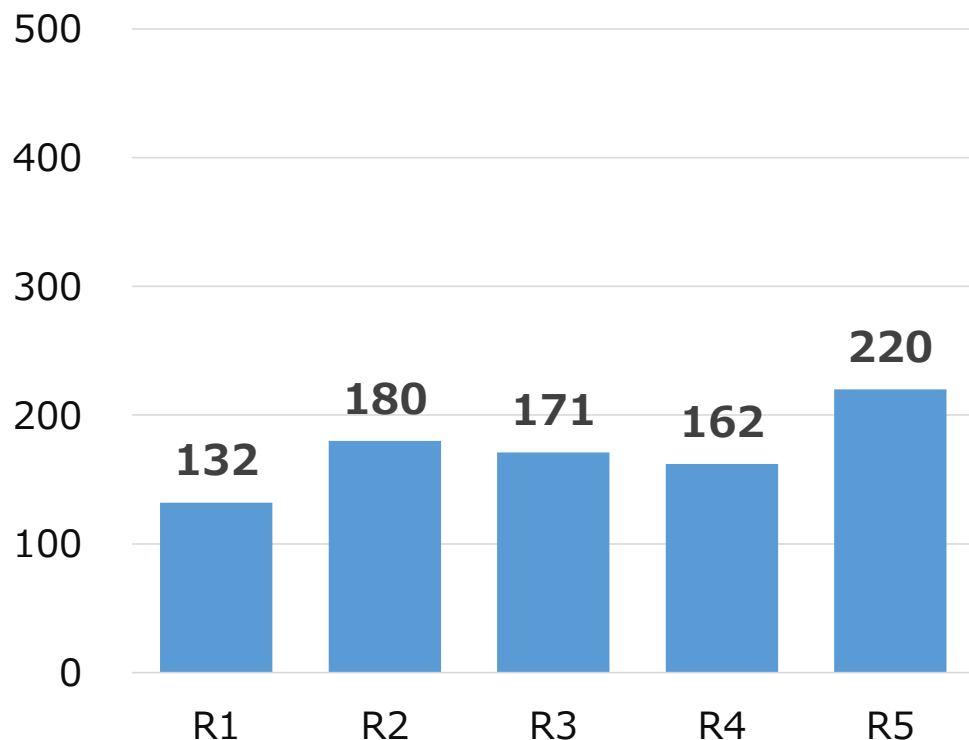
小児がん拠点病院情報公開データ（2021-2023）

2-2 ② 提供する医療内容

【妊娠期間短縮、低出産体重に関する障害（MDC140010）】

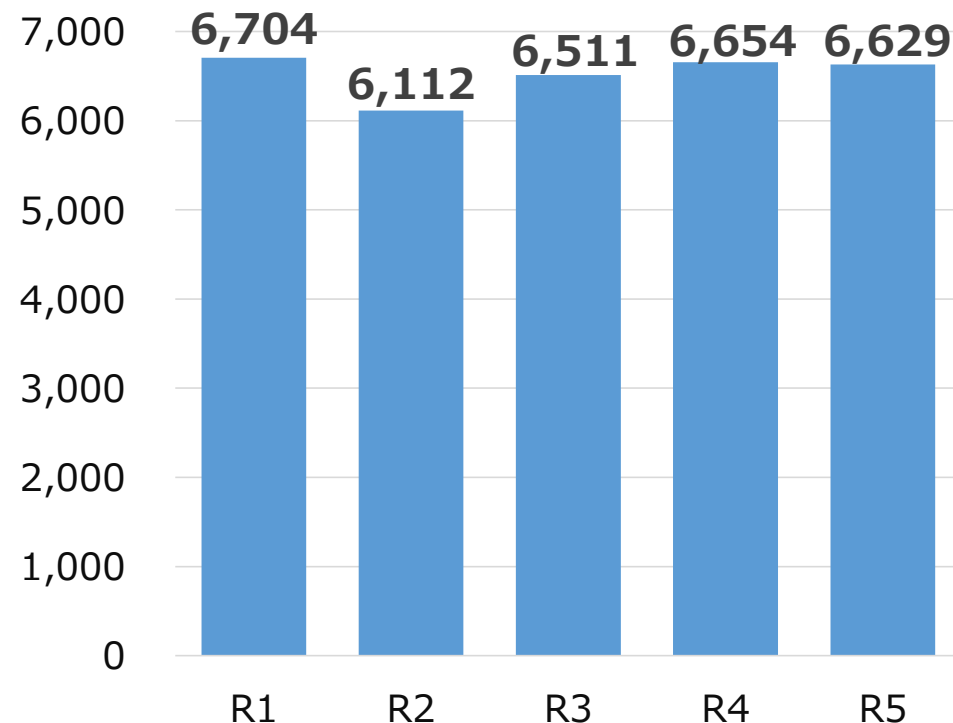
MDC140010 妊娠期間短縮、低出産体重に関する障害

神奈川県立こども医療センター



Kanagawa Prefectural Government

神奈川県DPC病院全体



出典：（厚労省）DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告 2019～2023

2-2 ② 提供する医療内容

【総合周産期母子医療センター】

神奈川県で総合周産期母子医療センターに指定されている5病院のうち、最初に指定された病院として、ハイリスクな妊婦や重症の新生児に対応するなど、産科と新生児科の高度な医療を提供している。

施設名	指定年月日	住所地
神奈川県立こども医療センター	H8.5.30	横浜市南区六ツ川
北里大学病院	H17.1.18	相模原市南区北里
東海大学医学部附属病院	H18.4.1	伊勢原市下糟屋
横浜市立大学附属総合医療センター	H19.6.1	横浜市南区浦舟町
聖マリアンナ医科大学病院	H22.4.1	川崎市宮前区菅生

2-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

① 手術

- ・手術は、他病院で実施していない術式（例：先天性心疾患等）への対応をはじめ、多岐にわたる専門性の高い内容が多いがR6の全体の件数（3,339件）は、R1（3,677件）比較で9割程度となっている
- ・増加率の高い診療科は、整形外科、歯科で、減少率の高い診療科は、脳神経外科、眼科、耳鼻科

② 新生児疾患等

- ・特に新生児の先天性心疾患への対応については、県内大学病院と比較しても格段に件数が多く、国立成育医療センターより多い
- ・その他、先天性奇形等についても幅広く対応している

③ 小児がん

- ・小児がん拠点病院として、年間70～90人の新規患者の受け入れを行ってきたが、R6は63人(県内1位)

④ 救急対応等

- ・総合周産期母子医療センターとして重症患者等を積極的に受け入れている
- ・救急受入れ件数については、交通事故等の外傷対応が困難なことから、年間500件程度
- ・周産期救急を受け入れるとともに、妊娠期間短縮や低出産体重など、難しい分娩に対応している（R6は、救急受入れ件数516件中周産期救急は399件（77.3%））

2-2 ② 提供する医療内容

【医療安全体制】

【外部調査委員会からの提言】

- 令和3年10月にこども医療センターで発生した患者死亡事故を契機に設置した「医療安全推進体制に係る外部調査委員会」において、各病院及び機構全体としての医療安全体制等の検証を実施。
- 「外部調査委員会」の調査報告書（R6.2.29）では、こども医療センターや機構全体への指摘とともに、患者安全確保のための42項目の提言があった。

＜外部調査委員会の指摘＞

- ・ 医療安全文化が確立していない
- ・ 高度な専門性かつマンパワー不足の中、患者安全に限界を訴える診療科が存在
- ・ 全身管理を不得手とする医師の存在やそれを病院として補う体制が脆弱
- ・ 医師と看護師のリスク管理の連携不足
- ・ 重大医療事故の対応力が弱い

＜提言＞

以下の5つの区分で提言（こども医療センター向け19項目、機構本部及び全病院向け23項目）

- (1) 患者安全確保における基盤整備等について
- (2) 日々の患者安全活動について
- (3) 日常の事故報告・医療過誤防止等について
- (4) 重大事故事案の対応について
- (5) 重大事故事案の共有・公表について

2-2 ② 提供する医療内容

【医療安全体制】

【「42の提言」アクションプラン】

- 病院機構では、「外部調査委員会」による42項目を推進するための行動計画として、令和6年7月に「42の提言」アクションプラン」を策定し、機構本部及び各病院において、医療安全に係る取組を進めている。

＜機構全体の取組＞

- ・ 職員育成に係るプランを一体的に推進する方針(案)作成
- ・ 発生した医療課題に対し、顧問弁護士（及び本部）、病院が連携して対応する医法連携体制の構築等

＜こども医療センターの取組＞

- ・ 患者の重篤有害事象を減少させることを目的としたRRSを導入（R4導入、R5から24時間体制）※
※プラン策定前からの取組
- ・ 全身管理を不得手とする医師へのサポートチームの構築（R6）
- ・ 総合診療科による外科系診療科サポート及び救急・集中治療科における内科系呼吸器管理サポート（R6）
- ・ 年齢別混合病棟廃止し診療科病棟への再編（R6） 等

2-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

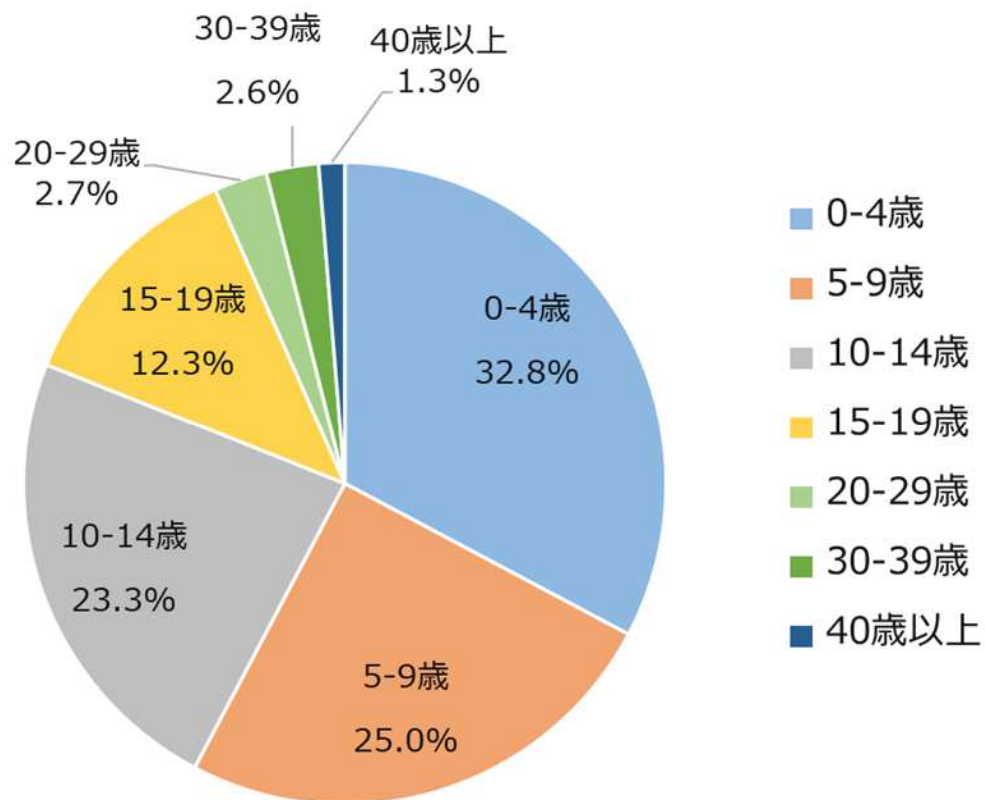
⑤ 医療安全体制

- ・ 42の提言アクションプランに基づく取組を引き続き推進する
（全身管理を不得手とする医師へのサポートチーム構築、年齢別混合病棟廃止等）
- ・ 患者に対する重篤有害事象を減少させることを目的として、RRS（院内迅速対応システム）が、夜間休日を問わず24時間体制で機能

2-2 ② 提供する医療内容

【年齢別外来延患者割合（全体）】

令和6年度 年齢別外来延患者割合



※ こども医療センターの診療対象は、**15歳中学生まで**

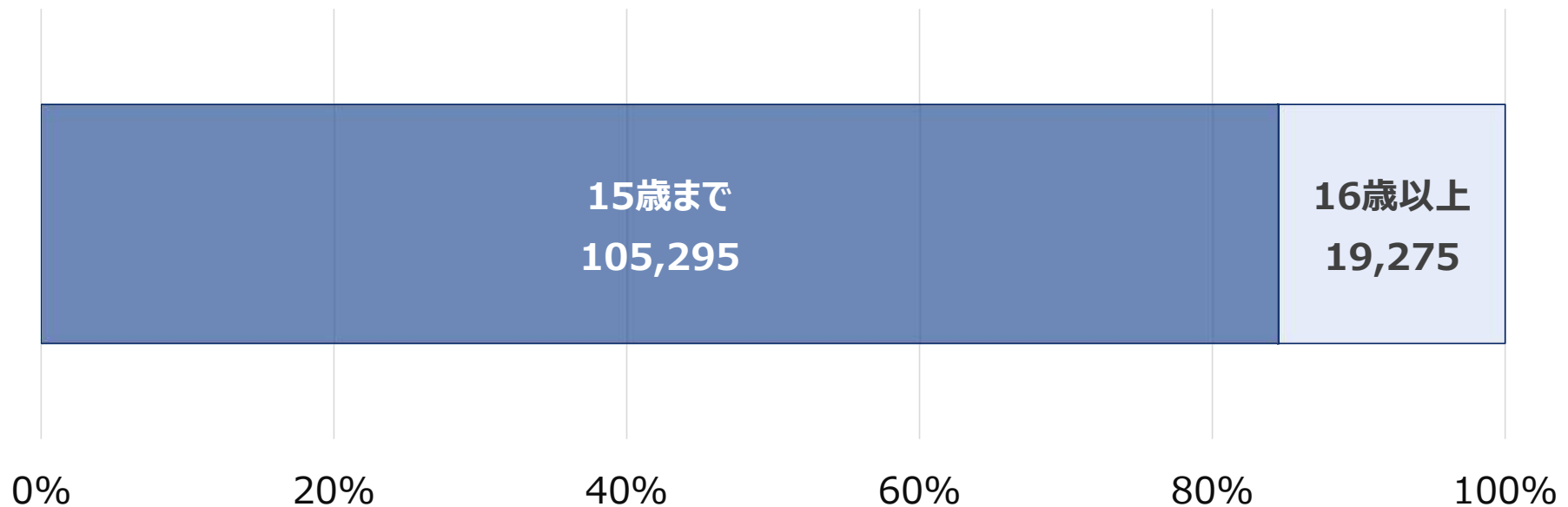
年齢	患者数（人）
0-4歳	40,829
5-9歳	31,101
10-14歳	29,036
15-19歳	15,373
20-29歳	3,320
30-39歳	3,284
40-49歳	1,253
50-59歳	321
60-69歳	36
70-79歳	17
合計	124,570

2-2 ② 提供する医療内容

【年齢別外来延患者割合（診療対象者）】

令和6年度 年齢別外来延患者割合

単位：（人）



※ こども医療センターの診療対象は、15歳中学生まで

2-2 ② 提供する医療内容

成人移行に向けた支援

区分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R6
みらい支援外来延べ患者数	7	16	14	48	43	34
マイみらいパスポート配布件数				15	2	5
地域連携・家族支援局 (保健福祉相談窓口)			42	241	280	211

出典：業務実績報告書、年報

2-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

⑥ 成人移行期支援の取組状況

- ・「みらい支援外来」での成人移行に向けた自立支援や、地域連携・家族支援局による成人医療機関を探すサポートを実施しているが、対象年齢を超えて受診している患者が一定数存在する
- ・対象年齢を超えて診療している外来患者は全体の15%程度（19,275人）

2-2 ② 提供する医療内容

【こども病院における災害拠点病院、DMAT設置状況】

全国で4病院が災害拠点病院に指定されており、DMATが整備されている

病院名	災害拠点病院	DMAT 設置病院
神奈川県立こども医療センター		
埼玉県立小児医療センター	○	○
東京都立小児総合医療センター	○	○
四国こどもとおとなの医療センター	○	○
沖縄県立南部医療センターこども医療センター	○	○

2-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

⑦ 災害時対応

- ・ こども医療センターは災害拠点病院に指定されておらず、災害時に拠点病院となれるような体制は構築されていない
- ・ 近隣の東京都立小児総合医療センターや埼玉県立小児医療センターは、災害拠点病院の指定を受けており、DMATが整備されている

【障害児入所施設、レスパイトケア】

こども医療センターの障害児入所施設の状況

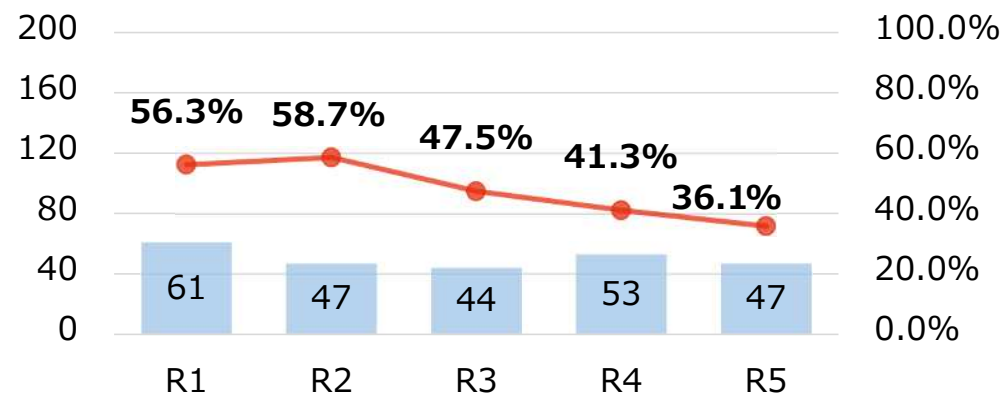
区分		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
肢体・不自由児施設	病床数（床） ※R5～20床運用	50	50	50	50	50
	新入所者数（人）	61	47	44	53	47
	病床稼働率	56.3%	58.7%	47.5%	41.3%	36.1%
重症心身障害児施設	病床数（床）	40	40	40	40	40
	新入所者数（人）	151	45	69	83	158
	病床稼働率	94.7%	88.9%	88.9%	88.8%	90.1%

レスパイトケア実施件数（人）

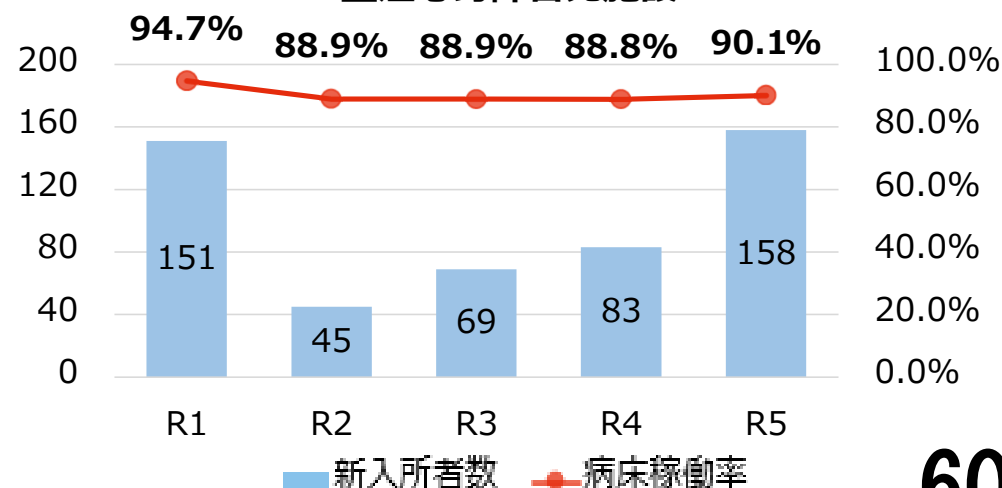
区分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R6
延べ数	53	40	69	83	148	163

Kanagawa Prefectural Government

肢体・不自由児施設

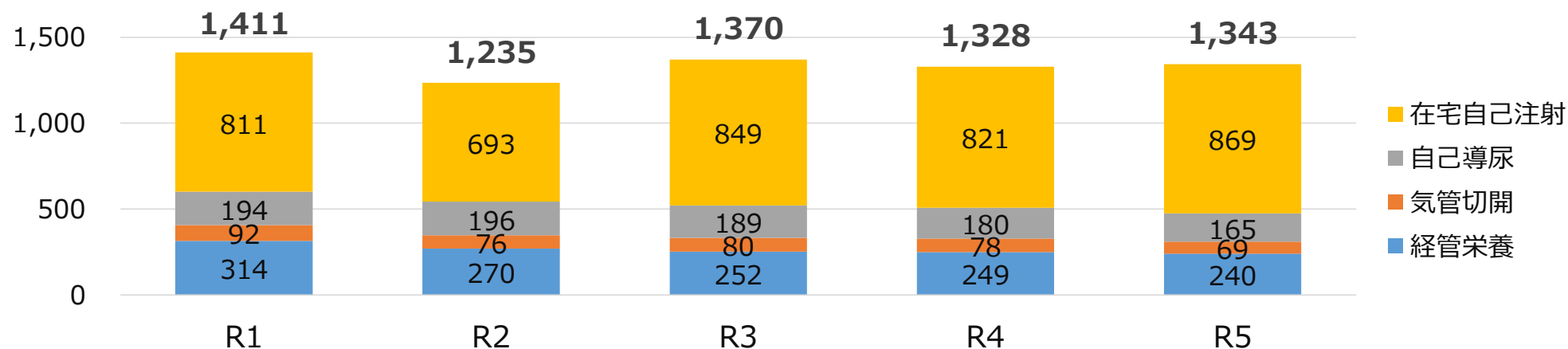


重症心身障害児施設



2-2 ③ その他 【医療的ケア患者数等】

こども医療センターにおける在宅で医療的ケアを継続して実施している患者数（人）



全国 在宅の医療的ケア児の推計値（0～19歳）（人）



出典：神奈川県立こども医療センター年報
出典：（厚労省）中医協 総-2 R5.8.2

2-2 ③ その他

その他のポイント

① 医療型障害児入所施設の利用状況

- ・特に肢体不自由児施設の利用状況が低く、減少傾向
- ・重症心身障害児入所施設の病床稼働率は、9割程度で推移している

② 医療的ケア児への対応

- ・重症心身障害児入所施設については、医療技術の進歩により医療的ケア児が増加傾向にある中、レスパイトケアの受入数はR1比で3倍に増加している

③ 施設の老朽化

- ・最も古い施設は約築50年となっており、施設の老朽化が課題となっている

※ 医療型障害児入所施設に係る検討については、福祉部局・市町村等との調整が必要

2-3 お諮りしたいこと

1 高度専門病院としての機能

1

こども医療センターは、高度専門病院としての機能に適合しているか

(視点)

- ・ 対応している疾患や提供している医療内容
- ・ 患者の地域性

2 県立病院として提供すべき医療

2

県立病院として引き続き担うべき医療は何か

(視点)

- ・ 他の医療機関で担うことが難しい機能
- ・ 役割を踏まえた病床規模等
- ・ 今後、より強化が必要な機能

3 精神医療センターについて

3-1 精神医療センターの概要

3-2 精神医療センターの現状と課題

- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

3-3 お諮りしたいこと

3-1 精神医療センターの概要

【沿革】

県立精神医療センターは、精神病院法に基づくわが国 3 番目の府県立精神病院として昭和 4 年 3 月から診療を開始した「芹香院」と、昭和38年 4 月、全国に先駆け、麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後、神経症、アルコール依存症、薬物中毒者の患者を対象に治療を行ってきた「せりがや園」を統合して、平成 2 年 4 月に「県立精神医療センター」として改組した。（名称も芹香病院、せりがや病院に改称。）

平成26年12月には、両院を統合し、323床（許可病床）を有する新しい「県立精神医療センター」として開院した。

昭和 3 年度	わが国 3 番目の府県立精神病院として「芹香院」が診療開始
昭和38年度	公立の依存症専門病院として「せりがや園」が診療開始
平成 2 年度	芹香院とせりがや園を「県立精神医療センター」に組織改正
	芹香院を「芹香病院」に、せりがや園を「せりがや病院」に改称
平成 8 年度	芹香病院で精神科救急医療開始
平成24年度	医療観察法病棟の開棟
平成26年度	芹香病院、せりがや病院を統合し、新たな精神医療センター本館が開設
令和元年度	神奈川県依存症治療拠点機関に選定
令和 2 年度	神奈川県災害拠点精神科病院に指定
	神奈川県精神科コロナ重点医療機関に認定
令和 7 年度	連携サポートセンターを患者サポートセンター（地域連携科、患者相談室、福祉医療相談科（入退院支援部門））に再編

3-1 精神医療センターの概要

【主な機能等】

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期目標	3 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 (4) 各病院の主な機能と今後の方向性 ウ 精神医療センター 一般の精神科では対応困難な専門性の高い精神科医療を地域の医療機関や関係機関と連携し、提供すること。 精神科救急の基幹病院として、精神科救急・急性期医療を担うこと。 精神科病院の災害拠点としての役割を担うこと。 身体合併症への対応の充実を図ること。 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム※16に係る取組を推進すること。 児童思春期の精神疾患に係る対応を行うこと。 隔離・身体的拘束の最小化など、患者の安全と人権に配慮した取組を推進すること。
------	--

3-1 精神医療センターの概要

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期計画	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 4 各病院の主な機能と今後の取組 (3) 精神医療センター 精神科中核病院、精神科救急医療システムの基幹病院、災害拠点精神科病院及び依存症治療拠点機関として、一般の精神科病院等における対応困難な重症患者の受入れ等の役割を果たすため、次の取組を行う。 ア 主な機能 思春期医療、依存症医療、ストレスケア医療、医療観察法医療等の高度・専門医療の提供 精神科救急・急性期医療の提供 国等の要請に基づくDPATの速やかな派遣への協力 イ 精神科特有の取組 入院患者当事者目線による、人権に配慮した治療（隔離・身体的拘束の最小化等） 身体合併症に対応できる診療体制の検討及び構築 医療需要の変化や地域移行の進展等に対応した病棟機能や適切な病床数、大部屋の個室化等の検討 ウ 地域連携の取組 依存症治療の情報発信や医療機関への研修等を通じた県の依存症対策への寄与 患者の地域移行や早期の社会復帰の推進による地域包括ケアシステムの維持
------	---

3-1 精神医療センターの概要

【病院の概要】

開設年月	昭和4年3月「芹香院」、昭和38年4月「せりがや園」
所在地	〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1 (電車) 京浜急行、市営地下鉄「上大岡駅」よりバスにて15分、「芹が谷」下車、徒歩8分 (車) 横浜横須賀道路、「別所」インター下車、出口を右折、芹が谷の交差点を右折後、約700m
診療科目	精神科、放射線科、歯科
許可病床数	323床
その他	神奈川県災害拠点精神科病院、依存症専門医療機関・依存症治療拠点機関 神奈川県精神科救急医療基幹病院、医療観察法指定入院医療機関

3-1 精神医療センターの概要

【配置図】



3-1 精神医療センターの概要

【施設の概要】

	本館	療法棟	営繕棟	医療観察法病棟
敷地面積	69,757.63m ²			
延床面積	18,462.53m ²	543.86m ²	59.81m ²	2,998.75m ²
構造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	軽量プレハブ造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階建	1階建	1階建	地上2階建
病床数	290床	—	—	33床
建設年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成24年度
機能	救急病棟、地域移行支援病棟、高度ケア病棟、身体ケア病棟、ストレスケア病棟、思春期病棟、依存症病棟、管理部門	体育館	営繕	医療観察法病棟

3-1 精神医療センターの概要

【職員数（常勤）】（令和7年3月31日時点）

（単位：人）

医師	看護師	准看護師	薬剤師	事務職員
21	237	2	5	18
管理栄養士	作業療法士	診療放射線技師	調理職	福祉職
3	11	1	2	25

3-1 精神医療センターの概要

【医師数（常勤）の推移（精神医療センター）】 （各年度3月31日時点）

（単位：人）

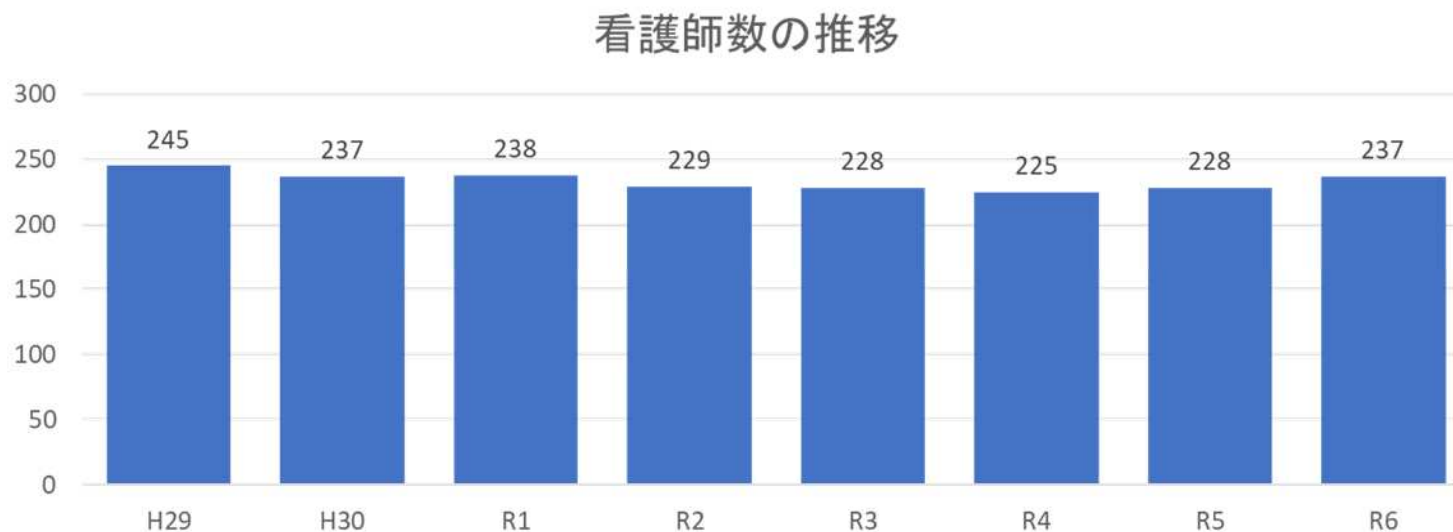
診療科名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
院長・副院長	1	1	2	2	3	3	3	3
医療局	1	1	1	1		1	1	
医療局外来診療部	1	1	1		1	1	1	1
医療局救急診療部	7	5	4	4	4	3	5	3
医療局一般診療部	5	6	5	4	4	5	3	3
医療局専門医療部	9	8	11	9	9	9	8	9
医療局コ・メディカル部						1	1	1
医療局地域連携部				1				
連携サポートセンター					1	1	1	1
合計	24	22	24	21	22	24	23	21

3-1 精神医療センターの概要

【看護師数（常勤）の推移（精神医療センター）】（各年度3月31日時点）

（単位：人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
245	237	238	229	228	225	228	237

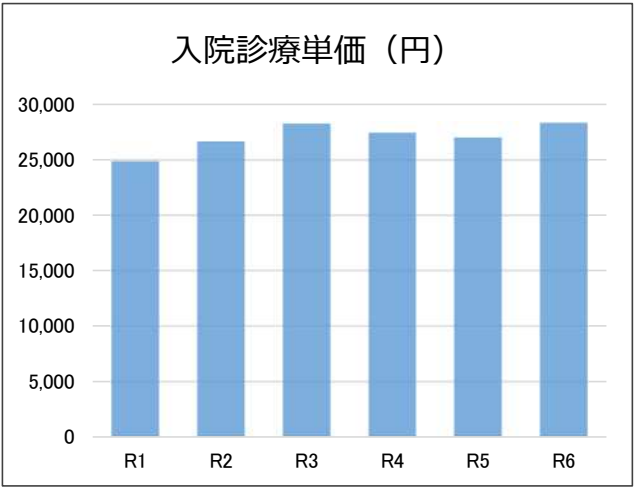
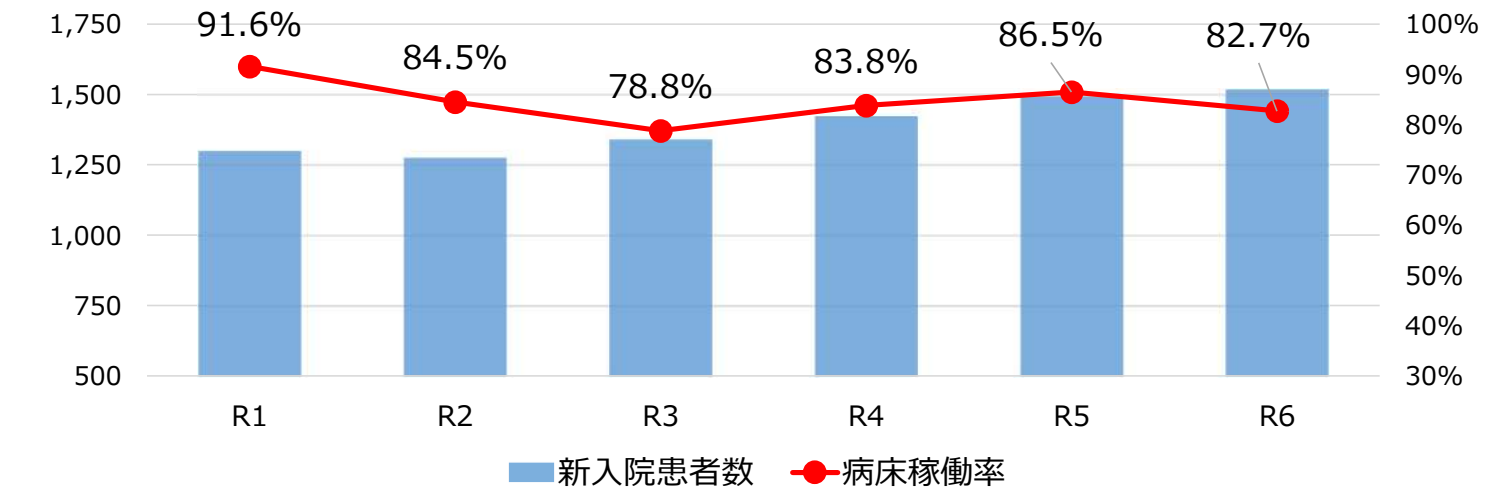


3-2 精神医療センターの現状と課題

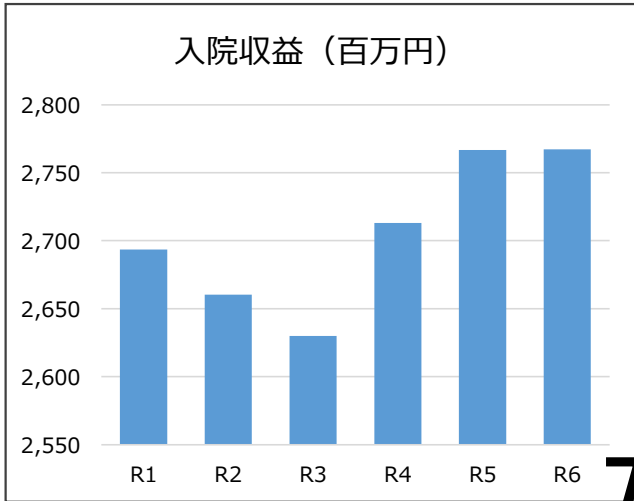
- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

3-2 ① 患者動向・経営状況

【入院患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新入院患者数	1,299	1,277	1,342	1,423	1,494	1,519
入院延患者数	108,269	99,663	92,933	98,797	102,404	97,481
病床稼働率	91.6%	84.5%	78.8%	83.8%	86.5%	82.7%
平均在院日数	82.5	77.5	69.1	70.1	68.3	64.2
入院診療単価（円）	24,879	26,694	28,299	27,462	27,018	28,386
入院収益（千円）	2,693,587	2,660,427	2,629,909	2,713,148	2,766,709	2,767,125



3-2 ① 患者動向・経営状況

【病床稼働率（病棟別）】

病棟名	病床数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1との差
2 A (身体ケア)	35床	97.7%	85.3%	73.1%	75.1%	87.3%	87.3%	▲10.4ポイ
2 B (依存症)	45床	86.4%	69.4%	66.6%	75.6%	81.4%	69.7%	▲16.8ポイ
3 A (地域移行支援)	40床	96.6%	82.3%	71.8%	79.4%	83.4%	78.7%	▲18.0ポイ
3 B (ストレスケア)	30床	94.1%	85.5%	82.8%	85.8%	88.6%	82.7%	▲11.4ポイ
4 A (高度ケア)	40床	98.3%	88.7%	83.1%	89.9%	87.9%	84.4%	▲13.9ポイ
4 B (思春期)	30床	77.2%	85.3%	71.3%	71.9%	80.2%	73.7%	▲3.5ポイ
5 A (救急)	30床	89.9%	88.4%	88.7%	88.9%	90.1%	89.1%	▲0.9ポイ
5 B (救急)	40床	95.3%	86.3%	82.0%	93.6%	90.9%	87.3%	▲8.1ポイ
F (医療観察法)	33床	85.6%	94.8%	95.4%	94.5%	89.9%	95.1%	9.5ポイ
合計	323床	91.6%	84.5%	78.8%	83.8%	86.5%	82.7%	▲8.9ポイ

3-2 ① 患者動向・経営状況

【入院延患者数】

単位：（人）

診療機能	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
精神科一般	66,738	59,444	52,272	56,967	58,832	59,247	88.8%
ストレスケア	6,841	6,398	6,772	6,627	7,188	6,414	93.8%
思春期	7,817	9,516	9,104	8,722	9,224	8,250	105.5%
依存症	16,823	13,151	13,064	15,221	16,431	13,109	77.9%
医療観察	10,050	11,154	11,721	11,260	10,729	10,461	104.1%
合計	108,269	99,663	92,933	98,797	102,404	97,481	90.0%

（合計の推移）



3-2 ① 患者動向・経営状況

【平均在院日数】

単位：（日）

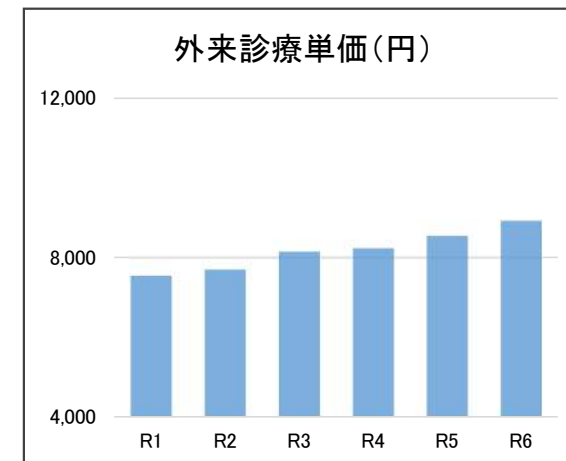
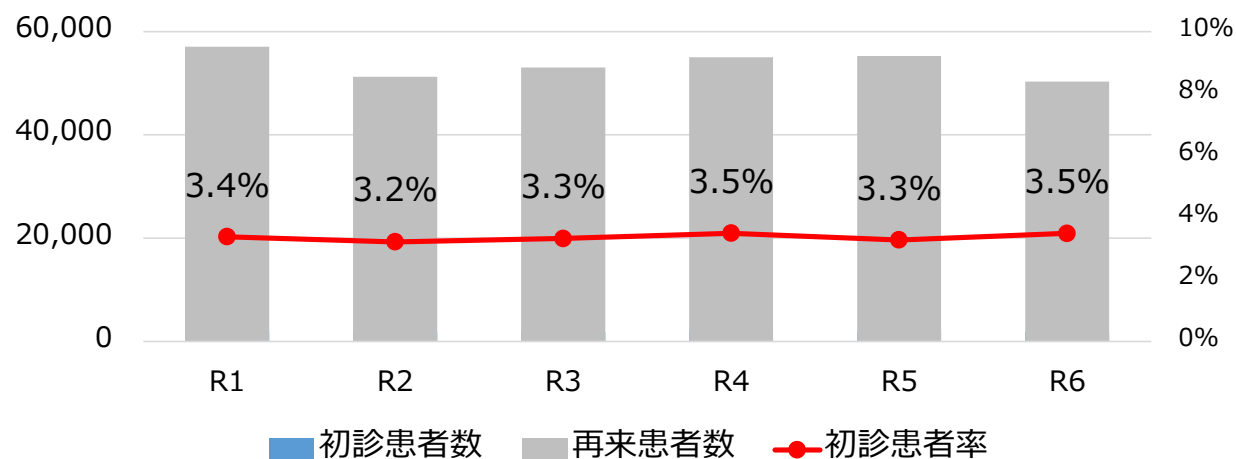
平均在院日数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1との差
精神科一般	94.0	84.2	69.1	70.9	69.4	67.4	▲26.6日
ストレスケア	62.2	47.4	49.3	50.4	47.1	43.0	▲19.1日
思春期	63.3	64.5	82.4	68.9	78.5	67.3	4.1日
依存症	46.8	46.5	40.5	45.9	45.0	36.3	▲10.5日
医療観察	1,057.9	769.2	689.5	703.8	692.2	1,307.6	249.7日
合計	82.5	77.5	69.1	70.1	68.3	64.2	▲18.3日

（合計の推移）

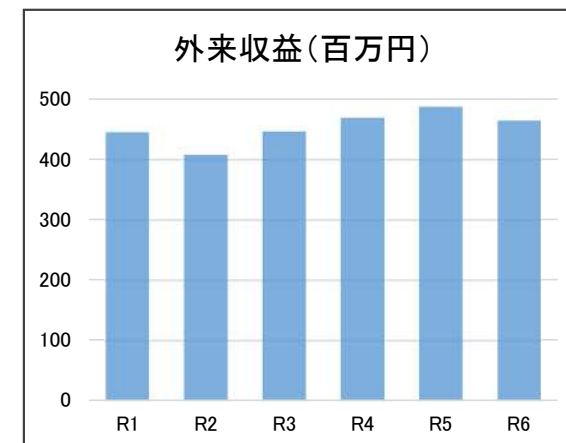


3-2 ① 患者動向・経営状況

【外来患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
初診患者数	1,992	1,702	1,820	1,988	1,869	1,815
再来患者数	57,054	51,248	53,042	55,011	55,243	50,295
外来延患者数	59,046	52,951	54,862	56,999	57,112	52,110
外来診療単価(円)	7,541	7,699	8,144	8,235	8,538	8,922
外来収益(千円)	445,270	407,657	446,777	469,364	487,621	464,912
初診患者率	3.4%	3.2%	3.3%	3.5%	3.3%	3.5%



3-2 ① 患者動向・経営状況

【外来延患者数】

単位：（人）

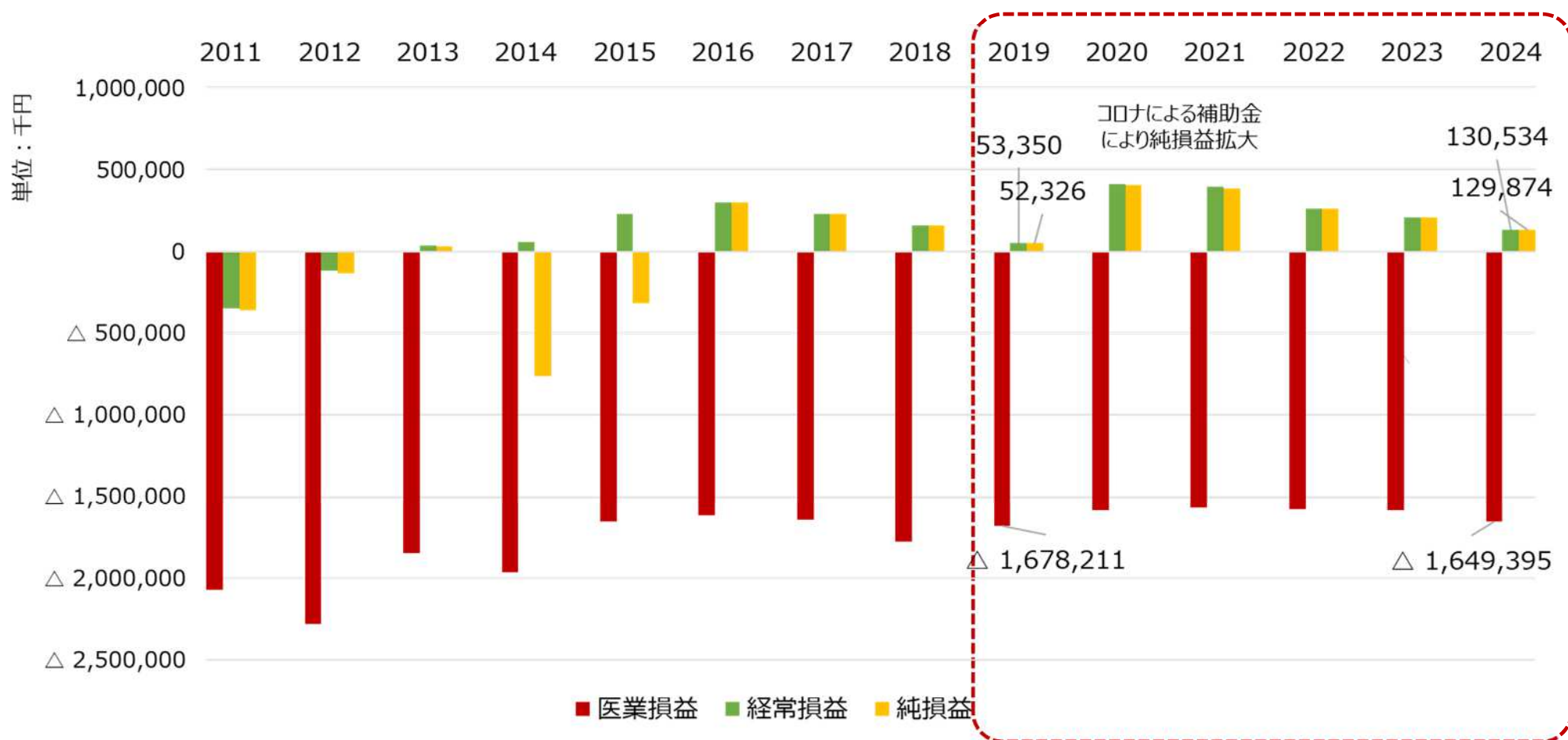
延外来患者数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
内科	73	63	66	81	68	72	98.6%
精神科一般	36,748	33,811	35,615	37,403	37,500	35,669	97.1%
歯科	314	348	411	377	372	353	112.4%
ストレスケア	3,027	2,442	1,837	1,872	1,653	1,484	49.0%
思春期	4,804	5,034	5,749	5,826	6,364	5,372	111.8%
依存症	13,264	10,872	10,629	10,914	10,444	8,488	64.0%
医療観察	445	85	278	271	430	429	96.4%
もの忘れ外来	371	296	277	255	281	243	65.5%
合計	59,046	52,951	54,862	56,999	57,112	52,110	88.3%

（合計の推移）



3-2 ① 患者動向・経営状況

【医業損益・経常損益・純損益の推移】



3-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向・経営状況のポイント

① 入院

- ・新規入院患者数はコロナ前のR1年度比較で2割程度増えているが、平均在院日数の短縮等により、入院延患者数は伸びていない
- ・入院延患者数では、R1年度比較で依存症が77.9%に減少
- ・病床稼働率は、R1年度の91.6%から82.7%に減少
- ・平均在院日数については、統合失調症等を扱う「精神科一般」と、「うつ病」等を扱う「ストレスケア」において、大幅に短縮されている。
- ・入院診療単価は、R1年度比較で1割程度増加

② 外来

- ・外来延患者数はR2年度に大きく減少し、その後回復していたが、R6はR2年度レベルに再度減少した
- ・外来延患者数では、R1年度比較で、ストレスケアが49%、依存症が64%に減少
- ・外来診療単価はR1年度比較で1,400円程度増加（7,541円→8,922円）

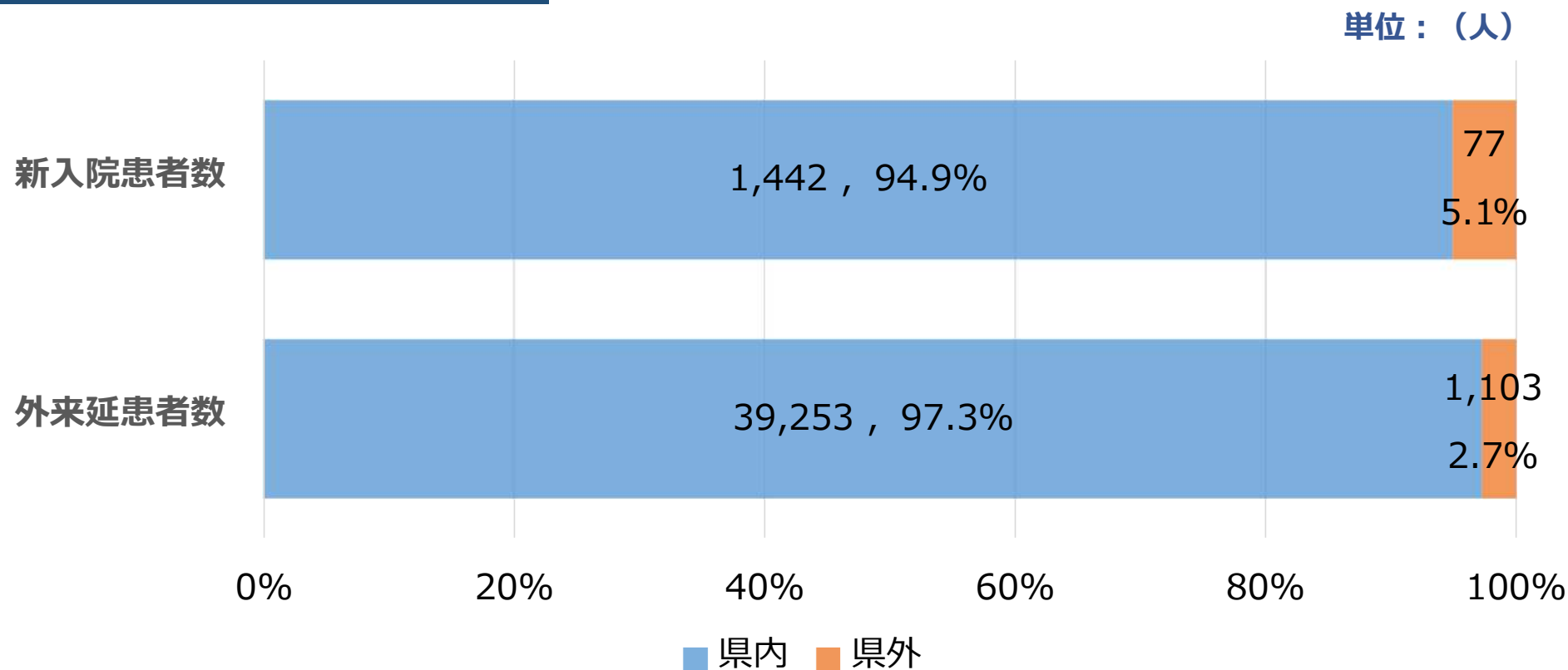
③ 経営状況

- ・H25年度以降、経常損益は12年連続で黒字で推移

3-2 ① 患者動向・経営状況

【令和6年度 患者動向（患者住所別）】

県内外の患者住所シェア

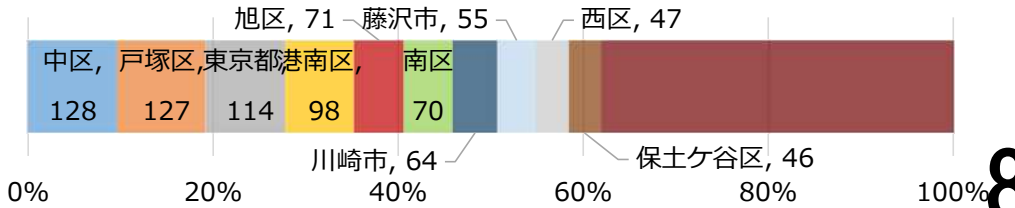
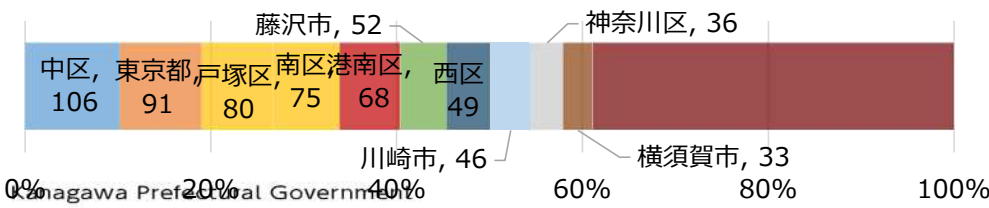


3-2 ① 患者動向・経営状況

【紹介元・紹介先医療機関の動向（全体）】

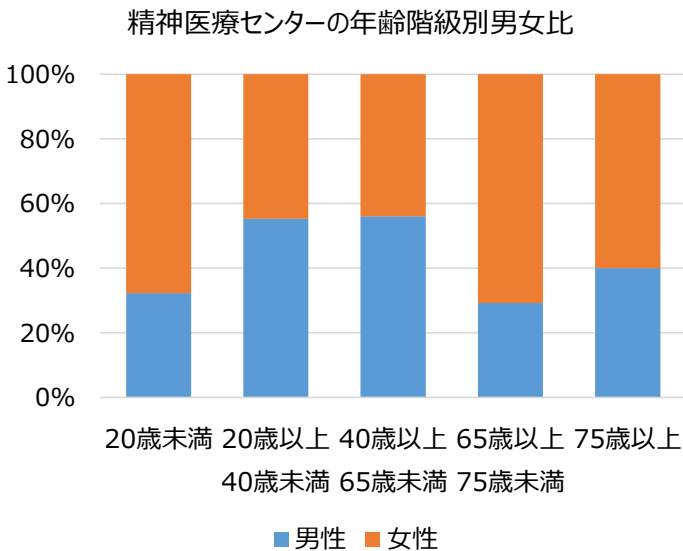
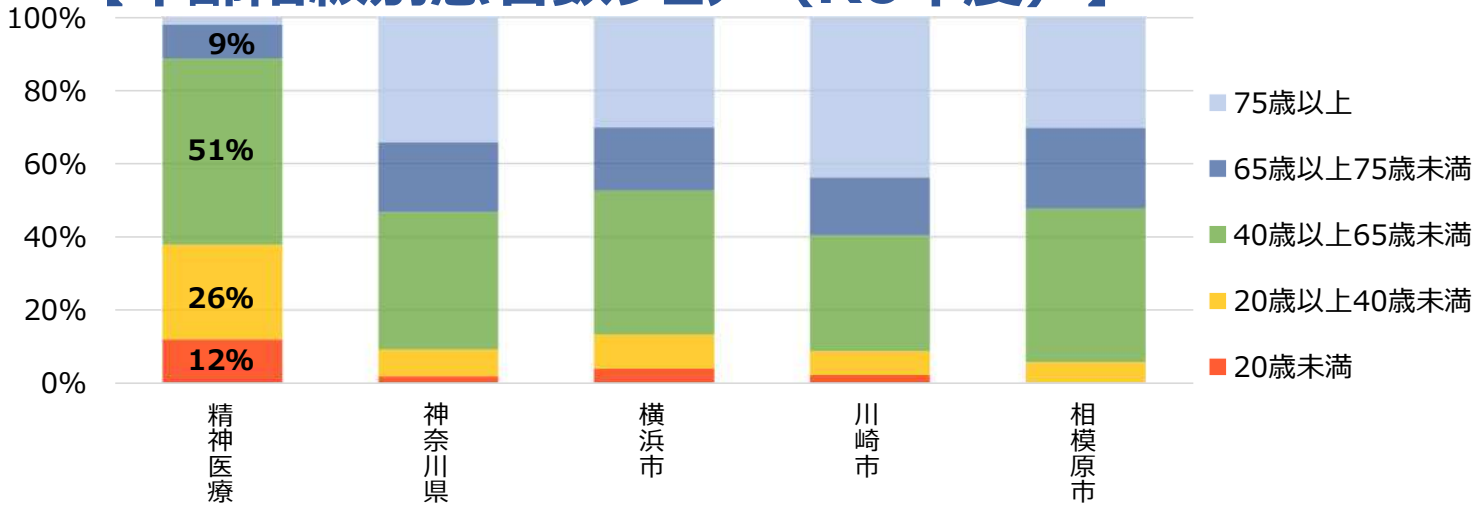
紹介元	令和 6 年度			
降順	医療機関名	地域	件数	割合
全体	—		1,041	—
1	神奈川県立こども医療センター	南区	19	1.8%
2	横浜市立大学附属市民総合医療センター	南区	16	1.5%
3	こころとからだ横浜クリニック	中区	14	1.3%
4	あまがいメンタルクリニック	港南区	13	1.2%
5	横浜市立大学附属病院	金沢区	12	1.2%
5	横浜メンタルクリニック戸塚	戸塚区	12	1.2%
5	ゆうメンタルクリニック横浜院	西区	12	1.2%
8	こころのクリニック横浜駅	西区	11	1.1%
8	横浜市立みなと赤十字病院	中区	11	1.1%
10	上大岡メンタルクリニック	港南区	10	1.0%

紹介先	令和 6 年度			
降順	医療機関名	地域	件数	割合
全体	—		1,325	—
1	子どもと家族の心外クリニック	東京都	35	2.6%
2	横浜市立大学附属市民総合医療センター	南区	30	2.3%
3	横浜市立みなと赤十字病院	中区	27	2.0%
4	あまがいメンタルクリニック	港南区	25	1.9%
5	大石クリニック	中区	20	1.5%
6	国立病院機構横浜医療センター	戸塚区	18	1.4%
7	北里大学病院	相模原市	16	1.2%
8	医療法人 誠心会 神奈川病院	旭区	12	0.9%
8	横浜メンタルクリニック戸塚	戸塚区	12	0.9%
8	こころのクリニック横浜駅	西区	12	0.9%



3-2 ① 患者動向・経営状況

【年齢階級別患者数シェア（R6年度）】



対象：令和6年6月30日午前0時時点の在院患者数（年齢階級別）

(人)

	20歳未満			20歳以上40歳未満			40歳以上65歳未満			65歳以上75歳未満			75歳以上			合計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
精神医療センター	10	21	31	37	30	67	74	58	132	7	17	24	2	3	5	259
神奈川県	75	135	210	392	410	802	2162	1949	4111	1018	1065	2083	1361	2376	3737	10943
横浜市	53	100	153	185	189	374	779	765	1544	337	347	684	424	755	1179	3934
川崎市	11	22	33	46	50	96	242	222	464	101	132	233	214	429	643	1469
相模原市	1	0	1	27	18	45	186	148	334	97	78	175	82	158	240	795

Kanagawa Prefectural Government

3-2 ① 患者動向・経営状況

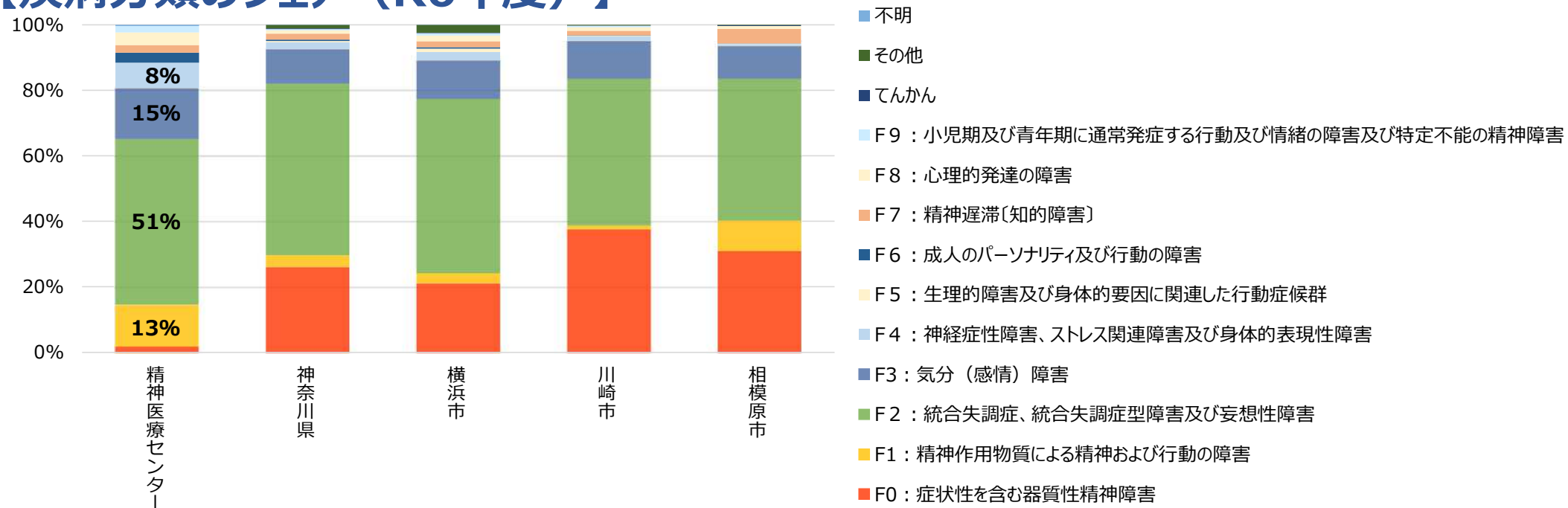
患者動向・経営状況のポイント

③ 住所地

- ・ 外来患者、新入院患者ともに9割以上は県内在住者であるが、東京都など、近隣地域以外からも患者を受け入れている
- ・ 年齢階級別では、65歳未満の患者の割合が多い

3-2 ② 提供する医療内容

【疾病分類のシェア（R6年度）】



対象：令和6年6月30日午前0時時点の在院患者数（疾患分類別） (人)

	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	てんかん	その他	不明	合計
精神医療センター	5	33	131	40	20	0	8	6	10	5	0	0	1	259
神奈川県	2864	400	5721	1149	224	46	47	198	113	40	21	118	2	10943
横浜市	835	120	2091	461	101	38	18	71	69	30	6	92	2	3934
川崎市	554	17	657	169	19	4	2	20	16	7	1	3	0	1469
相模原市	247	74	343	80	4	1	1	35	7	0	2	1	0	795

3-2 ② 提供する医療内容

【疾病分類 コード病名一覧】

F0	症状性を含む器質性精神障害
F00	アルツハイマー病型認知症
F01	血管性認知症
F02-09	上記以外の症状性を含む器質性精神障害
F1	精神作用物質による精神及び行動の障害
F10	アルコール使用による精神及び行動の障害
覚せい剤	覚せい剤による精神及び行動の障害
アルコール、 覚せい剤以外	アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害
F2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害

F3	気分（感情）障害
F30-31	躁病エピソード・双極性感情障害（躁うつ病）
F32-39	その他の気分障害
F4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体的表現性障害
F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
F6	成人のパーソナリティ及び行動の障害
F7	精神遅滞（知的障害）
F8	心理的発達の障害
F9	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害

3-2 ② 提供する医療内容

【主な治療件数】

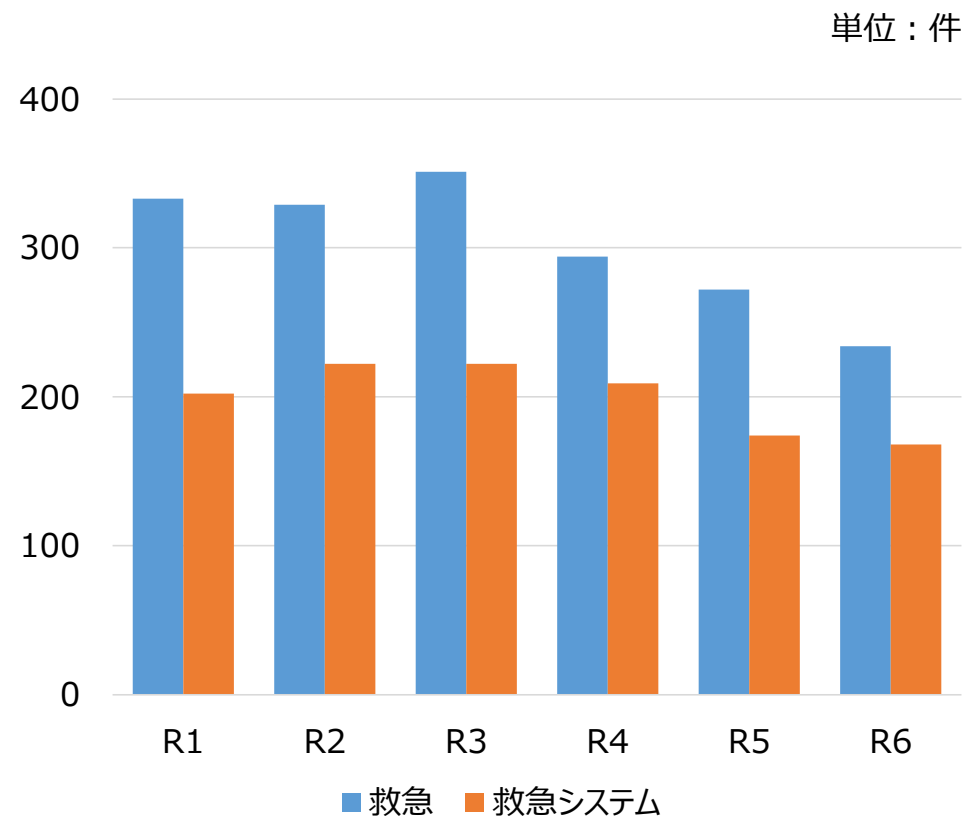
単位：（人）

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
クロザピンによる治療患者数（累計）	99	114	132	156	183	217	219.2%
r-TMSによる治療患者数（人）	12	11	16	18	12	13	108.3%

3-2 ② 提供する医療内容

救急件数（内数：救急システム受入件数）の推移

年度	救急件数	(内数) 救急システム受入件数
R1	333	202
R2	329	222
R3	351	222
R4	294	209
R5	272	174
R6	234	168



3-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

① 疾病分類のシェア

- ・他の病院と比較して、認知症患者の割合は少なく、薬物依存や不安障害等の患者の割合が多い

② 高度専門医療の提供

- ・クロザピンによる治療患者数がR1年度比較で219%と大きく増加

③ 精神科救急

- ・精神科救急基幹病院として精神科救急システムを支えている

3-2 ③ その他

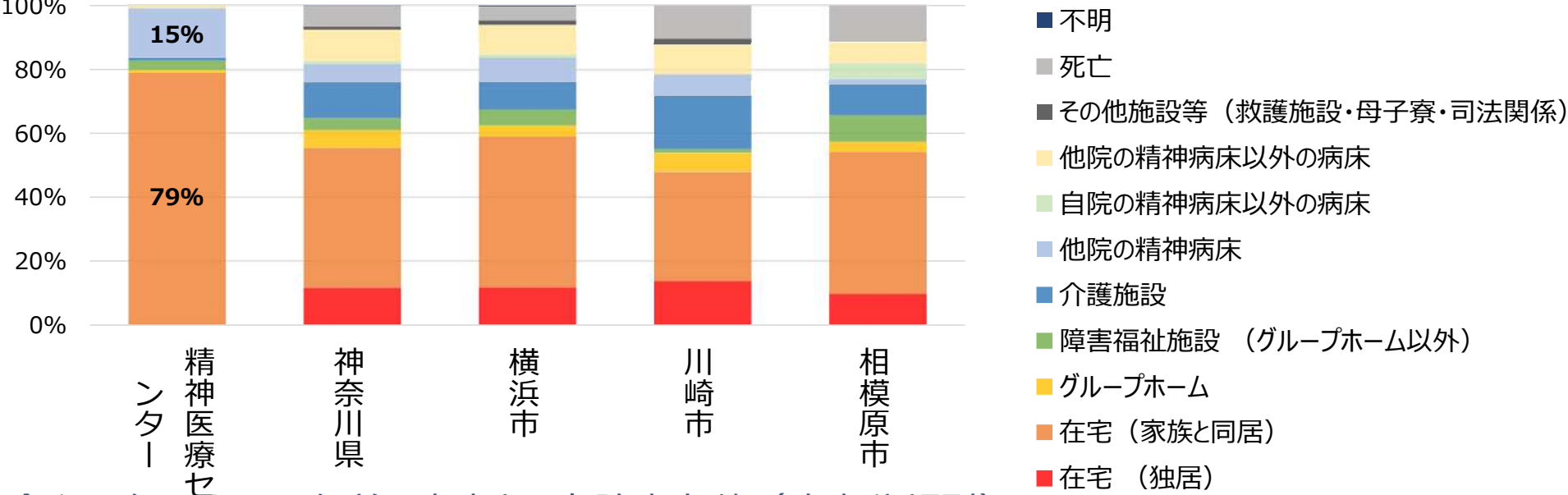
【DPAT派遣状況】

県内で唯一、**災害拠点精神科病院**の指定を受けており、災害時にDPATの派遣実績あり

災害名	新型コロナウイルス感染症	能登半島地震	
時期	R2	R5 1/10～1/14	R5 1/24～1/30
派遣規模	2医療機関に延べ21回延べ36人	DPAT先遣隊(隊員4名)2隊	
場所	県内医療機関	能登医療圏DPAT活動拠点本部	石川南加賀医療圏DPAT支援指揮所
業務内容	新型コロナウイルス感染症患者治療支援(身体合併症対応)	問合せ対応、調整業務	指揮所業務、避難所訪問診察

3-2 ③ その他

【退院後の転帰のシェア（R6年度）】



対象：令和6年6月30日午前0時時点の在院患者数（疾患分類別） (人)

	在宅（独居）	在宅（家族と同居）	グループホーム	障害福祉施設（グループホーム以外）	介護施設	他院の精神病床	自院の精神病床以外の病床	他院の精神病床以外の病床	その他施設等（救護施設・母子寮・司法関係）	死亡	不明	合計
精神医療センター	0	83	1	3	1	16		1	0	0		105
神奈川県	172	644	82	56	166	84	13	144	14	96	2	1473
横浜市	77	309	22	32	57	50	6	60	9	29	2	653
川崎市	33	81	14	3	40	16	0	22	4	25	0	238
相模原市	6	27	2	5	6	1	3	4	0	7	0	61

3-2 ③ その他

【訪問看護の件数】

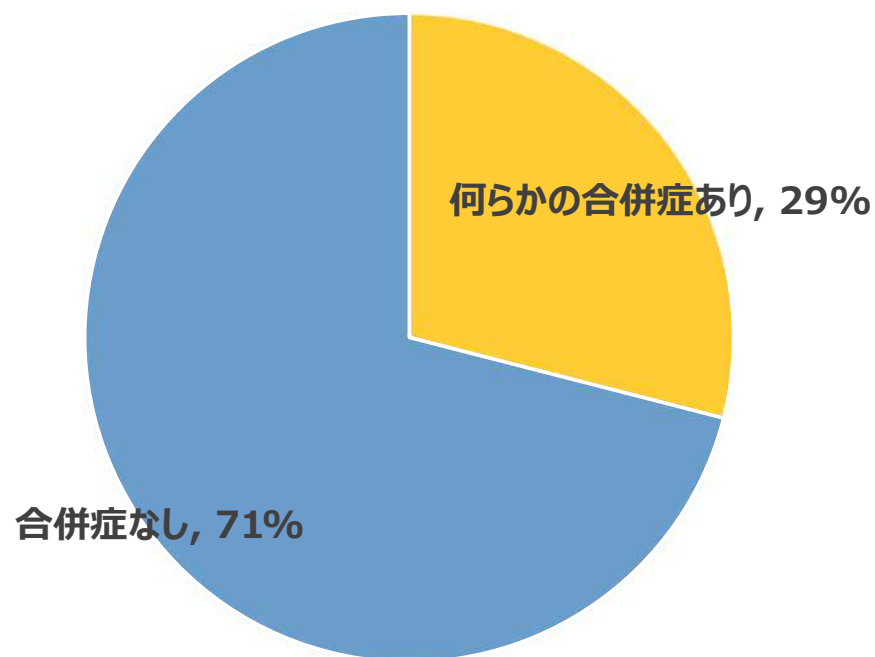
単位：（件）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
訪問看護件数	2,683	2,664	3,001	3,734	3,913	3,469

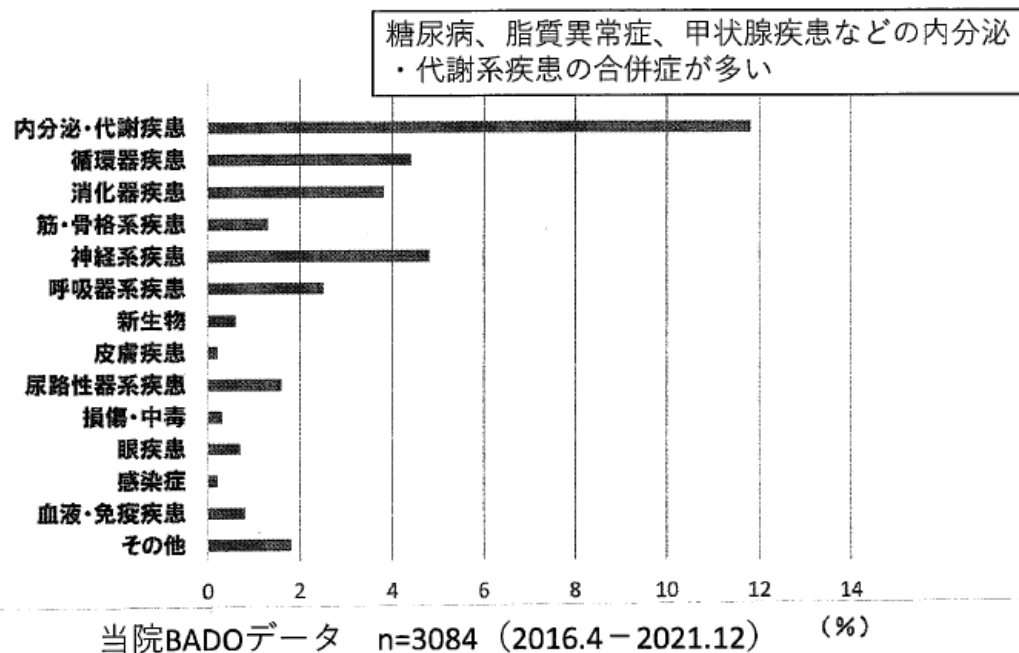
3-2 ③ その他

【当院救急病棟の入院患者における合併症について (2016.4-2021.12)】

身体合併症の割合



身体合併症の種類



出典：精神医療センター提供資料

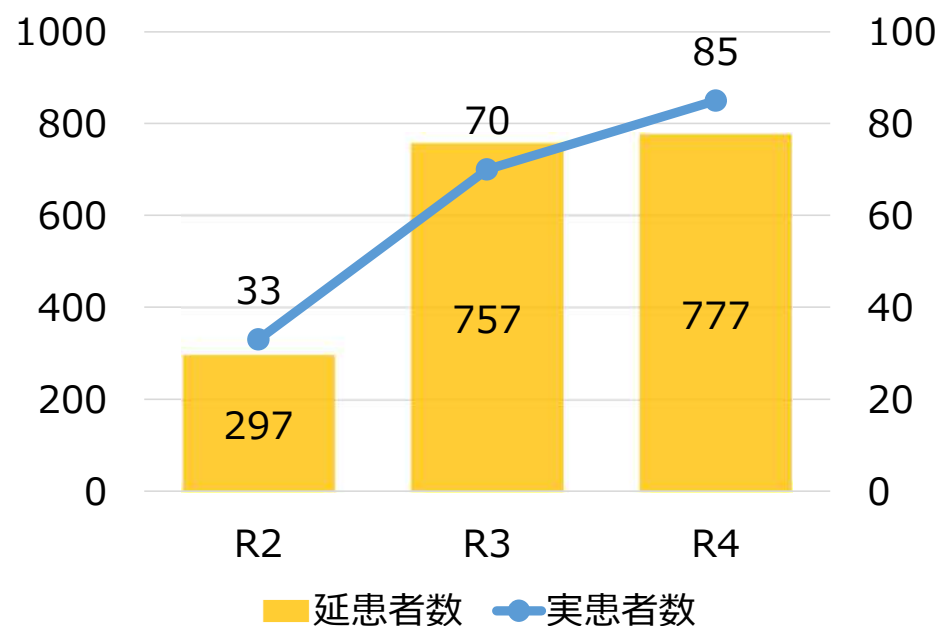
3-2 ③ その他

【新型コロナウイルス感染症患者の受入れ】

神奈川県、湘南鎌倉総合病院と連携し、精神科領域の強みを生かした精神科コロナ重点医療機関として、精神疾患の症状が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した患者を入院で受け入れ、適切な医療を提供した。

新型コロナウイルス感染症 受入れ患者数（入院）

区分	R2	R3	R4
実患者数	33	70	85
延患者数	297	757	777



出典：業務実績報告書

3-2 ③ その他

その他のポイント

① 災害時対応

- ・県内で唯一、災害拠点精神科病院として指定を受けている
- ・コロナ禍において精神疾患を有する新型コロナウイルス感染症患者を受入れた医療機関や、能登半島沖地震の被災地に対し、D P A Tを派遣した

② 地域移行の状況

- ・他の病院と比較して、退院後の在宅率が高く、地域移行を積極的に推進している
- ・訪問看護件数が増加傾向にある

③ 身体合併症の受入れ

- ・精神科コロナの受け入れを行ったが、中等症患者は十分には受け入れられなかった
- ・身体症状を有する死亡事案も発生しており、院内調査の報告書では、内科的症状への対応が十分ではないことが指摘されている

3-3 お諮りしたいこと

1 高度専門病院としての機能

1 精神医療センターは、高度専門病院としての機能に適合しているか

(視点)

- ・ 対応している疾患や提供している医療内容
- ・ 患者の地域性

2 県立病院として提供すべき医療

2 県立病院として引き続き担うべき医療は何か

(視点)

- ・ 他の医療機関で担うことが難しい機能
- ・ 役割を踏まえた病床規模等
- ・ 今後、より強化が必要な機能

4 がんセンターについて

4-1 がんセンターの概要

4-2 がんセンターの現状と課題

- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

4-3 お諮りしたいこと

4-1 がんセンターの概要

【沿革】

県立がんセンターは、昭和38年度に「成人病センター」として診療を開始し、昭和61年度には、神奈川県におけるがん診療の中核的医療機関として悪性腫瘍患者の診断と進行がんの治療を行うための専門病院として位置づけられ、名称を「がんセンター」に改めるとともに、臨床研究所を付置し、がんの発生原因に関する基礎研究や診断及び治療方法の開発にも取り組んでいる。

その後、平成18年度には厚生労働大臣から都道府県がん診療連携拠点病院として指定を受け、神奈川県におけるがん診療の連携体制、がん患者に対する相談支援・情報提供の拠点としての役割を担っており、令和元年度には厚生労働大臣からがんゲノム医療拠点病院として指定を受け、がんゲノム医療においても拠点としての役割を担っている。

昭和38年度	「県立成人病センター」として診療（内科、外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科）を開始
昭和61年度	神奈川県のがん診療の中核的医療機関として「県立がんセンター」に名称変更。臨床研究所を付置
平成18年度	厚生労働大臣から都道府県がん診療連携拠点病院として指定
平成25年度	PFI方式による新病院へ移転、運営を開始
平成26年度	漢方サポートセンター、がんワクチンセンターを設置
平成27年度	重粒子線治療施設「i-Rock」を開設し、治療を開始
平成28年度	アピアランスサポートセンター、リハビリテーションセンターを設置
平成30年度	手術ロボット「ダビンチ」を導入。前立腺センターを設置
令和元年度	がんゲノム診療センターを設置。厚生労働大臣からがんゲノム医療拠点病院として指定
令和6年度	日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院3<3rdG:Ver.3.0>に認定

4-1 がんセンターの概要

【主な機能等】

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期目標	3 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 (4) 各病院の主な機能と今後の方向性 エ がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院として、また、がんゲノム医療拠点病院として、県内の医療機関と連携し、高度な医療の提供、医療技術の開発及びがん専門医療に係る研修等、本県のがん医療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。 重粒子線治療施設の積極的な活用を図ること。 併存疾患等のある患者や、他の医療機関で受入れが困難ながん患者に対応できる体制を整備すること。 緩和ケアや漢方による支持療法など患者の身体的・精神的負担を軽減する医療を提供すること。 がん患者が安心して、生活の質を維持しながら、住み慣れた地域社会で生活を送れるようアピアランスケア・就労支援等の相談体制の充実を図ること。
------	---

4-1 がんセンターの概要

【第四期中期目標・中期計画（抜粋）】

中期計画	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 4 各病院の主な機能と今後の取組 (4)がんセンター がん専門病院、都道府県がん診療連携拠点病院 及び がんゲノム医療拠点病院 としての役割を果たすため、次の取組を行う。 ア 主な機能 手術、放射線及び がん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療の質の向上 より高度な医療の提供や医療技術の開発 がん ゲノム医療連携 病院等との連携 を通じた 遺伝子パネル検査と治療機会の提供 重粒子線治療の 認知度向上と、これに伴う受入れ患者数の増加 他病院での対応が困難な希少がん、原発不明がん及び多重がんの治療 リハビリテーションの積極的介入や専門的な緩和ケア、東洋医学 等の支持療法の提供 アピアランスケアや就労支援等 の多様な相談への対応 全国がん登録、地域がん登録(神奈川県悪性新生物登録)及び院内がん登録の着実な推進 イ 研究・人材育成の 取組 病理 部門 と臨床研究所を含めた 複数の部門 の 協働 による 新たな治療方法の開発 がん領域の専門医取得を目指す人材の全国からの受入れ ウ 地域連携の取組 神奈川県がん診療連携協議会における地域の医療機関との連携
-------------	--

4-1 がんセンターの概要

【病院の概要】

開設年月	昭和38年4月(県立成人病センター)
所在地	〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾二丁目3番2号 (電車)相鉄線「二俣川駅」下車 徒歩約15分(無料シャトルバスあり) (車)保土谷バイパス「本村インター」から約5分
診療科目	循環器内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、呼吸器外科、血液腫瘍内科、消化器内科、消化器外科、精神科、脳神経外科、頭頸部外科、形成外科、皮膚科、乳腺外科、内分泌外科、婦人科、泌尿器科、腫瘍整形外科、放射線診断科、放射線治療科、感染症内科、漢方内科、内科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科
許可病床数	一般病床387床、HCU8床、緩和ケア20床 計415床
その他	都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療拠点病院

4-1 がんセンターの概要

【配置図】



4-1 がんセンターの概要

【施設の概要】

	病院棟・管理研究棟	重粒子線治療棟
敷地面積	37,425.56㎡	
建築面積	11,842.14㎡	3,009.12㎡
延床面積	51,463.93㎡	6,999.47㎡
構造	RC造／免震	RC造／耐震
階数	地上7階、地下1階	地上2階、地下1階
病床数・定員数	415床＋外来化学療法 60床	—
工期	平成23年7月～平成25年7月	平成24年11月～平成26年10月
付属施設	駐車場、院内保育施設、防災倉庫、 マニホールド室、バイク置場、自転車置き場	

4-1 がんセンターの概要

【職員数（常勤）】（令和7年3月31日時点）

（単位：人）

医師	看護師	薬剤師	事務職員	管理栄養士
103	451	34	27	8
研究職	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	診療放射線技師
3	4	3	1	46
臨床検査技師	福祉職	遺伝カウンセラー	医学物理士	臨床工学技士
34	3	2	6	4

4-1 がんセンターの概要

【医師数（常勤）の推移（がんセンター）】 (各年度3月31日時点) (単位:人)

診療科名	H29年度	H30年度	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
総長・病院長等	3	3	6	4	4	4	4	4
医療管理部治験管理室	1							
医療技術部	2	2	1					
医療局	2							
医療局 I C U 科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局リハビリテーション科				1	1	1	1	1
医療局感染症内科					1	1	1	1
医療局緩和ケア内科	2	1	1	1	1	1	1	1
医療局形成外科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局血液・腫瘍内科			7	7	8	8	8	9
医療局血液内科	4	4						
医療局呼吸器外科	4	4	4	3	4	4	4	3
医療局呼吸器内科	3	4	5	5	5	5	5	4
医療局骨軟部腫瘍外科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局歯科口腔外科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局腫瘍内科	4	4						
医療局循環器内科	2	1	1	1	1	1	1	1
医療局消化器外科	12	12	12	12	12	12	12	12
医療局消化器内科	11	11	7	9	9	9	9	9
医療局精神腫瘍科	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局東洋医学科(漢方サポートセンター)	1	1	1	1	1	1	1	1
医療局糖尿病内科	1	1	1					

4-1 がんセンターの概要

【医師数（常勤）の推移（がんセンター）】（続き）（各年度3月31日時点）（単位：人）

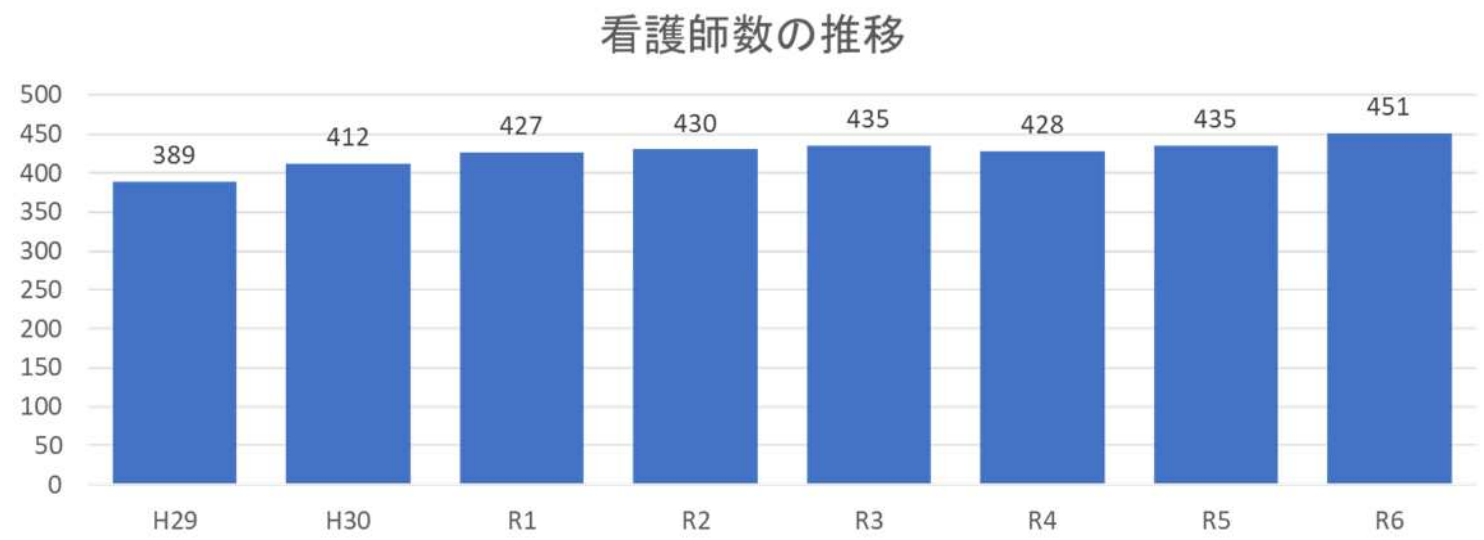
診療科名	H29年度	H30年度	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
医療局糖尿病・内分泌内科				1	1	1	1	1
医療局頭頸部外科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局乳腺内分泌外科	6	6	5	5	5	5		
医療局内分泌外科							1	1
医療局乳腺外科							4	4
医療局脳神経外科	2	2	2	2	2	2	2	2
医療局泌尿器科	4	5	4	5	5	5	5	5
医療局皮膚科	1							
医療局病理診断科	6	6	6	5	5	6	6	6
医療局婦人科	5	5	5	5	5	5	5	5
医療局放射線治療科		1	3	6	6	7	7	8
医療局放射線治療科重粒子線治療科		2	1					
医療局放射線治療科放射線腫瘍科	1	2	2					
医療局放射線診断・I V R 科	6	6	6	6	6	7	7	7
医療局麻酔科	8	4	3	3	3	3	3	4
医療局免疫療法科(がんワクチンセンター)								1
企画情報部	1	1						
臨床研究所	1	1	1	1	1	1	1	1
臨床研究所がん治療学部			1	1	1	1	1	1
臨床研究所がん分子病態学部	1		1	1	1	1	1	1
臨床研究所がん免疫療法研究開発学部	2	1	2	2	2	2	2	1
臨床研究所がん予防・情報学部	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	105	99	97	96	99	102	102	103

4-1 がんセンターの概要

【看護師数（常勤）の推移（がんセンター）】（各年度3月31日時点）

（単位：人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
389	412	427	430	435	428	435	451

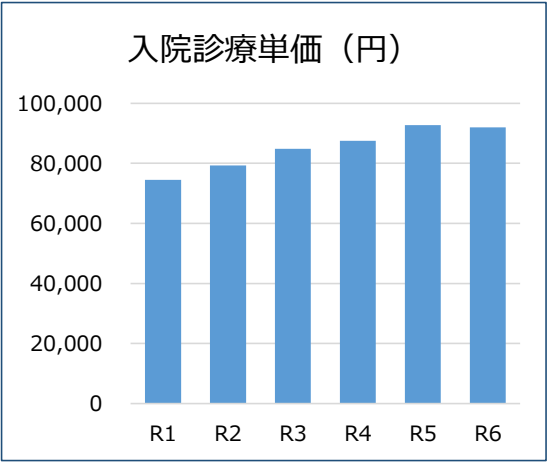
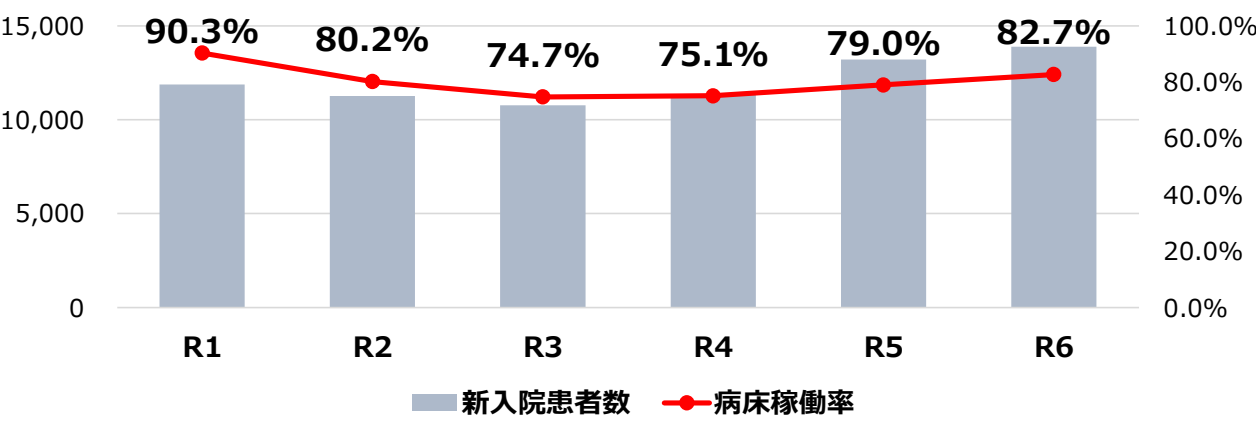


4-2 がんセンターの現状と課題

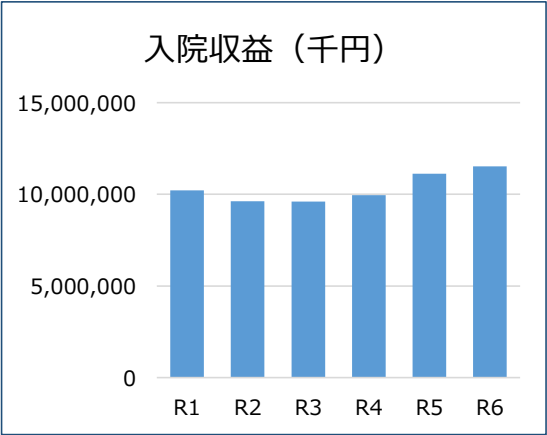
- ① 患者動向・経営状況
- ② 提供する医療内容
- ③ その他

4-2 ① 患者動向・経営状況

【入院患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新入院患者数	11,862	11,259	10,755	11,362	13,196	13,884
入院延患者数	137,159	121,470	113,179	113,759	119,946	125,258
病床稼働率	90.3%	80.2%	74.7%	75.1%	79.0%	82.7%
平均在院日数	11.6	10.8	10.5	10.0	9.1	9.1
入院診療単価 (円)	74,477	79,251	84,843	87,446	92,704	92,009
入院収益 (千円)	10,215,234	9,626,678	9,602,459	9,947,765	11,119,432	11,524,887



4-2 ① 患者動向・経営状況

【病床稼働率（病棟別）】

病棟名	病床数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1との差
3 E棟 (手術等)	24床	44.9%	42.08%	44.6%	41.2%	42.6%	40.7%	▲4.2%
3 S棟 消内(消化管)、腫瘍内、循内	42床	86.2%	82.90%	82.1%	76.6%	74.9%	81.5%	▲4.7%
4 E棟 消外(大腸・肝胆膵)、消内(消化管・肝胆膵)	50床	96.6%	90.82%	88.7%	77.7%	81.9%	87.7%	▲8.9%
4 W棟 消内(肝胆膵)、消外(胃食道)	50床	100.5%	96.16%	91.6%	83.6%	93.4%	92.1%	▲8.4%
5 E棟 泌、頭頸外、乳腺外科、内分泌外、形成外、皮膚	50床	93.2%	71.49%	87.2%	75.8%	83.6%	84.0%	▲9.2%
5 W棟 腫瘍内、骨軟部腫瘍外、呼内、血液内	50床	93.3%	72.30%	26.5%	72.3%	77.4%	83.2%	▲10.0%
6 E棟 婦、乳腺内分泌外、形成外、皮膚	50床	90.8%	84.76%	85.3%	81.4%	81.2%	83.5%	▲7.3%
6 W棟 呼内、呼外、脳外	49床	92.9%	81.50%	81.9%	79.4%	78.8%	82.0%	▲10.9%
7 E棟 緩和ケア内科	20床	91.4%	70.78%	40.6%	45.7%	63.3%	74.9%	▲16.6%
7 W棟 血内、腫瘍内	30床	89.2%	86.74%	90.1%	87.2%	86.7%	85.3%	▲3.9%
合計	415床	90.3%	80.19%	74.7%	75.1%	79.0%	82.7%	▲7.6%

4-2 ① 患者動向・経営状況

【新入院患者数】

単位：人

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
骨軟部腫瘍外科	343	387	419	398	450	647	188.6%
形成外科	35	27	45	40	48	43	122.9%
脳神経外科	101	88	68	84	60	73	72.3%
呼吸器外科	536	494	549	642	589	544	101.5%
泌尿器科	1,191	1,218	1,233	1,294	1,348	1,362	114.4%
頭頸部外科	564	667	630	584	798	824	146.1%
放射線治療科（光子線）	0	2	1	0	0	2	-
感染症内科	0	0	8	1	0	0	-
消化器内科（消化管）	1,146	957	963	1,098	1,237	1,248	108.9%
消化器内科（肝胆膵）	2,406	2,451	2,100	2,208	2,759	2,942	122.3%
呼吸器内科	1,270	1,032	782	815	1,060	1,031	81.2%
緩和ケア内科	63	46	1	0	5	12	19.0%

Kanagawa Prefectural Government

4-2 ① 患者動向・経営状況

【新入院患者数】（続き）

単位：人

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
循環器内科	0	0	0	1	0	0	-
内分泌外科	0	0	0	0	188	190	-
乳腺外科	813	802	770	722	915	893	109.8%
消化器外科（胃・食道）	784	679	497	498	555	697	88.9%
婦人科	769	742	884	990	1,228	1,407	183.0%
血液・腫瘍内科（血液）	286	282	267	314	267	290	101.4%
血液・腫瘍内科（腫瘍）	687	625	677	750	690	730	106.3%
消化器外科（大腸）	584	475	588	662	694	631	108.0%
消化器外科（肝・胆・膵）	284	285	273	261	305	318	112.0%
合計	11,862	11,259	10,755	11,362	13,196	13,884	117.0%
（合計の推移）							

4-2 ① 患者動向・経営状況

【入院診療単価】

単位：(円)

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
骨軟部腫瘍外科	68,465	73,393	81,729	79,021	84,573	84,017	122.7%
形成外科	123,893	127,702	141,551	138,280	143,306	136,776	110.4%
脳神経外科	70,696	86,145	95,623	97,839	118,297	83,891	118.7%
呼吸器外科	160,299	158,539	169,842	174,822	167,543	163,020	101.7%
泌尿器科	81,088	83,521	82,272	90,757	85,108	88,631	109.3%
頭頸部外科	60,316	76,007	84,822	89,539	101,084	117,508	194.8%
放射線治療科（光子線）	-	62,736,670	76,603,540	-	-	303,420	-
感染症内科	-	-	87,472	232,050	-	-	-
消化器内科（消化管）	53,528	58,871	57,858	63,297	68,651	71,484	133.5%
消化器内科（肝胆脾）	60,804	66,081	69,992	74,327	81,531	81,996	134.9%
呼吸器内科	68,593	66,996	74,097	60,955	77,178	67,664	98.6%
緩和ケア内科	51,139	52,004	52,889	-	52,032	54,170	105.9%

Kanagawa Prefectural Government

4-2 ① 患者動向・経営状況

【入院診療単価】（続き）

単位：（円）

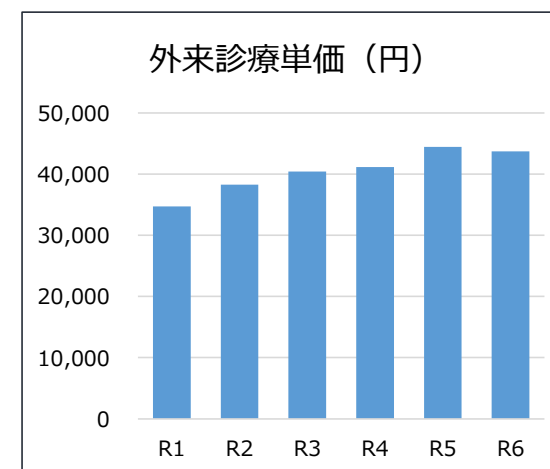
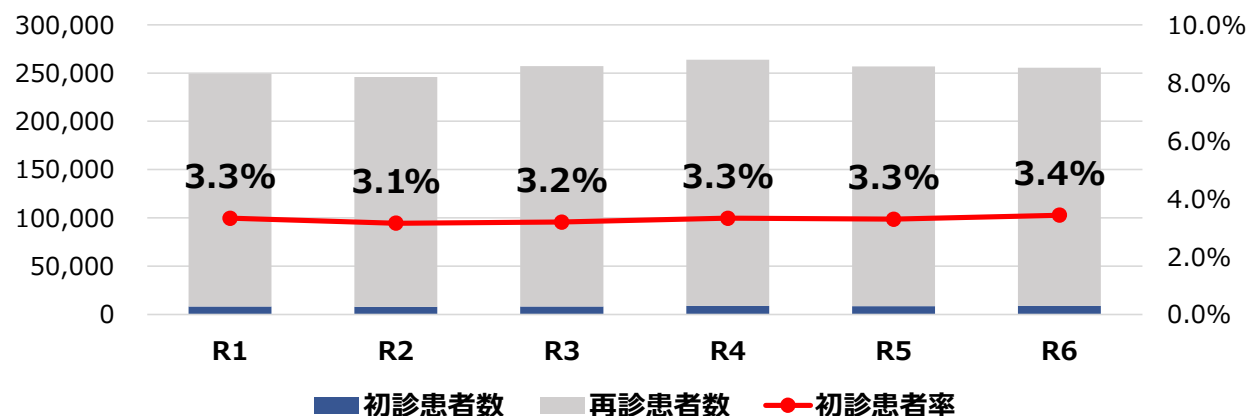
診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
循環器内科	-	-	-	64,290	-	-	-
内分泌外科	-	-	-	-	106,491	104,785	-
乳腺外科	79,158	83,302	87,504	91,837	99,175	95,877	121.1%
消化器外科（胃・食道）	70,189	74,469	75,020	75,426	79,695	83,153	118.5%
婦人科	60,128	65,324	69,953	81,532	90,924	101,432	168.7%
血液・腫瘍内科（血液）	112,143	109,383	126,503	122,618	136,846	123,271	109.9%
血液・腫瘍内科（腫瘍）	60,891	65,920	68,947	80,918	80,206	78,733	129.3%
消化器外科（大腸）	74,102	81,077	80,354	79,370	82,589	85,254	115.0%
消化器外科（肝・胆・膵）	89,723	95,499	95,036	101,151	103,691	106,934	119.2%
合計	74,477	79,251	84,843	87,446	92,704	92,009	123.5%

（合計の推移）

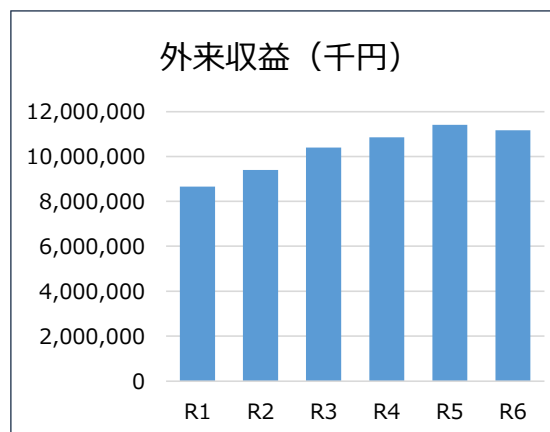


4-2 ① 患者動向・経営状況

【外来患者数等（全体）の動向】



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
初診患者数	8,275	7,741	8,203	8,758	8,446	8,776
再来患者数	241,074	238,171	248,911	255,020	248,419	246,862
外来延患者数	249,349	245,912	257,114	263,778	256,865	255,638
外来診療単価（円）	34,709	38,235	40,415	41,147	44,398	43,678
外来収益（千円）	8,654,762	9,402,486	10,391,138	10,853,552	11,404,324	11,165,832
初診患者率	3.3%	3.1%	3.2%	3.3%	3.3%	3.4%



4-2 ① 患者動向・経営状況

【外来延患者数】

単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
精神腫瘍科	1,334	960	903	947	852	1,045	78.3%
骨軟部腫瘍外科	5,104	5,337	5,623	5,139	5,430	6,955	136.3%
形成外科	1,229	1,346	1,350	1,223	1,419	1,266	103.0%
脳神経外科	1,781	1,917	1,698	1,728	1,484	1,612	90.5%
呼吸器外科	8,914	8,924	9,297	9,993	9,791	9,871	110.7%
皮膚科	1,387	1,106	1,464	1,459	1,120	1,184	85.4%
泌尿器科	14,705	13,216	15,015	16,381	15,911	16,576	112.7%
頭頸部外科	9,206	8,788	8,804	8,746	9,055	8,847	96.1%
リハビリテーション科	900	558	919	514	286	200	22.2%
麻酔科	1,393	1,415	1,463	1,582	1,543	1,590	114.1%
歯科口腔外科	7,259	6,270	6,154	5,380	5,508	5,272	72.6%
放射線診断科	87	56	74	96	119	112	128.7%

4-2 ① 患者動向・経営状況

【外来延患者数】（続き）

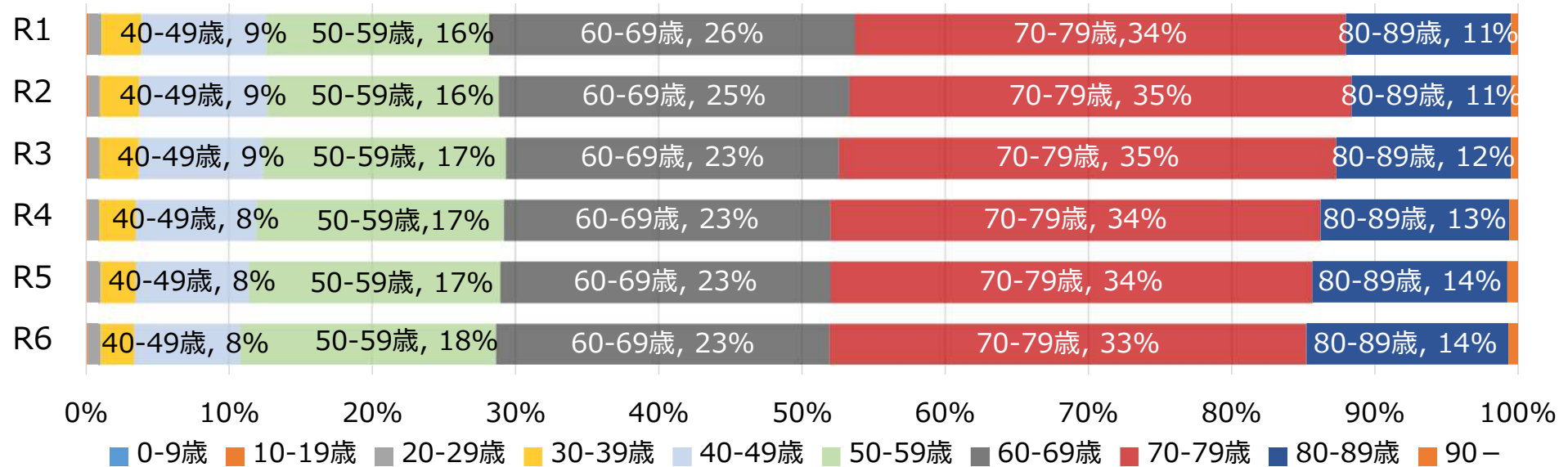
単位：（人）

診療科	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
放射線治療科（光子線）	19,150	19,423	19,807	21,714	19,822	21,170	110.5%
遺伝診療科	227	418	526	596	728	733	322.9%
がんゲノム診療科	67	194	410	460	510	757	1129.9%
免疫療法科	8	38	31	13	9	9	112.5%
東洋医学科	4,781	4,268	4,748	4,719	4,866	4,915	102.8%
糖尿病・内分泌内科	2,652	2,795	3,620	5,024	5,787	6,237	235.2%
感染症内科	0	0	10	8	23	14	-
消化器内科（消化管）	15,999	14,952	18,586	19,996	18,965	17,506	109.4%
消化器内科（肝胆膵）	27,325	28,982	29,328	28,859	29,165	28,254	103.4%
呼吸器内科	22,694	21,917	22,514	23,971	23,084	21,700	95.6%
緩和ケア内科	691	308	140	384	289	388	56.2%
循環器内科	7,050	7,017	8,224	7,952	7,481	7,362	104.4%

4-2 ① 患者動向・経営状況

【令和6年度 患者動向（10歳年齢別）】

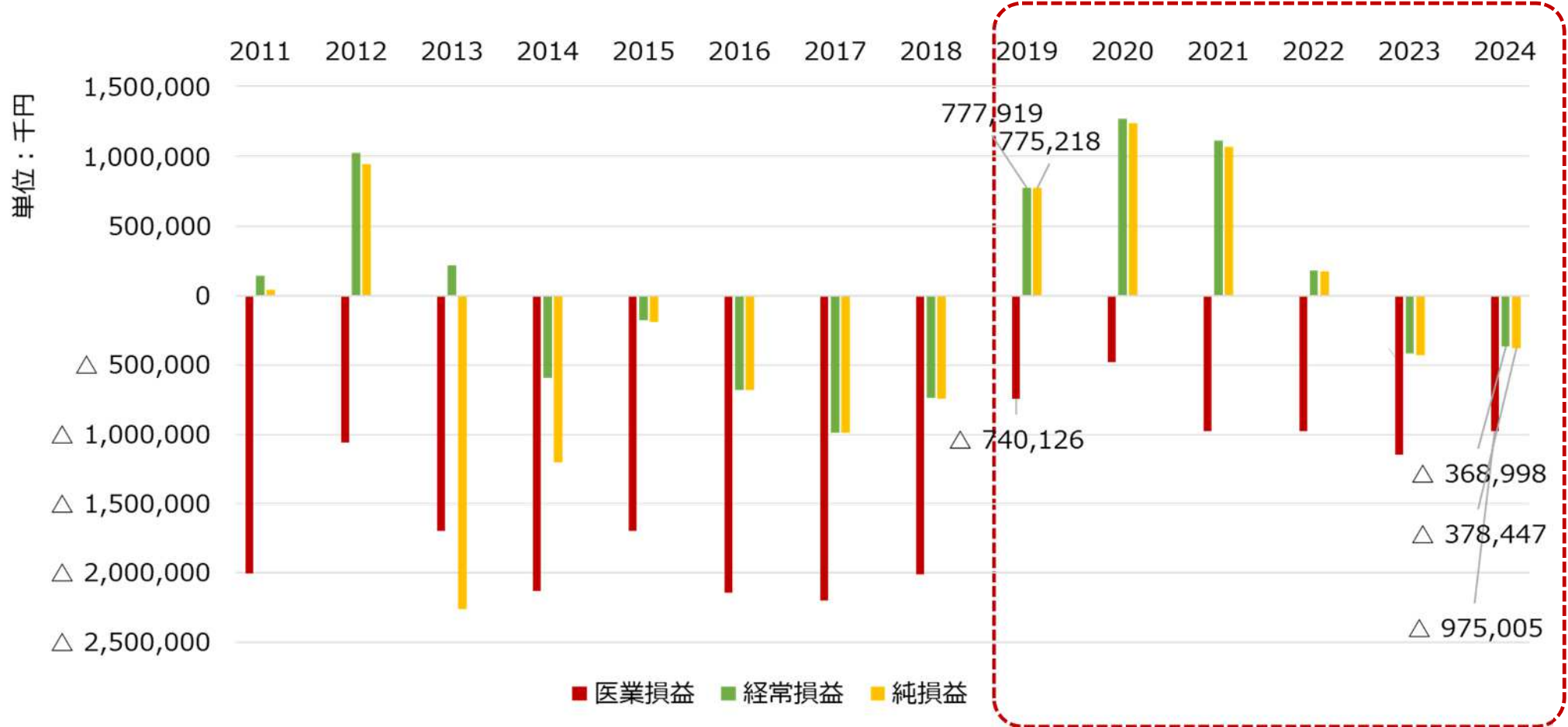
年齢別外来延患者割合



年齢	R1	R2	R3	R4	R5	R6
0-9	12	18	34	8	10	4
10-19	439	468	369	388	383	370
20-29	2,348	2,126	2,272	2,295	2,452	2,459
30-39	7,248	6,999	7,286	6,969	6,599	6,278
40-49	22,557	22,987	23,294	23,318	21,559	20,070
50-59	40,237	41,571	45,493	47,937	47,697	48,193
60-69	66,095	62,993	62,329	63,013	62,658	62,883
70-79	88,731	90,190	93,241	94,862	91,509	89,999
80-89	29,826	28,638	32,724	36,527	37,008	38,080
90-	1,265	1,209	1,319	1,655	2,031	1,805
合計	258,758	257,199	268,361	276,972	271,906	270,141

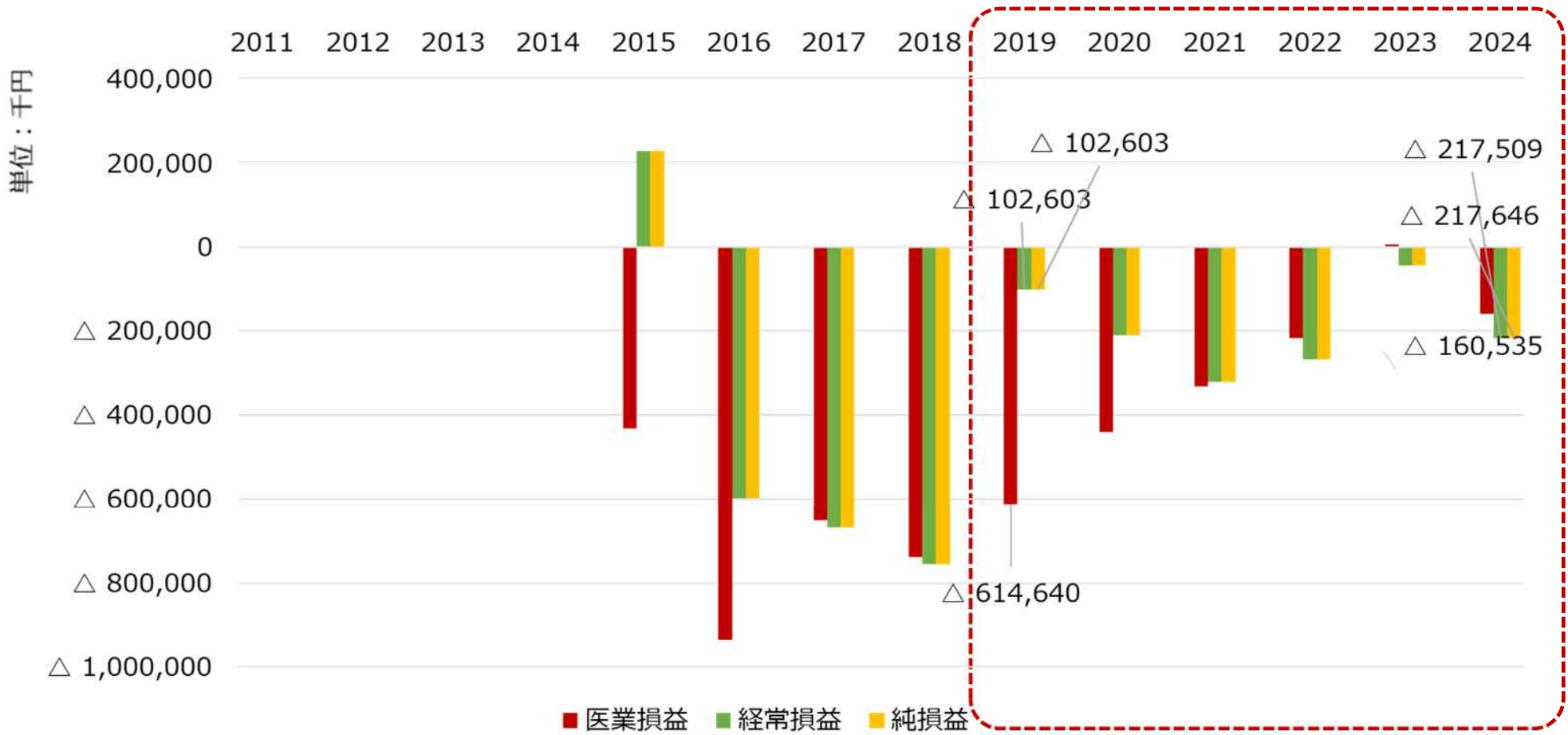
4-2 ① 患者動向・経営状況

【医業損益・経常損益・純損益の推移（がんセンター全体）】



4-2 ① 患者動向・経営状況

【医業損益・経常損益・純損益の推移（重粒子）】



4-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向・経営状況のポイント

① 入院

- ・新規入院患者数はコロナ前（R1年度）比較で1割程度増えているが、平均在院日数の短縮等により、延べ入院患者数は伸びていない
- ・R6年度の病床稼働率は、全体で82.7%（R1年度前より減少）
- ・新規入院患者数は、骨軟部腫瘍外科や頭頸部外科、消化器内科（肝胆膵）、婦人科でR1年度と比べて増えている。
- ・入院診療単価はR1年度に比べ大きく増加した

② 外来

- ・外来延患者数はR1年度の水準を上回っているものの、近年は減少傾向
- ・診療科別では、がんゲノム診療科でR1年度と比べ10倍以上増えている一方、リハビリテーション科では8割程度減少した
- ・外来診療単価は上昇傾向にあったが、R6年度は若干減少
- ・年齢別外来延患者の割合は、60歳以上が7割以上で、80歳以上の患者は増加傾向

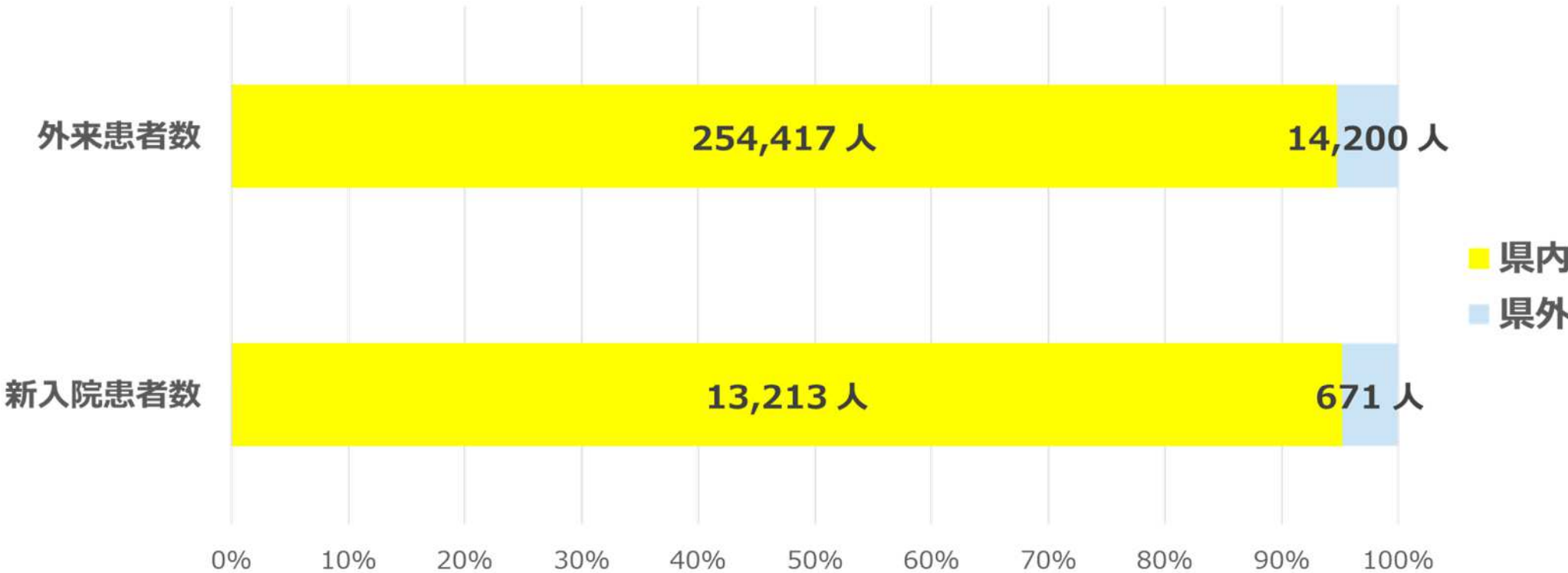
③ 経営状況

- ・H25年度の新棟移転後H30年度まで経常赤字。R2年度は最高益となったが、直近2年は経常赤字

4-2 ① 患者動向・経営状況

【令和6年度 患者動向（患者住所別）】

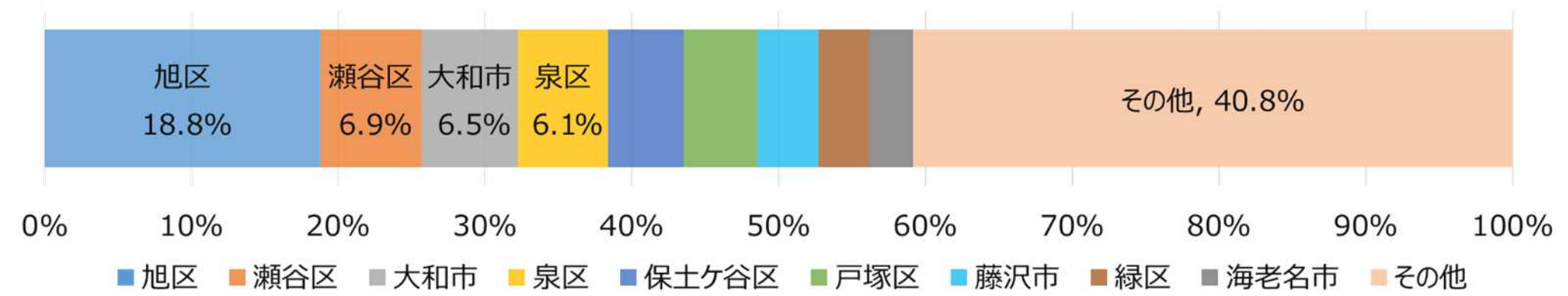
県内外の患者住所シェア



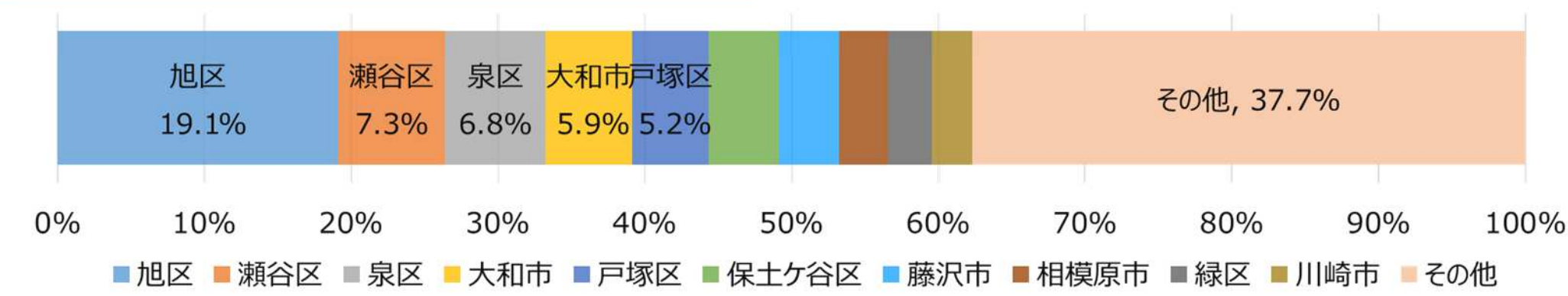
4-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向（患者住所別：神奈川県内）

新入院患者住所のシェア（市区町村別）



外来患者住所のシェア（市区町村別）【重粒子除く】



4-2 ① 患者動向・経営状況

患者動向・経営状況のポイント

④ 住所地

- ・ 外来患者、入院患者ともに9割以上は県内在住者で、近隣を中心に、県内広範囲から来院している

4-2 ② 提供する医療内容

【がんセンター 院内がん登録件数】

部位	件数
口腔	48
唾液腺	10
上咽頭	10
中咽頭	39
下咽頭	32
食道	203
胃	294
小腸	30
結腸	235
直腸	187
大腸	422
肛門/肛門管	8
肝臓	183

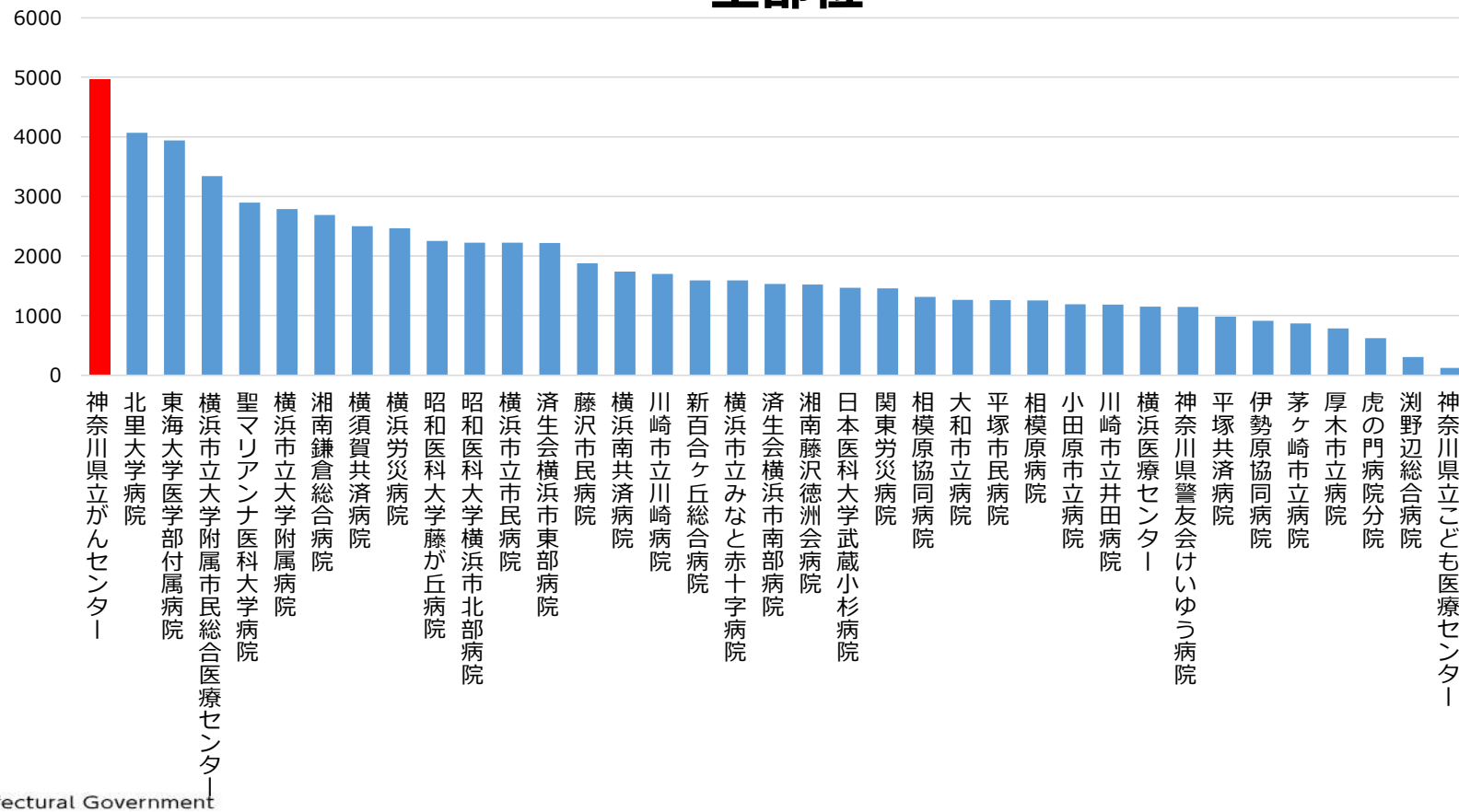
部位	件数
胆嚢・胆管	103
膵臓	479
喉頭	27
肺	723
皮膚	11
乳房	570
膣・外陰	5
子宮頸部	194
子宮体部	123
子宮	2
卵巣	61
卵巣(うち境界悪性腫瘍)	2
前立腺	465

部位	件数
精巣	27
腎	107
膀胱	91
腎盂・尿管	41
脳神経	11
脳神経 (うち脊髄)	40
甲状腺	131
悪性リンパ腫	145
多発性骨髄腫	14
白血病	84
他の血液	25
その他	136

4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

全部位

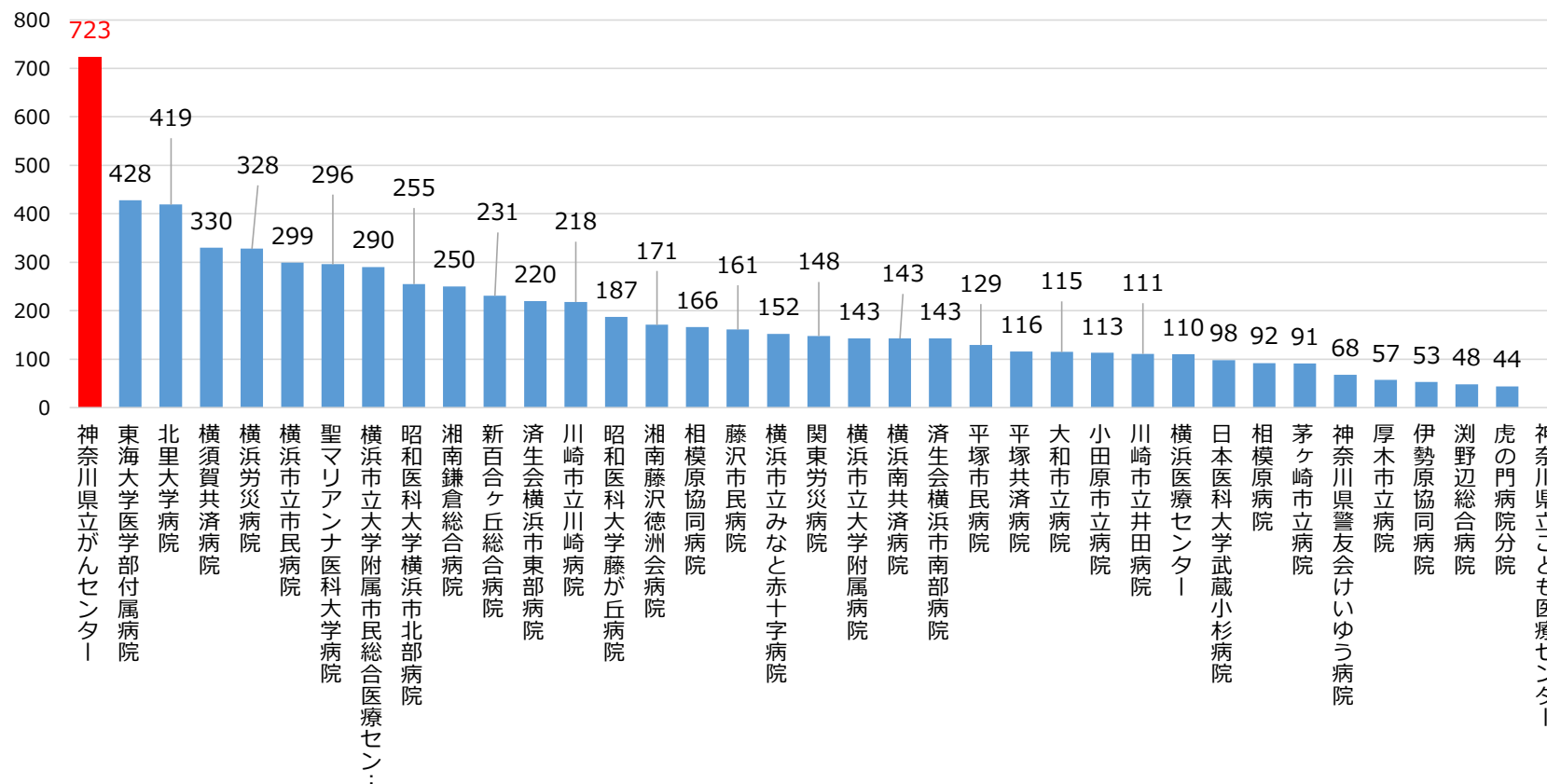


Kanagawa Prefectural Government

4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

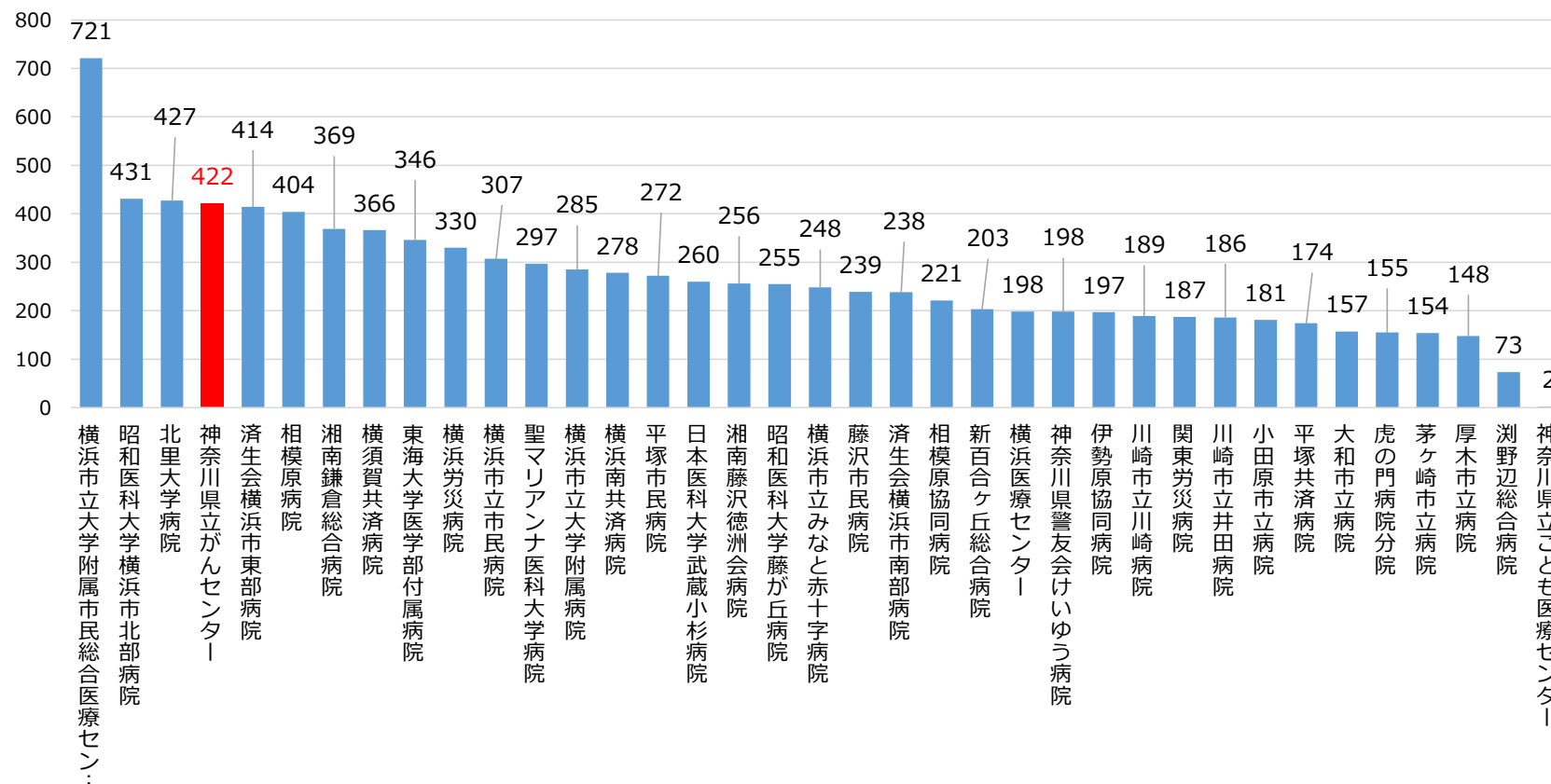
肺



4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

大腸

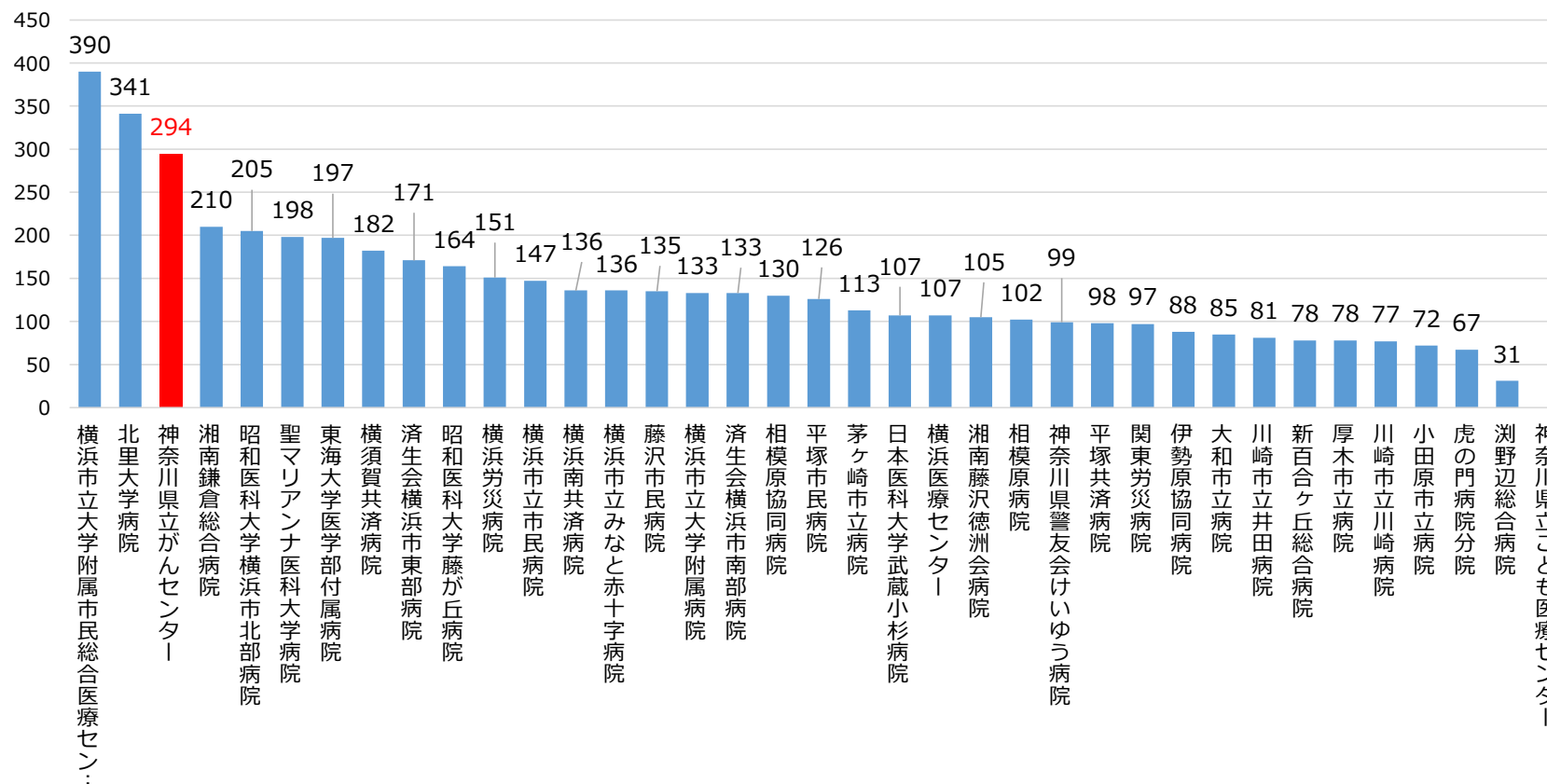


Kanagawa Prefectural Government

4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

胃

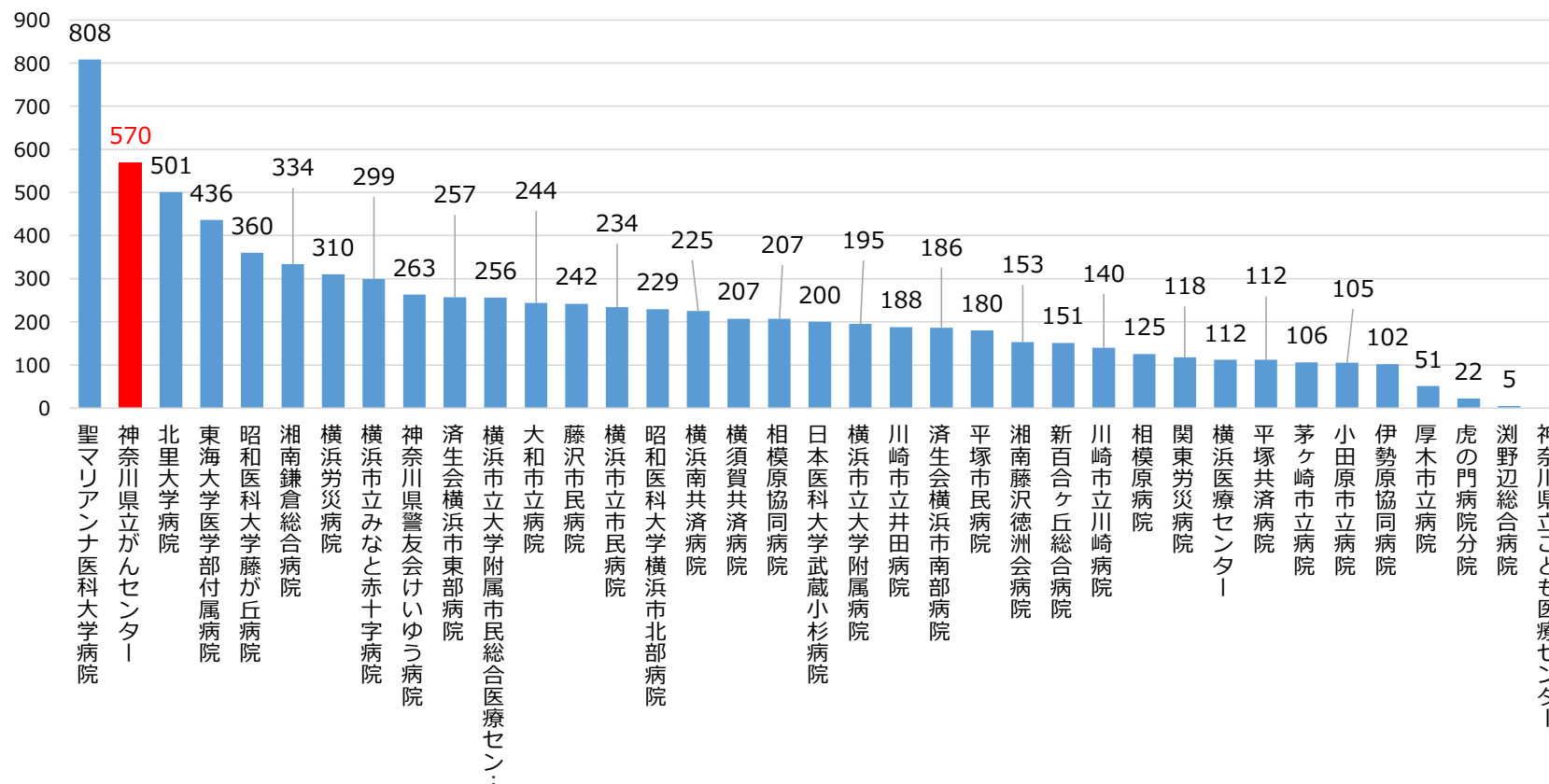


Kanagawa Prefectural Government

4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

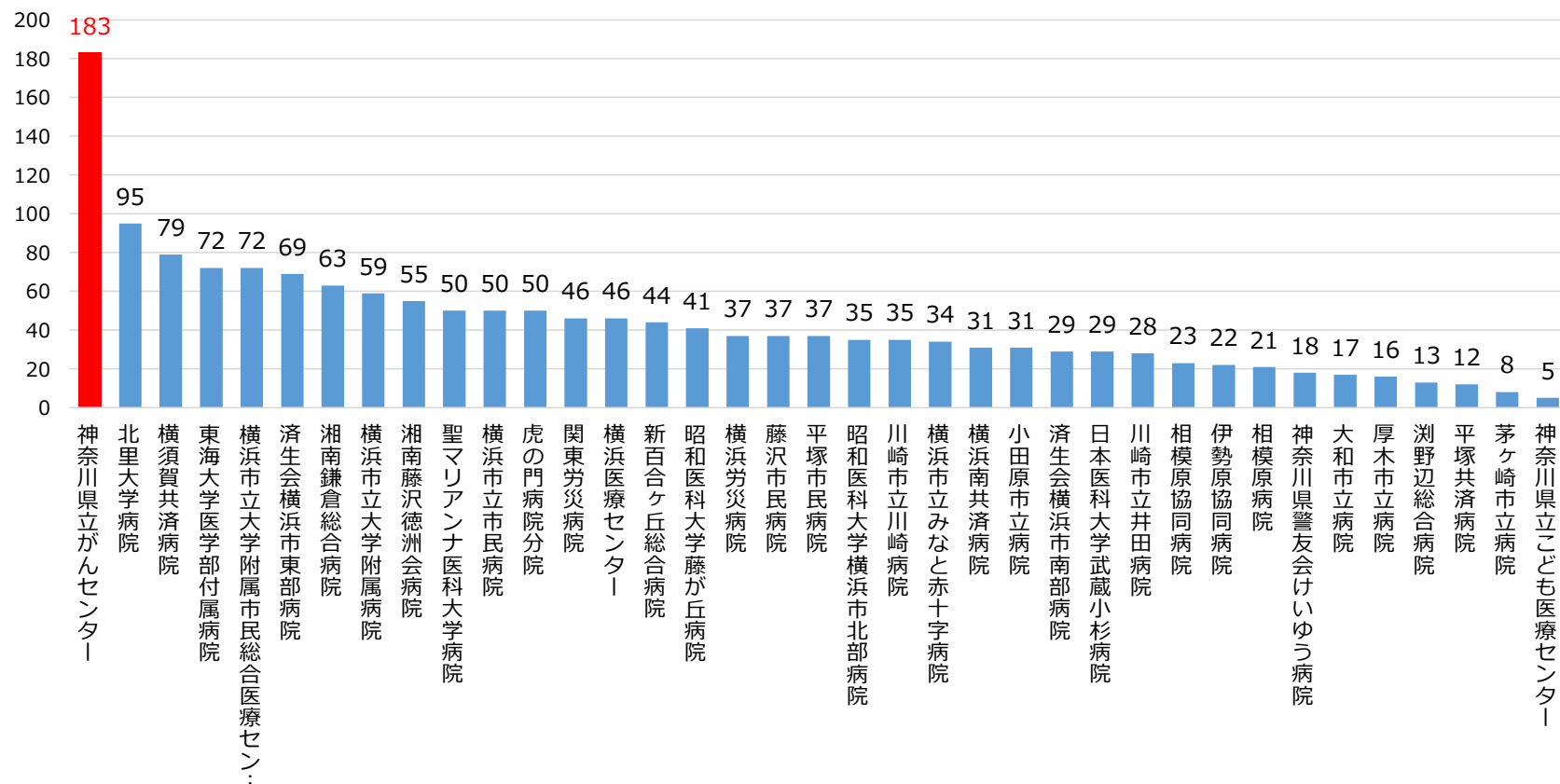
乳房



4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

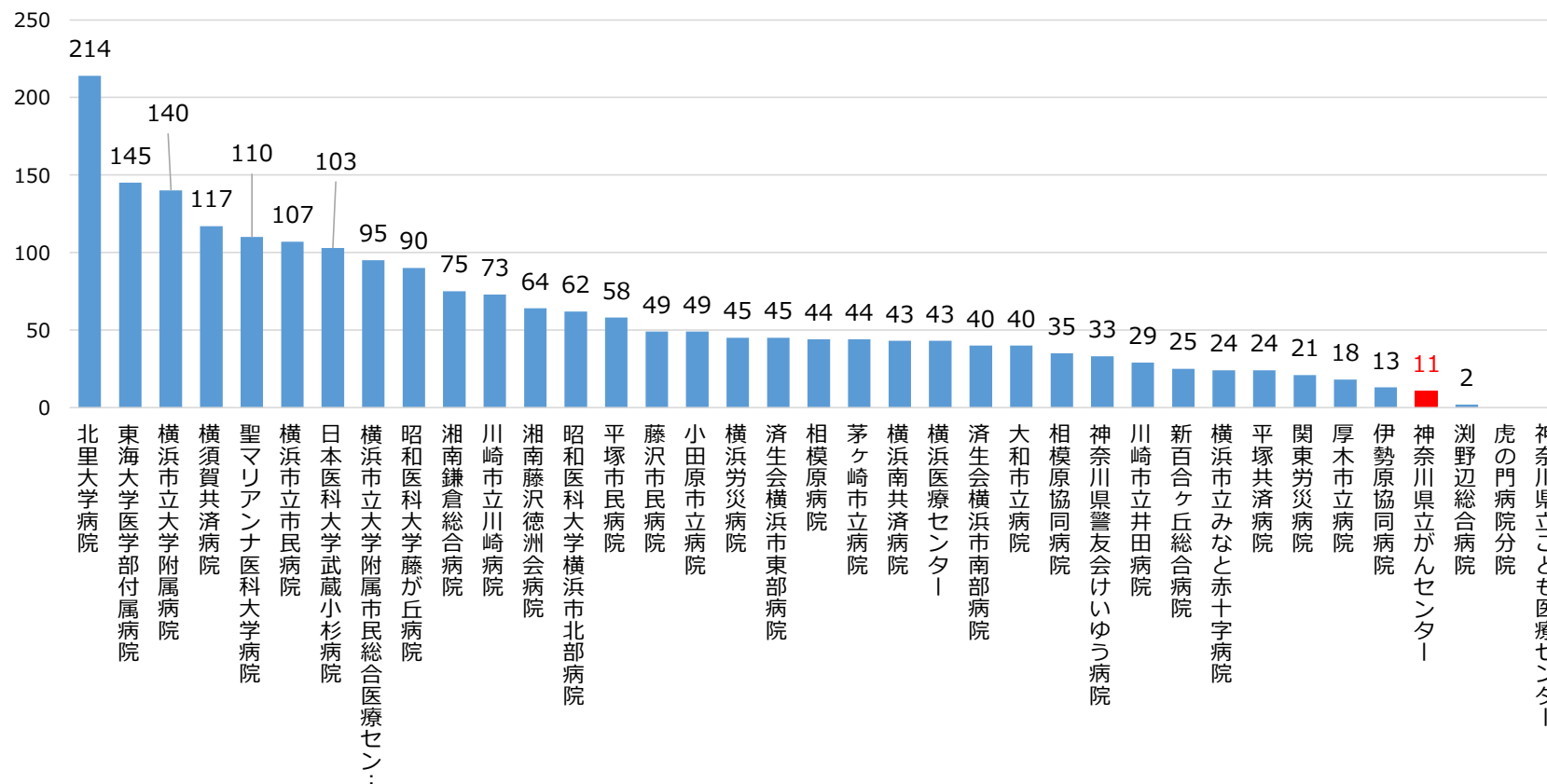
肝臓



4-2 ② 提供する医療内容

【院内がん登録件数（部位別）】

皮膚



4-2 ② 提供する医療内容

【手術件数，造血幹細胞移植件数】

単位：（件）

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
手術件数（合計）	3,659	3,584	3,658	3,680	3,763	3,776	103.2%
全身麻酔	3,459	3,373	3,425	3,471	3,558	3,612	104.4%
腹腔鏡/胸腔鏡下	838	844	902	1,059	1,027	870	103.8%
ロボット支援	197	251	254	308	300	478	242.6%
肺	0	0	20	31	24	43	—
胃	0	15	19	11	17	19	—
肝	0	12	0	0	0	0	—
脾	0	6	0	6	0	2	—
大腸	8	23	18	15	18	62	775.0%
腎	30	37	33	37	44	57	190.0%
前立腺	159	150	133	174	159	187	117.6%
膀胱・尿管	0	8	13	13	9	31	—
子宮	0	0	18	21	29	77	—

※ R6にロボット出術装置（2台目）を導入

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
造血幹細胞移植件数	73	76	86	90	78	63	86.3%

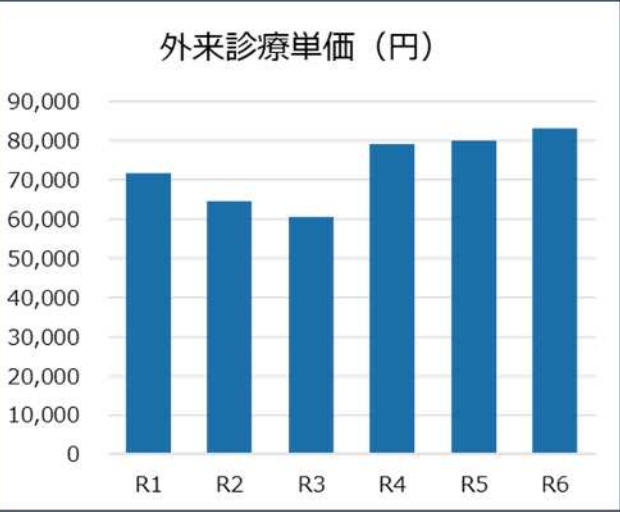
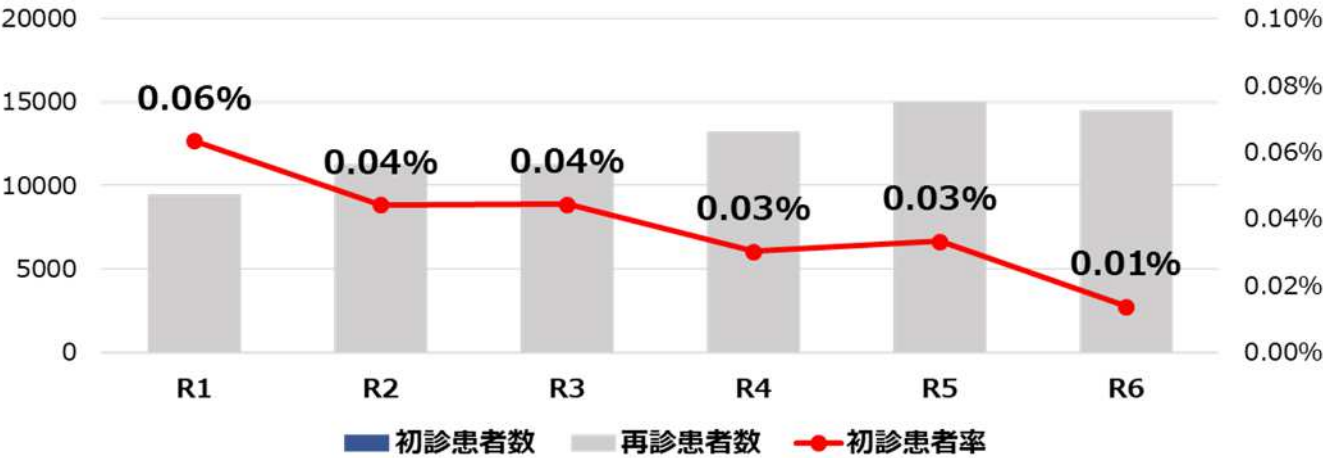
4-2 ② 提供する医療内容

【主な治療件数（化学療法，放射線治療）】

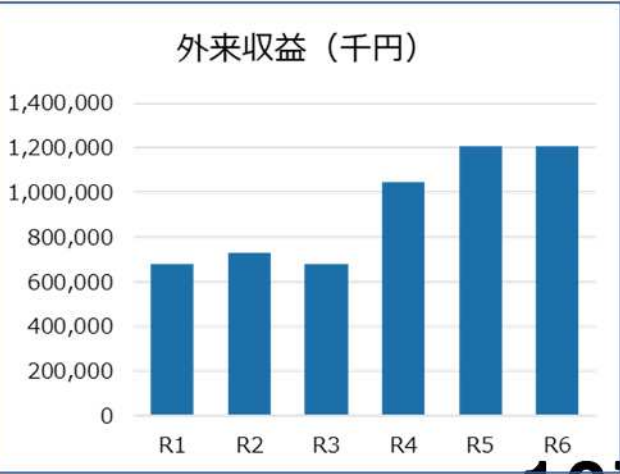
区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
外来化学療法実施件数	25,354	25,913	27,074	27,988	26,046	26,214	103.4%
放射線治療件数	1,298	1,311	1,325	1,468	1,311	1,428	110.0%

4-2 ② 提供する医療内容

【外来患者数等（重粒子線）の動向】

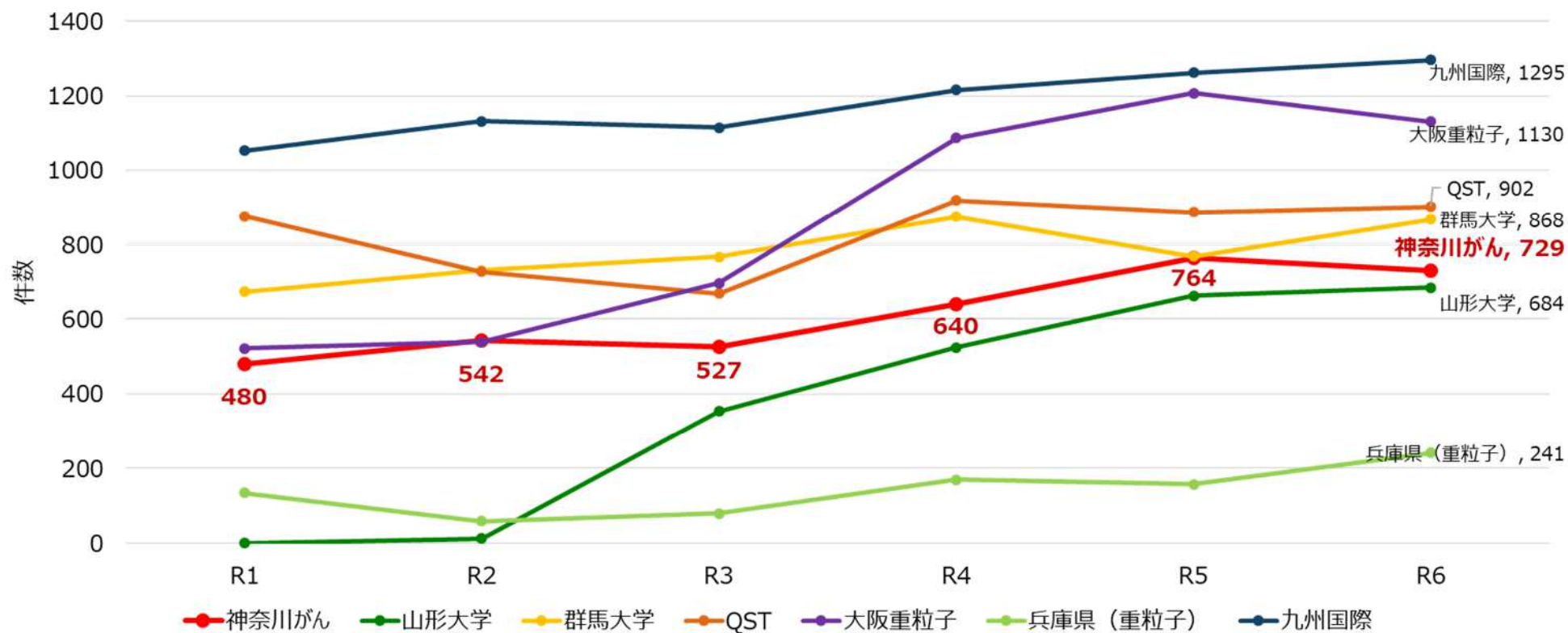


	R1	R2	R3	R4	R5	R6
重粒子線治療件数（件）	480	542	527	640	764	729
うちインバウンド受入件数（件）	0	0	0	0	2	2
外来診療単価（円）	71,708	64,689	60,457	79,211	80,121	83,168
外来収益（千円）	679,435	731,500	681,227	1,046,066	1,206,298	1,208,853
初診患者率	0.06%	0.04%	0.04%	0.03%	0.03%	0.01%



4-2 ② 提供する医療内容

【重粒子線治療件数 ベンチマーク】



神奈川がん：神奈川県立がんセンター QST:量子科学技術研究開発機構QST病院 九州国際：九州国際重粒子線がん治療センター
 山形大学：山形大学医学部東日本重粒子センター 大阪重粒子：大阪国際がん治療財団大阪重粒子センター
 群馬大学：群馬大学重粒子線医学研究センター 兵庫県（重粒子）：兵庫県立粒子線医療センター（重粒子）

Kanagawa Prefectural Government

4-2 ② 提供する医療内容

【重粒子線治療件数（部位別）】

（単位：件）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
骨軟部		17	20	28	30	43	35	35	28	32
前立腺	24	113	156	168	367	365	351	435	537	472
頭頸部		4	11	12	23	23	17	14	10	15
肝臓		9	22	34	16	42	58	58	66	68
膵臓		2		17	26	31	37	51	56	62
子宮					3	9	10	15	16	17
直腸				1		8	9	9	8	13
肺		4		11	14	16	9	12	16	28
転移性					1	2		8	22	15
食道						3	1	3	3	5
ｲﾊﾞｳﾝﾄﾞ									2	2
合計	24	149	209	271	480	542	527	640	764	729

4-2 ② 提供する医療内容

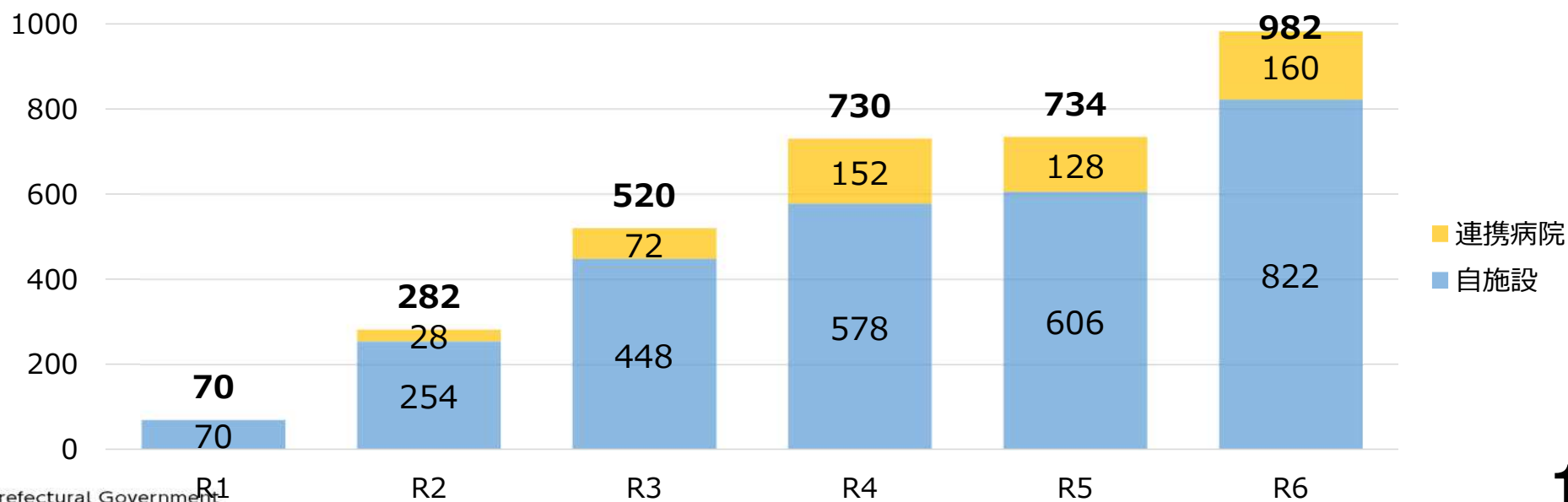
【エキスパートパネル件数実績の推移】

単位：（件）

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
自施設	70	254	448	578	606	822	1,174%
連携病院	0	28	72	152	128	160	-
合計	70	282	520	730	734	982	1,403%

R1.9月 がんゲノム医療拠点病院に指定

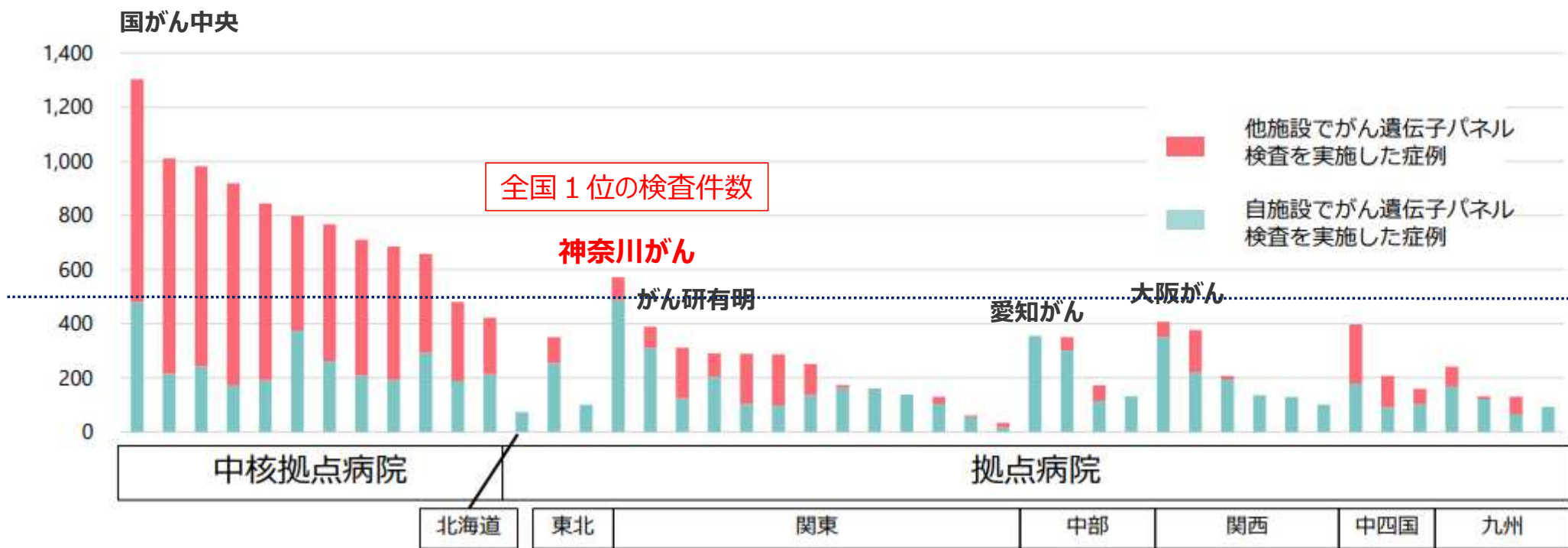
R2.7月 連携病院症例のエキスパートパネル実施



4-2 ② 提供する医療内容

【エキスパートパネル件数実績 ベンチマーク】

がんゲノム医療中核拠点病院・がんゲノム医療拠点病院における エクスパートパネルの開催実績について



4-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

① がん診療

- ・院内がん登録（全部位）の実績は、県内1位となっている
- ・都道府県がん診療連携拠点病院として、5大がん（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、肝臓がん）など多くのがんを治療しており、希少がんや難治性がんにも対応しているが、一部、診られていないがん（皮膚がん）がある

② 手術

- ・手術件数（全体）は、R1年度に比べて増加した
- ・ロボット支援手術について、一部腹腔鏡手術・胸腔鏡下手術からの移行や保険適用の範囲の拡大のほか、R6年7月からのダヴィンチ2台体制により、R6年度はR1年度に比べ2倍以上増加した

③ 外来化学療法・放射線治療

- ・外来化学療法実施件数や放射線治療件数は、R1年度に比べて増加している

4-2 ② 提供する医療内容

提供する医療内容のポイント

④ 重粒子線治療

- ・ 治療件数は増加傾向だが、県立がんセンターより治療件数が多い施設がある
- ・ 部位別では、全体の7割程度を前立腺が占める

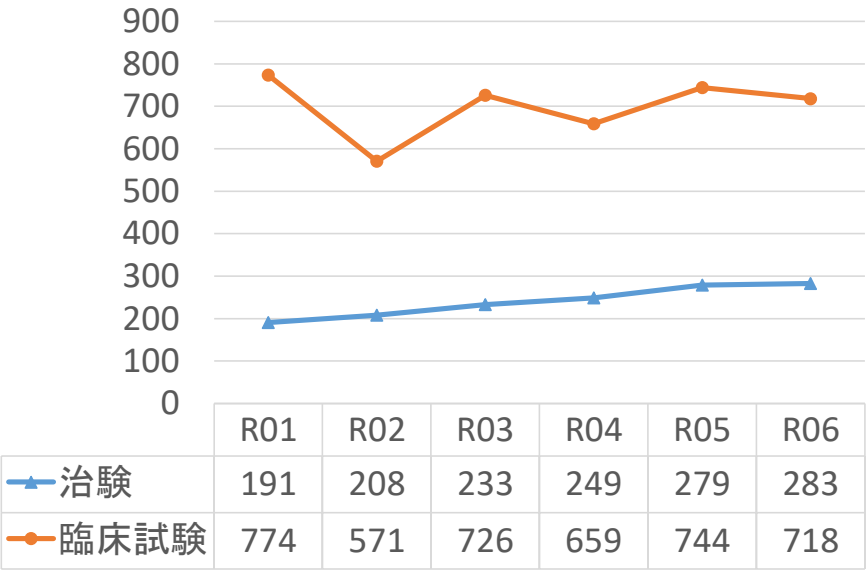
⑤ がんゲノム診療

- ・ エキスパートパネルの実績は、R2年7月から連携病院症例のエキスパートパネルも開始して大幅に増加した。R6年度は、連携病院のものも含め、実施件数はR1年度に対して14倍となった

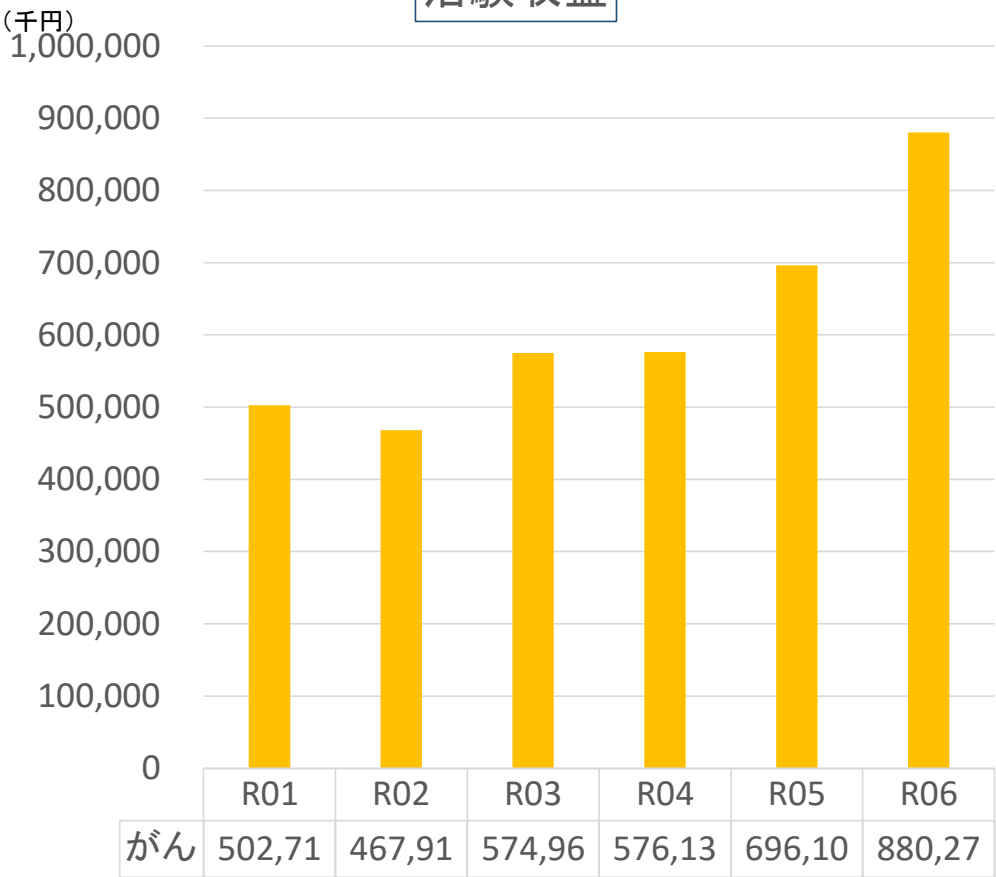
4-2 ③ その他

【治験・臨床研究等の実績】

治験及び臨床試験の実施件数



治験収益



4-2 ③ その他

【がん相談関連の件数】

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1対比
がん相談件数	8,034	6,512	6,549	7,453	8,025	8,733	108.7%
アピアランスサポート件数	1,159	372	337	496	470	494	42.6%
がん相談員による就労支援							
延患者数	77	101	104	53	74	119	154.5%
実患者数	66	71	67	39	50	95	143.9%
就労主治医意見書発行	6	10	3	6	7	0-	

4-2 ③ その他

その他のポイント

① 臨床研究

- ・ 臨床研究に積極的に取り組んでおり、治験収益も増加している

② QOLの向上等について

- ・ がん相談、アピアランスサポートや就労支援などの患者支援も着実に実施している

4-3 お諮りしたいこと

1 高度専門病院としての機能

1

がんセンターは、高度専門病院としての機能に適合しているか

(視点)

- ・ 対応している疾患や提供している医療内容
- ・ 患者の地域性

2 県立病院として提供すべき医療

2

県立病院として引き続き担うべき医療は何か

(視点)

- ・ 他の医療機関で担うことが難しい機能
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院としての機能
- ・ 役割を踏まえた病床規模等